



# 教え方の手引き

## 第2部(1)

—トピック別の教え方と留意点(中級 1)—

ver. 20171107



## トピック1 はじめての人と

はじめのトピックでは、新しいクラスでの授業で使われることを考え、いろいろな出会いの場面を取り上げました。自分から積極的に話しかけてみることで仲間が増えること、ネットを通して出会いの場があることに気づいてもらえるといいでしょう。

### ◎ 扉／準備

#### ● トピックについての質問 (P41)

扉ページにある二つの質問のうち、はじめの質問は、自分の国にいるさまざまな日本人の存在に気づいてもらうことが目的です。国や地域にもよりますが、旅行者以外にも、その国で仕事をしている人やその家族、留学生、その国の人と結婚して長く滞在している人、退職して日本から移住してきた人などがいるでしょう。

二つ目の質問では、どんなところで日本人と知り合う機会があるか、お互いの経験や考えを話します。扉の写真は、大学などでの出会いの場面、スポーツジムなどでよく見かける人に話しかける場面、最後は SNS などでの出会いを表現しているので、この質問に答えるときの参考にしてください。

#### 1 写真やレアリアを見る (P42)

学習者が自分の国で日本人に出会いそうな 4 つの初対面の場面を取り上げてあります。①は公園で赤ちゃんを連れた親に話しかける場面、②は観光地で旅行者に話しかける場面、③は日本食の店で隣の人に話しかける場面、④は日本関係の催しの会場で座っている人に話しかける場面です。写真を見ながら、どんなふうに話しかけるか考えます。選択肢は考えるためのヒントなので、それ以外の意見があってもおもしろいでしょう。

選択肢に「おいかつ」「いらっしゃる」などの丁寧な表現が使われていることに気づく学習者がいたら、どうして丁寧に話しているか考えさせてみるといいでしょう。ただし、ここでは、初対面だからということがわかれば十分なので、敬語について体系的に説明する必要はありません。敬語は PART 2 (P46-48) で導入します。

#### 文化 文化について考える (P42)

自分の国で、初対面の人に話しかける場面を自由に考えてみます。話しかける相手は日本人でなくてもいいです。知らない人にはあまり話しかけない、話しかけるが 1 とは違った話しかけ方をするなど、いろいろな意見が出てくるでしょう。また、違いがある場合は、それはどうしてなのか背景を考えさせてみてください。

## 2 語彙や表現の確認 (P43)

趣味や興味のあることについて話す表現を取り上げています。選択肢「d. ごろごろしている」は、家の中で特にすることがなく何もしないで過ごすことを表します。なお、文中にある「定年退職」ということばは PART 1 (P44-45) で出てくるので、意味を確認しておいてください。

### ◆ 赤字の言い方に注目しましょう

今の状況について述べているのか、これからのことについて述べているのかという視点から、表現を整理します。

(A) 「今、興味を持っていること」を話す：「(最近)～(を)始めました」「よく～(を)しています」「興味を持っているのは～(です)」。「～(に)はまっています」「～(する／ている)ことが多いです」などを使います。このうち、「～はまっています」は、日常会話ではよく使われますが、くだけた会話表現で、年配の人などの中には使わない人もいますので、フォーマルな場面では使わない方が安全です。

(B) 「これからしたいことや希望」を話す：「～みたいと思っています」「～(のが)夢です」「～ようになりたい」があります

\* 第1刷では、「～みたいと思っています」「～ようになりたいです」の赤字が抜けていますので、補ってください。

## 3 その他の活動 (P43)

日本人との交流会という設定です。ここでは、①-⑥の会話例から、このような場面での話題に注目させることが目的です。

会話例はとても短いですが、このあとのやりとりを自由に考えさせると、B1 レベルらしい準備活動になるでしょう。また、ほかにどんなことについて話すか、ここにはない話題について、考えてみてもいいでしょう。

⑤「いて座のB型です」のように、日本人は自己紹介で「星座・血液型」を話題にすることがあります。日本では、星座や血液型は性格やタイプと関係があると考えられているからです。では、B型はどんな性格か？ もし学習者に聞かれたら、インターネットで調べるように促してください。これは、「教室の外へ」(P58) ②の発展学習のテーマにもなっています。

自分の性格を言うときの表現はいろいろありますが、⑥「人からは～とよく言われます」や、「どちらかという～方です」などのあいまいな言い方をすることが多いです。特に長所を言う場合には、「私は明るい性格です」のような断定的な言い方はあまりしないことが多いようです。

## PART1 聞いてわかる「みなさん、こんにちは」

**Can-do 01** まとまりのある自己紹介を聞いて、プロフィール、興味を持っていること、希望や豊富など、大切な点が理解できる。

海外でも、日本人が多いところでは、日本人との交流会が行われているようです。また、現地の日本人会などが主催する趣味のサークルなどに参加することがあるかもしれません。このような場面では、自己紹介することがよくあると思います。ここでは、聞き手としての言語行動に注目します。人の自己紹介は何気なく聞いているようで、実は、趣味や興味、年齢や家族構成など、自分との共通点を探したり、また逆に、自分とは異なるおもしろそうな人を探したりしながら聞いていることがよくあります。そこで、ここでは、このような、より積極的な聞き方ができるようになることを目指します。

## 場面・設定の確認

「日本語おしゃべりサークル」に参加して、日本人の自己紹介を聞くという設定を確認します。

## ● 聞くまえに (P44)

自己紹介なので、話す内容としては、名前、趣味、職業、家族…などがすぐ出てくると考えられます。自分が海外に住んでいて同じような場で自己紹介するとしたらどんなことを話すか、という点から考えさせると、次の **1** の活動につながりやすいでしょう。

**1** 内容を段階的に理解する (P44)

指示は、「自己紹介を聞きましょう。」だけですが、自己紹介を聞いたあとで、質問したり、もっと話したりしたい相手を見つけることを目的にすると、より実際の場面に近づけることができるでしょう。

## (1) 1 回目の聞き

4 人について、まず、それぞれの人がどんな人か大まかなプロフィールを確認します。ここでは職業と、なぜこの国にいるかを聞き取ります。

## (2) 2 回目の聞き

次に、自己紹介の中心的な内容に注目します。ここでは、現在の趣味や興味を持っていること、この交流会に参加した理由やこれからの希望を聞き取ります。

## (3) 3 回目の聞き

最後に、それ以外にわかったことを自由にメモさせます。メモはディクテーションではないので、キーワードだけでかまいません。

◆では、教師が答え合わせをするのではなく、ペアやグループでわかったことを比べます。人によって答えが違っていたり、よくわからなかったりすることがあるということがポイントです。これが、次の **2** 聞くためのストラテジーにつながりますので、わからなかった点を教師が説明する必要はありません。

## 2 聞くためのストラテジー (P45)

ことばの意味がわからないとき、話が終わったあとで質問するという、比較的簡単なストラテジーの練習です。

### (1) ストラテジーの機能を理解する

会話では、自己紹介を全部聞いたあとで質問していますが、ここで聞かせる音声は、①と④のストラテジー使用箇所だけを取り出してあります。それぞれ聞かせて、「社会的」「広告代理店」について質問したということと、その結果わかった意味を確認します。

### (2) 質問の仕方を確認する

どのような表現で質問したかに注目して、(1)の音声をもう一度聞きます。①「性格はわりと**社会的**だと思います」は、初めの部分はわかったけれど後ろの部分がわからない例です。わからなかったところを「何と言いましたか」を使って質問します。「性格は何ですか」という言い方もありますが、直接すぎるのであまりふさわしくありません。④「日本では**広告代理店**に勤めていましたが～」は、赤字の部分だけがわからなかった例で、「どこに勤めていたと言いましたか」と言ってもいいですし、意味を考えて「どこで働いていたと言いましたか」と言ってもいいです。

### (3) ストラテジーを使ってみる

ここでは、②木村さん、③沢田さんの話を聞いて、学習者が自由に質問します。答えは、教師が木村さん、沢田さん役になって言います。なお、このとき、1 (3)でよくわからなかったことを学習者に質問させてください。なお、①山下さん、④松田さんの話についてもわからない点が残っているなら、同じようにやってみてもいいでしょう。このようにストラテジーを使えば、1 ではよくわからなかったことばの意味がわかるということが実感できるといいと思います。

## 3 聞いたあとで (P45)

4 人のうち、誰と、どんなことを話してみたいのか自由に話します。どんなことを聞いてみたいか、具体的に、話しかけ方や質問を考えさせると、実際のコミュニケーションに近づくでしょう。また、自分が知っている他の日本人に似た人がいるかなどを話してもいいでしょう。

## ■ 聞いたことをまとめる (P45)

動詞を活用して空所を埋めます。ここでは、「ている／ていた」の使い分けに注目させます。現在の習慣的な行為や属性を示すときは「～ている」の形がよく使われます。それに対して、過去の習慣的な行為や属性には「日本では働いていた」「日本では広告代理店に勤めていた」のように「～ていた」が使われることを確認してください。

## PART2 会話する「あのう、失礼ですが…」

**Can-do 02** 知らない人に話しかけて、相手のことについて質問したり、自分のことについてくわしく話したりすることができる。

海外に住んでいると、日本人と日本語で話す機会がなかなかないかもしれません。ここでは知らない日本人に積極的に話しかけ、自己紹介することで、日本語で話すきっかけを作ること目標にしています。

自己紹介はこれまでも何回か取り上げられたトピックですが、B1 レベルの自己紹介では、ある程度まとまりのある説明をしたり、自分のことをよりくわしく話したりすることを目指します。また相手にうまく質問することで、相手の情報も聞き出せるようになることも目標です。

● 会話するまえに (P46)

はじめに、知らない日本人に話しかけた経験について、クラスでシェアします。特に、自分の国で、どんな場面でどんな人に話しかけ、どんな話をしたかを簡単に話します。クラスによっては、誰もこのような経験をしたことがない可能性もありますが、それでもかまいません。

次に、会話の登場人物や場面の設定を確認します。この会話では、シドニー(オーストラリア)のスポーツクラブで、ヨガクラスの開始前に列に並んでいる日本人主婦(西山さん)に、同じく列に並んでいるオーストラリア人日本語学習者(キャシーさん)が話しかける設定です。列に並んでいる時は、動くことができないため、話しかければ会話になる可能性が高いと考えられます。

1 会話の内容を理解する (P46)

はじめに、スクリプトを見ないでモデル会話全体を通して聞き、内容を確認します。①と②の質問のほか、キャシーさんが最後に西山さんにどのようなことを頼み、その結果どうなったか、会話全体の流れがおおまかにわかれば大丈夫です。

2 ことばの形式に注目する (P46)

スクリプトを見ながら会話を聞いて、( )にことばを入れながら、意味を簡単に確認します。形が正確に聞き取れなければ教師がすぐに与えてもかまいません。

①②③④の( )の中には、ここでは尊敬語の表現が入ります。「初中級」までにも「いらっしゃいますか」など決まった表現として出てきたものもありますが、はじめて聞く表現の場合が多いと思います。そのあと、これらの表現は誰が誰に言っているかを確認します。この会話では、キャシーさんと西山さんがお互いに尊敬語を使っていることに注意します。この教科書では尊敬語を「はじめての人と丁寧に話す」ための表現として導入していますので、上下関係などにはここでは触れないようにします。

⑤には「～ははじめました」が入るので、「昔、高校で勉強したが忘れてしまった」「それで、3年前からまた習い…」という文脈から、「はじめました」には何かを始めるという意味があること、あるいは「習いはじめました」で今習っているということを表すのだという意味があることを推測します。

この段階ではスクリプトを見ながら内容を確認することになりますが、ここではある特定の語彙や表現にあまりこだわらないことが大切です。「××はどういう意味ですか」「～とどう違いますか」など語彙や表現についての細かい質問が出て、あまり深入りした説明をしないでさりと答えるようにしてください。学習者がどうしても気になるようであれば、語彙表(WEB からダウンロード)を使って自分で調べるように指示してください。

最後の「すごいうれしい」という表現に抵抗を感じる人もいるかもしれませんが、この教科書では、実際に使われている表現は積極的に採用しています。会話では「すごく」の代わりに副詞的に「すごい」も使われるのだと簡単に説明します。また「マンション」というのは日本語では mansion のことではなく、apartment のことを指すのだという説明をしてもいいかもしれません。

### 3 会話に役立つ文法・文型 (P47)

「～んです」については、「初級1」(りかい 17課:P154)で既出のため、ここでは新規項目として取り上げていませんが、自分のことを説明するときや、相手のことを質問するとき役立つ表現であることを確認しましょう。

#### ① 尊敬語 1: 特別な形の動詞 (P47-48)

いわゆる「尊敬動詞」を使った言い方を練習します。練習は選択式ですが、元の動詞から尊敬動詞が言えるように練習してください。

#### ② 尊敬語 2: お V になります (P48)

尊敬動詞を使わないで、規則的に「お V になります」の形で尊敬語にできる動詞の練習です。学習者がスムーズに形が作れるように、形の練習を行う場合も、できるだけ「はじめて会った人と話す」というトピックや場面と関係づけられるような動詞で練習してください。

#### ③ V はじめる (P48-49)

(1)は音声を聞いて、どれについて言っているか、イラストを選ぶ練習です。(2)で、自分で動詞を変化させて言います。形を変化させるだけであれば、絵を見なくてもできると思いますが、ここでは「日本語の勉強を始めたきっかけ」という会話の中で、絵の場面を思い出しながら言うことで、意味や機能と結びつけて練習するという意図があります。

#### 4 話すためのストラテジー (P49)

会話の中では、用件をいきなり話すのではなく、「あのう、失礼ですが」など前置きとしてクッションを置いた方が、会話がスムーズに進みます。このトピックではこのようなストラテジーとして、「はじめての人に話しかける」ときの言い方と、「お願いをする」ときの言い方を練習します。

「お願いをする」言い方は、日本人にほかにものを頼みたいときなどの場面を考えて、練習してみてもいいでしょう。

#### 発音 発音の練習 (P49)

「中級 1」では、それぞれのトピックに「発音」のコーナーがあり、トピックごとにテーマを変えながら、発音を意識化するようにしています。最初のトピック 1 で扱われるのは、疑問詞のアクセントと疑問文のイントネーションです。

まず、音声を聞いて、疑問詞がどう発音されているかを考えさせます。全ての語が同じ頭高型のアクセントで発音されることに注意を向けます。「中級 1」でここで初めてアクセント記号に触れる学習者には、「**ˈ**」で下がる、ということを簡単に説明します。

アクセントが単語によって異なることは、トピック 2 以降でまた取り上げますが、今回は疑問詞が全て同じようなアクセントで発音されるのだということを発見させます。そのあと、文の最後の部分に注意してもう一度聞かせます。疑問文では「か」の部分で上昇調のイントネーションになることに気づくでしょう。疑問文のイントネーションはトピック 3 (P85) でも練習しますが、ここでは「か」の部分が高くなることに注目させます。

そのあと(2)で実際に文を読んでみますが、ここでは疑問文のはじめの拍にアクセントが来る、文の最後は「か」の部分が高くなる、という二点に注意して発音します。アクセントやイントネーションを示すために、教師が手を上下させて示すなどと効果的です。ただし、できない学習者に何度もくり返させる必要はありません。その場ではできなくても、ここでアクセントとイントネーションを意識化することが重要です。

#### 5 ロールプレイ (P50)

(1)で、はじめに会話の構成について確認します。基本的には **A** で話しかけたあと、**B**、**C**、**D** でお互いについて情報交換をし、**E** で別れの挨拶をするという談話になっています。**D** の「日本語の勉強についてくわしく話す」が別枠になっているのは、この話題はある程度日本語が話せる学習者が日本人と話すときによく聞かれる話題であり、くわしい話に発展することをねらいとしているためです。

(2)では、これらの構成を考えながらロールプレイをしますが、必ずしもこの **A**～**E** の通りにする必要はありません。ある程度まとまりのある情報交換ができれば、それで Can-do は達成できたと考えてもいいでしょう。ここでは (a) レストランの場面、(b) 観光地、(c) 長距離電車の席、というシチュエーションを示していますが、そのほか自分の国でありそうな場面にしてもかまいません。また(a)

－(c)の場面を自分の国や街に特化して、より具体的なロールプレイカードを作ってもよいでしょう(例:デュッセルドルフのイマーマン通りにある「串亭」という日本料理店に行ったら…)。

(a)は会話の例の続きを考えますが、(b)(c)ではより自由にロールプレイをします。ロールプレイはペアで行いますが、ペアを変えて、何回かくり返し行うようにすると、より練習になるでしょう。時間の都合によっては、(b)(c)はどちらかだけを選んで行うこともできます。

### **文化** 文化について考える

このトピックでは、PART 2 の最後にも「文化」の質問があります。自己紹介のときに聞いてもいい質問と、聞くべきではない質問は国によって違うでしょう。たとえば家族構成や、結婚しているかどうか、子どもの有無、職業、宗教などは、国によってはタブーとなります。日本では初対面で年齢を聞くことはあまり一般的ではありませんが、その代わりに、場合によっては干支などを聞いて推測することがあるなど紹介してもいいかもしれません。

## PART3 長く話す「はじめまして、マイと申します」

**Can-do 03** 自分のプロフィール、希望や抱負などの入ったまとまりのある自己紹介ができる。

日本人との交流会での自己紹介場面という PART 1 (P44-45)と同じ設定ですが、ここでは、話し手に注目します。B1 レベルの自己紹介なので、話の流れや順番に注意して話すことがポイントです。

### ● 話すまえに (P51)

自己紹介にもいろいろな場面がありますが、ここは「日本語でおしゃべりする交流会」という前提で、どんなことを話すか考えます。PART 1 を学習したあとであれば、「職業、趣味、希望…」など出てくるかもしれません。トピックを考えるだけでなく、どんな順番で話すかを考えさせると、次の活動につながりやすいでしょう。

### 1 モデル会話を聞く (P51)

写真とイラストから、日本人との交流会でマイさんが自己紹介をしている場面であることを確認します。ここでは、「はじめまして、マイと申します……」の続きに、何を、どんな順番で話したかに注目させます。

- (1) ①-⑤の質問の内容を確認してから、会話を聞きます。内容を理解することが目的なので、答えは、日本語で正しく言えなくてもかまいません。
- (2) 話の順番(構成)に注目するための質問です。聞いた内容を思い出して順番を考えさせたあと、もう一度聞いて確認させます。

### 2 表現の確認 (P51)

マイさんの話の流れに沿って話の内容を 4 つに分け、使われた表現を整理してあります。まず、ざっと目を通して( )の箇所を確認させますが、この段階で答えを予測させておきます。次に、会話例を聞きながら、空所を埋めます。以下、意味・用法を確認する際の留意点です。

- ・①「～するのは、はじめてです」、③「～したきっかけは、～したことです」では、動詞の名詞化に注目させます。名詞化には「の/こと」の両方がありますが、抽象的なルールを説明する必要はありません。セットフレーズでとらえます。
- ・④「～のおかげ」は文脈があるので意味はすぐにはわかると思います。「母のおかげで」「両親のおかげで」などもよく使うので、一緒に紹介するといいいでしょう。ただし、「雨のおかげで、農作物が豊かに実った」など、トピックにまったく関係のない例をたくさん出すことは意味がありません。

- ・⑥「可能形＋よくなりたい」は、今はできないことが将来できるようになりたいという希望を表す表現です。未習の学習者がいる場合は、「日本語を勉強して、どんなことができるようになりたいか」など、具体的な例をいくつか出せばわかりやすいでしょう。

### 3 モデル会話の確認とシャドーイング (P52)

特に難しい表現はないでしょう。「思ったより～」は自分の予想と違っていたことを言うときによく使います。「～関係の仕事」は、「旅行関係／教育関係／音楽関係の仕事」のように漠然と言うときに便利です。ガイド、教師、歌手など、はっきりわかる職業名には「～関係」はつけません。

#### ◆ シャドーイング

はじめはスクリプトを見てもいいですが、なるべく音声を聞いてくり返すように練習します。何回かくり返して、最後は教科書を閉じてやってみるといいでしょう。はじめてシャドーイングを経験する場合は、上手にできなくてもかまいません。

### 4 再話する (P52)

少し長い自己紹介をするための練習として、ここでは、メモを見てマイさんになったつもりで自己紹介をしてみます。目的は、メモの情報を見ながら、ことばをつないでまとまりのある談話を構成することですから、無理して、会話例の通りに言おうとする必要はありません。

一度に全部のカードの情報をまとめて話すのが難しい場合は、4枚のメモを1枚ずつ順番に使って話すようにするといいでしょう。たとえば、次のようなやり方があります。

まず、4枚のメモのうち「これまでの経験」の情報だけを見て、グループやペアなどで、一人ずつ言ってみます。メモを見て言ったあとで、2の表現が使えたかどうか振り返ります。4枚のカードについて、1枚ずつ同じような手順でくり返します。1枚ずつの練習が終わったら、今度は、4枚のメモを使って、初めから終わりまで続けて話す練習をします。時間があれば、何回かペアやグループを変えて練習します(交代に言い、お互いの発話を聞きます)。はじめは2分、次は1分30秒、次は1分というように時間をだんだん短くして行って(教師が時間を見てスタート、ストップの合図をする)何回か話すようにすると、だんだん流暢に話せるようになるでしょう。

### 5 自分のことを話す (P53)

#### (1) 話したい内容を整理する

過去、現在、未来という時間の流れにそって、話す内容を組み立てることがポイントです。自己PRは、趣味や興味のほかにも性格などを加えてもいいでしょう。「あの人とこんなことを話したいなあ」と人から興味を持ってもらうためには、どんなことを話せばいいかを考えさせるといいと思います。

## (2) 話す

初対面の人が多クラスなら、順番に自己紹介をさせ、話のあとで必ず誰かに質問させてみるといいでしょう。自己紹介させたあと、フリータイムを設けて、自由に質問し合ったり、話し合ったりするというやり方もあります。クラスの人数が多い場合はグループに分けて自己紹介させてもいいですし、さらにグループを変えて、何回か自己紹介させることもできます。

Can-do チェックでは、教科書巻末の「学習記録シート」(P250)の評価のポイントにあるように、話す順番を考え、全体としてスムーズな流れで話せたかどうか振り返らせてください。

## PART4 読んでわかる「気軽にフォローしてください」

**Can-do 04** ソーシャルネットワークの自己紹介を読んで、どんな人か、だいたい理解できる。

SNS を使うときさまざまな人に出会うチャンスがあります。日本語のネット上のコミュニティに参加すれば、そこで日本人と知り合ったり、日本の話題に触れたりする機会が増えることでしょう。その入り口として、フォローする人を探すために、Twitter のような SNS のプロフィールを読むという言語行動を取り上げます。

● **読むまえに (P54)**

それぞれの体験を振り返って、SNS のプロフィールを読むとき、どのような点に注目しているかを思い出します。なんとなく読んでいるという回答もあるかもしれませんが、趣味、職業、年齢など、何かしら注目している点があると思うので、それを引き出すようにしてください。なお、SNS を使っていない学習者がいる場合は、SNS について簡単に紹介してください。

**1 内容を理解する (P54)**

(1) 1 回目の読み: 注目したいポイントを決め全体をざっと読む

自分で読むポイントは、「読むまえに」で考えたことをもとに決めます。注目したいことは人によって違うはずですから、それぞれの学習者が別々の点に注目して読むことになります。読んだあと、どのようなことがわかったか、ペアやグループで話してから全体でシェアしてもいいでしょう。

(2) 2 回目の読み: 少しくわしく読む

(1) で注目した以外の点についても読むようにします。職業、趣味・興味・好きなこと、希望・抱負は共通項目ですが、その他はそれ以外にわかったことなら、なんでもいいです。一人で全部をやらせるというやり方以外に、4 人グループでそれぞれが一人の人を担当し、わかったことをシェアさせる、クラスを 4 グループに分けて一つのグループが一人の人について整理し、そのあと新しい 4 人グループを作ってわかったことをシェアさせる、というやり方もあります。

なお、内容を表に整理する過程で、わからない語彙などがあっても、すぐに辞書を引かせるのではなく、**2** の戦略を使わせてから、確認させてください。

**2 読むための戦略 (P55)**

漢字のことばの意味を推測する戦略を取り上げます。特に漢語の場合、構成漢字のそれぞれの意味、または一部からでも、単語全体の意味が推測可能です。

ここでは、例として、「かおりん」のプロフィールにある「ロンドン在住」を取り上げています。「ロンドン在住」の「ロンドン」と「住」(住む)という漢字意味、この二つの「手がかり」から、たぶん「ロンドンに住んでいる」という意味だろうと推測します。もちろん、この二つの手がかり以外にも、SNS の自己紹介文だから、多分住んでいるところを言っているのだろうと、背景知識も推測に利用しているかもし

れません。このように、読み方がわからなくても、いろいろな「手がかり」を使って推測できることに気づくのが目的です。

練習のヒントになるように「維持、著書、移住、声楽」など、初級にはないことばを取り上げてありますが、まず、**1** (2)の活動でわからなかったことばの意味を推測させるようにしてください。すぐに辞書を引かせるのではなく、どうしてそう考えたかをグループやペアで話し合わせる協働作業を取り入れると、自分が使わなかった「手がかり」に気づききっかけになるでしょう。そのあとで、辞書などで意味を確かめさせ、自分の推測が合っていたか間違っていたかを確認し、どのような手がかりが役に立つのか考えさせるといいでしょう。

### **3** 読んだあとで (P55)

どの人に興味を持ったか、どの人をフォローしてみたいか(フォローとは、その人の発言を読む設定にすること)を考えます。どの人にも興味を持たなかったということでもかまいません。どちらの場面も、それがなぜなのか、理由をペアやグループで話し合うといいでしょう。

### **4** 読むのに役立つ文法・文型 (P56)

ここでは、SNSのプロフィールなどによく使われる表現を取り上げました。

#### **1** 名詞で終わる言い方 (P56)

SNSの文章は、表現を短くするために、文を名詞で終わらせることが多くあります。

- ・「海外生活4年目の主婦」は、「名詞+です」の「です」が省略された形です。「4人兄弟の末っ子、大学4年生、独身、趣味は音楽、…」のように使います。
- ・「学習中」の「～中」は、「勉強中、留学中、子育て中、恋人募集中、失業中」のように、「する動詞+中」の形で、「～している」という意味を表します。

プロフィールの中には、ここで例に挙げられた以外にも、名詞で終わる文がたくさんありますので、線を引かせて意味を確認します。意味がわかれば十分で、ほかの例を作らせる必要はありません。

#### **2** ～ばと思っています (P56)

希望や抱負を表す便利な表現です。「～ば(いい)と思っています」の「いい」という部分が省略された形と考えるとわかりやすいでしょう。話しことばの場合にも、自己紹介など、どちらかというところフォーマルな場面で希望を述べるときに、よく使われます。

#### **3** ～といいな (P56)

希望・抱負を述べる表現で、「～といいと思っています」という意味ですが、「～と思っています」の代わりに「～な」という終助詞がついています。この表現は、聞き手がいるかどうかを考えずに、自分の欲求や希望をそのまま口に出すような場合、たとえば、ひとりごとを言うときによく使われます。そのため、読み手、聞き手には軽い印象を与えますので、書きことばの場合も話しことばの場合も、フォーマルな場面では使われません。

**漢字のことば 漢字の整理 (P56)**

自己紹介の中に出てきた漢字です。これらのことばが本文のどこに出てきたかを確認し、読み方、意味を確かめたあと、キーボードやスマホで入力するなどの練習をしましょう。

**◆ 漢字を手がかりにことばを増やしたり整理したりする**

漢字のことばの中から、「主婦」や「教師」などの職業のことばに注目します。ほかにも、「医者」や「警察官」など、一般的に、プロフィールには職業のことばが多く出てきますので、そうしたことばを思い出し、また漢字で書くとうなるのか、考えます。

漢字の整理の仕方はいろいろあります。ここでは、まず意味で整理する方法を取り上げました。プロフィールには、ほかには、家族関係のことば、自分の専門分野のことばなどもよく使われますが、授業であまり広げる必要はありません。ここでは、学習者が自律的に漢字を整理したり増やしたりできるようにするための、きっかけ作りをしてください。

## PART5 書く「プロフィールを書こう」

**Can-do 05** ソーシャルネットワークの自己紹介で、興味を持っていること、希望や抱負などについて、書くことができる。

学習者が実際に日本語で書く場面として、SNS に自己紹介を書く活動を選びました。興味を持っていることや希望、抱負などが書けるようになることを目指します。

### 1 書く (P57)

#### (1) 書くための準備

実際にプロフィールを書くまえに、内容を整理します。SNS のプロフィールの場合、自己紹介の部分に書く字数が制限されていることがあります。どんなことを一番書きたいか、重なりなく簡潔に書くためにも、整理してから書くといいでしょう。

このメモ作りの段階で、ペアになって相談をしてもかまいません。何を書いたら良いのかよくわからないような場合、相談することで、アイデアが浮かぶ場合もあります。

#### (2) プロフィールを書く

実際に文章を書きます。書いたあとで、友達に読んでもらう(2)の活動がある)ことを先に伝えておくといいでしょう。SNS の自己紹介は、実際にはいろいろな人が読むものです。そうした読み手を意識して書くようにしましょう。

ここでは具体的には Twitter という SNS に書く場合を模しています。Twitter の場合、自己紹介には、160 字という字数の制限があります。ここでは、それに習って、160 字以内で書くようにしています。

このトピックでは、まえの PART 4 とこの PART が関係する内容となっています。そのため、PART 4 「読むのに役立つ文法・文型」(P56) で学習した「名詞で終わる言い方」、希望・豊富を言う「～ばと思っている」「～といいな」などを自主的に使おうとする人もいると思います。無理にこれらの表現を使わせる必要はありませんが、使うことでこうしたことが書けるようになったのだと実感できれば理想的です。

### 2 書いたあとで (P57)

クラスで、お互いの書いたものを読んで、コメントし合います。最後に全体で、どのようなところに特に興味を持ったかなどを発表してもいいでしょう。やり方は、PDF のフォーム(まるごとサイトからダウンロード)に記入したものを印刷して配布、手書きしたものをコピーして配布、印刷したものをクラス内に掲示、などさまざまな方法が考えられます。

クラスで Facebook のグループページなどを共有して、そこに書き込ませるようにすれば、いっそう現実に近い活動になります。学習者の興味があれば、Twitter に実際に日本語発信用のアカウントを作り、そこに自己紹介を書かせるなどの方法もあるでしょう。

## 教室の外へ

### わたしだけのフリース (P58)

(例)には、学習者の自己紹介に使えるような、家族の話や、名前の由来などが挙げられていますが、ほかにも自分の趣味や興味、日本語始めたきっかけとなる体験を話すときに使う文や語彙などが考えられます。自己紹介するときに、どのような表現が使えたらいいか、想像したうえで調べてメモしてもいいですし、PART 1～5の活動を終えたあとで、そこで自分のことを話すときに使った表現を書き留めておいたものをまとめる、などの方法でもかまいません。

### 教室の外の活動のアイデア

#### ①

SNS で、実際に日本語で書かれたさまざまなプロフィールを読んでもみる活動です。ここでは Twitter を使った例を挙げていますが、Twitter が使えない、または一般的でないなどの国もありますので、自分が興味のある SNS を自由に選ばせてください。Twitter 自体はユーザーのプロフィールをキーワード検索することが難しいので、ここでは一般の検索サイトから「Twitter 日本語勉強中」と入れて検索する例を示してあります。「Twitter」と入れることで、Twitter のプロフィールが、「日本語勉強中」と入れることで、外国人が日本語で発信しているアカウントがヒットします。この活動が、日本語で SNS を始めてみるきっかけになると理想的でしょう。

#### ②

日本人の自己紹介といえば、「血液型」と「星座」が話題になることが非常に多くあります。インターネットのサイトにも、血液型や星座と性格を結びつけた記事がたくさん見つかりますので、これを読んで、自分の性格と合っているかどうか、考えさせます。

国によっては ABO 式の血液型を使っていない、また個人で知っている人が少ない、などの場合もあります。また人によっては、科学的根拠のない話を嫌がる人、また個人では変えられない生まれつきの特性を性格と結びつけることに、不快感を表す人もいるかもしれません。そのような場合は深入りする必要はありませんが、日本人の自己紹介でこれらが話題になることが多いのは事実なので、「どう思うか」「なぜ日本人は血液型の性格判断が好きなのか」などを(母語や共通語を使って)話し合ってみるのも一つの手です。

#### ③

基金の海外センターや日本クラブなど、日本関連団体が主催する、日本語での交流イベントやサークル活動が行われている場合があります。そうしたところに参加して、実際に日本語を使ってみると、教室にとどまらない、日本語使用が体験できます。

「街で見かけた日本人に声をかける」のは、PART 2 で行った Can-do の実践そのものですから、ぜひ挑戦したいものです。ただし、国によっては日本語を使って話しかけてくる人は詐欺など悪意がある人だと思われてしまう状況のときもあり、現地の日本人が警戒心を抱いている場合は、日本人に話しかけても冷たい反応が返ってくる可能性もありますので、状況を判断してください。そのような場合、どのようにすれば相手が安心して話せるか、クラスで話し合ってみてもいいかもしれません。たとえば日本人が多くいて気楽に話せそうな場はどこかなどを具体的に情報交換したり、教科書を持って「日本語勉強中」のようなマークを付けるなどのようなアイデアを出し合ったりしてもいいでしょう。

## トピック2 おすすめの料理

食べ物は、国や文化を越えて話しやすいトピックのひとつです。これまでの『まるごと』の教科書でも何回か出てきましたが、B1 レベルでは、少しくわしい説明ややりとりができるようになることを目指します。

### ◎ 扉／準備

#### ● トピックについての質問 (P59)

扉の写真を見ながら、外食の習慣と、家で作る料理についての質問に答えます。外食については、ここでの質問は日本料理に限りませんが、知っている日本料理の店があれば、それについて情報交換させてもいいでしょう。また作ったことのある日本料理があれば、どんな料理か、材料はどこで入手したかなどについても話させるといいでしょう。

扉の写真は、海外のすし屋のカウンター、海外の日本食スーパー、お好み焼きの写真です。質問に答えるときの参考にしてください。

#### 1 写真やレアリアを見る (P60)

日本のレストラン紹介サイトを見ているという設定です。

4 種類の店の写真と情報があります。「どの店に行きたい」「だれに行きたい」など、行きたい店とその理由を、学習者同士で自由に話し合います。文字情報一つひとつを読み取る必要はなく、わかることばや写真、数値化された情報などから、どんなタイプの店なのかを把握します。

このサイトでは、それぞれの店についての情報は、店名、総合評価(黄色い★の数と点数)、店の種類、おすすめのポイントの順に書かれており、その下にさらに、「料理・味」「サービス」「雰囲気」「値段」についての評価(グレーの文字)があります。「料理・味」「サービス」「雰囲気」は 5 点満点で、「値段」は中心価格帯が記載されています。この 4 項目は、レストラン紹介サイトでよく使われるので、覚えておくと便利でしょう。なお、「値段」は「予算」となっている場合も多いです。このようなサイトは、多くの国にあるようなので、自分の国のサイトと比較して考えさせるとわかりやすいでしょう。

なお、4 つの店は、上から順に、家庭的な居酒屋、ロマンチックなイタリア・レストラン、高級日本料理の店、エスニック料理の店ですが、人によって受け取るイメージが違ってかまいません。

#### 文化 文化について考える (P60)

まず、1 のサイト情報の中にある「料理・味」「サービス」「雰囲気」「値段」を手がかりに、何がレストラン選びで大事かを考えさせると意見が出やすいでしょう。そのほかには、「立地」「交通の便」「営業時間」「料理のはやさ」「見た目の美しさ」などの観点があるかもしれません。国や地域による違いがあれば、個人による違い、いっしょに行く人による違いもあるでしょう。無理に意見をまとめる必要はなく、共通点や違いに気づくことがねらいです。

## 2 語彙や表現の確認 (P61)

好きな料理と、その理由を言うときの表現を取り上げてあります。選択肢のことばを使った「雰囲気がいい」「素材が新鮮」「ボリュームがある」「見た目がきれい」などは、料理や飲食店についてコメントするときによく使う表現なので、セットで覚えておくようにするといいでしょう。

なお、「刺身はうまいですね」の「うまい」は「おいしい」の意味ですが、どちらかというと、男性がよく使うインフォーマルな表現です。

### ◆ 赤字の言い方に注目しましょう

比較の表現について注目します。これらの表現は料理だけでなく、好きなものについて話すときによく使われます。

(A)「二つのもの比べる」言い方は、「どちらかというと～より～」です。

(B)「一つだけ選ぶ」言い方は、「～がいちばんです」「なんといっても～です」「～は最高です」です。

## 3 その他の活動 (P61)

料理の作り方を言うときに使う動詞を、卵料理の例を使って示しています。ここで注目してほしいのは①-⑦の動詞で、a-h の料理はそれを考えるためのヒントにすぎません。a-h がどんな料理かは写真から推測できれば十分で、教室内で解説する必要はありませんが、教師の参考のために、簡単にまとめておきます。

- a. 卵かけごはん: あたたかいご飯に生卵と醤油をかけ、かきまぜて食べる。
- b. 揚げ卵: 生の卵を熱した油に入れて作る。ただし、他の卵料理と比べてあまり一般的ではない。
- d. 卵焼き: だし汁や砂糖を加えて味つけた溶き卵を、フライパンで薄く焼き、巻いて作る。
- e. 茶碗蒸し: 溶き卵と出し汁を混ぜて容器に入れてから、蒸して作る。
- f. 卵炒め: 野菜などの具を溶き卵と混ぜて炒めて作る。なお、卵だけを炒めたものは、日本では炒り卵と言われているが、ここでは取り上げていない。
- g. 目玉焼き: フライドエッグのこと。目玉のように見えるのでこう呼ばれる。
- h. 煮卵: ゆで卵を味の付いたつゆやだし汁で煮て作る。

興味を持った学習者には、インターネットで検索して調べてみるように促しましょう。これも「教室の外へ」のタスクのひとつです。なお、国や地域によっては、「生卵」を食べるのは危ないという考えもあるかもしれませんが、日本の卵は厳しく品質管理がされていて、安全な食べ物のひとつと言えます。

## PART1 聞いてわかる「ここは、とくに魚がうまい」

**Can-do 06** レストランなどの店の紹介を聞いて、味や値段などの大切な情報が理解できる。

海外で日本レストランに行くとき、よく知っている人に店の評判を聞いてみるのがよくあると思います。ここでは、そういう場面で、知り合いから情報収集ができるようになることを目指します。

● 聞くまえに (P62)

日本料理についての背景知識を問う質問ですが、好きな料理の名前があったら、自由に言わせる程度でかまいません。

場面・設定の確認

イラストは職場の同僚との昼ごはん場面です。食事をしながら料理の話をしているところだということを、まず確認します。会話に参加しているのが日本人だけではないこともポイントです。ここでは、「日本料理の店なら、どこがおすすめですか？」と質問している人の立場に立って聞きます。

1 内容を段階的に理解する (P62)

(1) 1 回目の聞き

まず、それぞれの人がどんな店を紹介しているか、全体的な内容を理解します。ここでは、どんな料理が食べられるか、料理の名前を聞き取ります。

(2) 2 回目の聞き

店を決めるとき、一般に、味と値段は大切な条件と思われます。そこで、この二つの情報について注目します。味については、単に「おいしい」というだけではなく、具体的に説明しています。タスクは、選択肢から選ぶだけですが、それぞれの選択肢の意味を確認してから行ってください。

(3) 3 回目の聞き

その他の情報を聞き取るタスクです。聞き取る内容は自由です。これまでに 2 回は聞いているのでそれほど難しくないでしょう。なお、聞かせ方ですが、例以外の 3 つの店の中で一番興味を持った店について情報を取るようにすることもできます。そのあとで、わかったことをグループやクラスで出し合って、全体で情報をまとめます。実際の場面では、ラーメンが好きでなければ「ラーメン屋」の話を一生懸命聞く必要はないので、このような聞かせ方をするとより自然でしょう。

\*「ベーカリー・マイ・ラブ」の紹介では、日本のパンの名前が出てきます。メロンパンとあんパンは甘いパンで、菓子パンとも言われます。メロンパンは、パンの表面の模様がメロンの皮の模様に似ていることから、メロンパンと呼ばれているようです。あんパンは、中にあんが入ったパンです。焼きそばパンは、コッペパンに焼きそばをはさんだものです。興味を持った学習者には、インターネットの画像検索などで調べさせるといいでしょう。

## 2 聞くためのストラテジー (P63)

わからないことばがあったときの「聞き返し」のストラテジーを練習します。ここでは、トピック1のように、相手の話を最後まで聞き終わってから質問するのではなく、相手の話を聞きながら適当なところで聞き返します。わからないことばをそのままくり返して質問するというストラテジーです。

### (1) ストラテジーの機能を理解する

①うまい、②バイキング方式、③だしの3つのことばを聞き返したところだけを編集した音声を聞かせて、①－③のことばの意味がわかったかどうか確認します。

### (2) 「聞き返し」の言い方を確認する

(1)と同じ音声を聞いて、①－③のそれぞれについてどのように聞き返したか確認します。わからないことばをくり返しているだけですが、上昇イントネーションになっていることに注意します。

### (3) ストラテジーを使ってみる

「④ベーカリー・マイ・ラブ」のスクリプトを使って、実際に、わからないことばがあったら聞き返す練習です。ここでは、教師が話し手役になってスクリプトを読みます。学習者はそれを聞いて、わからないところがあったら自由に聞き返します。教師は、聞き返されたら説明します。一人の教師が、一度にクラス全員を相手にするのは難しいかもしれません。クラスの人数が多い場合は、クラスをいくつかのグループ(4～5人)に分けて何回かやってみたり、何人かやってみたい学習者と選んでやってみたり、工夫してみてください。もし、ボランティアで手伝ってくれる日本語話者がいたら、相手役をお願いしてみてもいいでしょう。学習者同士で練習できそうなら、それでもかまいません。

## 3 聞いたあとで (P63)

4つの店から行きたい店を選びます。行きたい店の名前だけでなく、どうしてその店に行ってみたいのかを言わせると、理解した情報を振り返るきっかけになるでしょう。また、実際に知っている店について紹介し合う活動に発展させてもいいでしょう。

### ■ 聞いたことをまとめる (P63)

比較するときの言い方、情報を付け加えるときの言い方が選択肢になっています。それぞれの用法について細かい解説は必要ありませんが、質問があれば、下のように整理するとわかりやすいでしょう。

#### ・比較する

- a. 同じ場合: ～と同じくらい…、～と変わらない、～と比べても(負けないレベルだ)
- b. 違う場合: ～よりも…、～と違う

#### ・情報を加える言い方

- a. 同じような情報を付け加える: それに、～だけではなく

- b. 違う観点の情報を付け加える:でも、ただ
- その他
  - とにかく～:「とにかくおいしい／やすい／量がある」などのように、人にすすめるときによく使う。

## PART2 会話する「お好み焼き粉は…」

**Can-do 07** いっしょに買い物しながら、料理の材料について、何をどこで買えばいいか、どう使えばいいかなどを、話し合うことができる。

モデル会話では、日本語学習者が現地の日本人と一緒に料理を作るために、海外の日本食料店で買い物をする場面が取り上げられています。このような場面で日本語を使う可能性のある学習者はあまり多くないかもしれませんが、しかし、日本料理や自国の料理について、これを作ろうと思ったときに、材料がどこで手に入るか、材料がない場合はどうすればいいかなどを情報交換することは、決して少なくないと思われます。このトピックの会話では、こうした料理を作る際の、ややくわしい情報交換ができるようになることを目指します。

## ● 会話するまえに (P64)

はじめに、日本料理を作った経験について、情報を共有します。何を作ったか、それは日本でのことか、自国でのことか、また誰かと一緒に作った場合は、誰とだったかなどを簡単にシェアします。ここで個別の料理の話にあまり入り込まないよう注意してください。

この会話の設定は、バンコク(タイ)の「おしゃべりサロン」で知り合った日本人の高塚さんとタイ人のユパカーさんが、休日と一緒にお好み焼きを作るために、日系スーパーに買い物に来ているという場面です。自分の国・街で、日系スーパーや日本の食材を扱う店があるかどうか、どこにあるか、行ったことがあるかなどを確認して、具体的な状況を思い浮かべられるといいでしょう。

## 1 会話の内容を理解する (P64)

スクリプトを見ないで会話を通して聞きます。二つの質問のうち、①「何を買いますか」については、粉末だしを買うか買わないかがこの会話でははっきりしていません。また②の「どんなお好み焼きを作りますか」も、解答にある「貝を入れたお好み焼き」のほかにも普通の豚肉のお好み焼きも作ると思われます。ここでは解答にあまり厳密にならず、会話のだいたいの内容を理解すればいいと考えてください。「貝」という単語はここでのキーワードですが、短い上にあまりなじみがなく、聞き取れない学習者も多いかもしれません。これを聞き取ることが目的ではありませんので、こうした場合はすぐに学習者の母語や共通語で説明してしまってもかまいません。

## 2 ことばの形式に注目する (P64-65)

スクリプトを見ながら会話を聞き、( )の中にどんな形式が入るか、聞き取ります。ターゲットとなる( )は4カ所ですが、「みたい」「ばいばい」「でしょうか」の3種類が入ります。前後の文脈から、その意味を考えます(たとえば、「ないですね」と「ないみたいですね」はどう違うか、予想します)。その形式の意味を別の日本語で説明するのは難しいかもしれませんが、学習者の母語や共通語を適宜使ってください。

なお、スタイルについての質問はこのトピックにはありませんが、会話では二人は「です・ます」で話していて、ひとり言を言うときは普通体で話していることに注意を向けてもいいでしょう。

### 3 会話に役立つ文法・文型 (P65)

他の人に対する「希望を言う」表現の「～てほしい」(「初中級」トピック7:P94)、「いっしょにすることを提案する」表現の「～ましょう」(「入門」りかい 12 課:P115、「初級 1」かつどう 8 課:P69)は、どちらも既出ですが、このトピックの Can-do 達成に役立つ表現として確認しておいてください。

#### ① ～みたいだ (P65-66)

練習は単に形を変化させる練習ですが、このセリフを言う場面を想像しながら、「自分で見たことや経験したことから判断している」という状況を確認してください。

#### ② ～でしょうか (P66)

これも形を変える練習ですが、場面とそこでの機能を確認しながら行うようにしましょう。「～でしょうか」について、「推量」のような説明を持ち出す必要はなく、ここでは、「～ですか」という直接的な質問より、「～でしょうか」という言い方のほうが丁寧な質問になるという程度で十分です。①-④は、同じ場面での会話です。「これで足りるでしょうか」は、買い物をする材料について話しています。

#### ③ 疑問詞+ばいい (P66-67)

音声を聞いて、答えを選ぶ練習です。学習者がやり方を聞くだけでなく、その答えを理解できるころまで想定した練習です。はじめに(1)で全体の会話を聞いて、答えを理解します。それから(2)で、絵を見ながら質問する言い方を確認します。なお(2)のチェック音は、(1)の会話の前半の質問部分だけを抜き出したものです。練習では、ペアになって絵を見ながら質問→答えの会話をしてみます。このとき、モデル会話と完全に同じセリフでなくてもかまいません。

③の「何分・4分」には「なんぶん・よんぶん」と「なんふん・よんふん」の言い方があります。これまでの教科書などに出てくる伝統的な言い方は前者ですが、ここはあえて後方で録音してあります。もしこれについて質問が出た場合には、「どちらの読み方でもいいが、最近では、なんぶん・よんぶん、と読むことが多い」と説明してください。

### 4 話すためのストラテジー (P67)

ある概念を伝えたいけれど、その単語が思い出せなかったり、そもそもことばを知らなかったりするとき、そこで話が続けられなくなってしまう学習者が多くいます。こうしたことを避けるために、ことばが思い出せなくても何とかほかのことばで言い換えるストラテジーを身につけて、話が続けられるようにすることが大切です。このようなストラテジーは、トピック 5(P121)、トピック7(P157)でも練習します。

ここでは、あるものについて、それを何というかの名前が思い出せないとき、その特徴を説明しながら質問し、相手から答えを引き出すストラテジーです。練習では「のり」と「わさび」が選ばれていますが、ほかにもいろいろなもので練習してもいいでしょう。

### 発音 発音の練習 (P67)

日本語では単語ごとにアクセントが決まっています、この違いを意識しなければ、自然な発音にはならないことに注意します。ここではまず(1)で、単語によってアクセントが違うこと、アクセントが違くと、実際の発音のパターンが異なることを、耳で聞いて確認できるようにします。(2)で自分で発音してみますが、今の段階では、記号を見ながら必ずしも正しく発音できる必要はありません。日本語ではアクセントが単語ごとに決まっていることを意識し、区別して発音しようとするようになるだけでも大切なことです。できれば、これ以降は、単語を覚える際にはアクセントにも注意を向けるようにしてください。なお、ダウンロードできる語彙表には、全ての語にアクセントが記載されていますので、参考にしてください。

### 5 ロールプレイ (P68)

(1)では、二人の会話の話題に注目します。「お好み焼き」について話している **A** は、日本の料理について情報を求めている部分、一方、「タイの料理」について話している **B** は、自国の料理について情報を与えている部分と言えます。どの部分がそれにあたるかを確認したあと、◆でユパカーさんの発話に注目して、それぞれの部分で使われている表現を確認します。**A** では「～んですか」「～ばいいでしょうか」、**B** では「～んです」「～と思います」「～ましょう」などの表現が使われていることを確認して、次のロールプレイの参考にします。

(2)の①では、はじめにお好み焼きを作るときの会話をします。本文の会話の内容を思い出しながら話せばよいので、あまり話を広げる必要はありません。

次に②として、「ほかの日本料理」について話します。すき焼き、巻き寿司とその材料の写真がありますから、これを参考にして話してもいいですし、そのほかの料理について話してもいいでしょう。日本人と自国で日本料理を作る場面を想像しながら、いろいろ会話を考えさせてください。このとき、学習者が自由に話せばいいので、その作り方が正しいか正しくないかにこだわる必要はありません。また、はじめは教師が日本人役を演じてもいいかもしれません。もし学習者が日本料理について何も知識がなく何も言えない場合は、ここは飛ばして、すぐ③に行ってもかまいません。

③では今度は自国の料理を作るという設定のロールプレイです。聞き手は日本人という設定なので、作り方や材料などについて、相手に教えるというシチュエーションになります。日本国内で行う場合には、日本でその料理を作るという設定にして、材料はどこで買えるか、手に入らない時はどうすればいいかなどを話してもいいでしょう。

ロールカードに書かれた役割は、①②では日本料理について情報を求める側、③では自国の料理について情報を与える側になるので、表現は①②では **A**、③では **B** の表現が参考になるでしょう。

いずれの場合も、単に「料理について説明する」というよりも、一緒に料理を作るために、いろいろ情報交換しているのだという場面やシチュエーションを想像しながら行えるようにしてください。

## PART3 長く話す「ぜひ、めしあがってみてください」

**Can-do 08** 自分の国の料理の特徴や作り方などを、わかりやすく説明できる。

自国の料理や食べ物については日本人からよく聞かれる質問のひとつです。ここでは、自分の国に来たばかりの日本人に、おすすめの料理についてわかりやすく説明できるようになることを目指します。

● 話すまえに (P69)

自分の国に来た日本人にどんな料理を食べてもらいたいのか、自由に話します。その料理をすすめる理由や料理の特徴などについても考えてさせると、5で話すときのヒントになるでしょう。

1 モデル会話を聞く (P69)

写真とイラスト、吹き出しのセリフなどを見て、日本からの出張者を空港で出迎えたあとのタクシーの中での会話であることを確認します。

内容はキルギスのラグマンについての紹介ですが、質問①～④にそって聞き、「ラグマンはうどんに似ている、ゆでて肉や野菜をのせて食べる、肉から出るスープがおいしい、パセリをかけて食べる、ラグマンにもいろいろな種類がある」ということが、だいたいわかればいいでしょう。70 ページにラグマンの写真があるので、聞いたあとで見せて、目で確認させてください。ラグマンの写真はインターネットの画像検索でも探せます。

2 表現の確認 (P69)

全体は、「おすすめの料理を言う」「どんな料理か説明する」の二つですが、料理の説明は、「見た目」「料理方法」「食べ方」「味」「その他」に分けて、そこで使われる表現を整理してあります。

それぞれの表現について、ほかによく使われる表現を（ ）の中に参考情報として示してあります。「ラグマンは、国によっていろいろなバラエティがあります」の「～によって」は、「国／地域／家庭／人によって」などと言い換えが可能です。

3 モデル会話の確認とシャドーイング (P70)

ラグマンについての情報がどのようにまとめられているかに注意して、スクリプトを見ながら聞きます。2で取り上げた表現以外にも、「この麺をゆでて…」 「その上に…」 など、文脈指示のことばを使うことによって、前の文とのつながりをわかりやすくしている点に注意します。また、日本人出張者の出迎えというフォーマルな場面で、かつ初対面の人に対しての説明なので、話し手が敬語を使っている点にも注意するといいいでしょう。

なお、2では取り上げませんでした、「日本の方に、いちばん好きな料理はと聞くと、たいいていラグマンだとおっしゃいます。ぜひ、めしあがってみてください。」という話のまとめ方も自分で話すときの参考になるでしょう。

## ◆ シャドーイング

「見た目」「料理方法」「食べ方」「味」についての説明をシャドーイングしてみます。何回かくり返して話すうちに、料理の説明の仕方や文と文のつながり、まとめて話すコツにも気づくと思います。

## 4 再話する (P70)

次の5で、自分の国の料理の紹介をするための練習として、ここでは、キルギスの「ラグマン」を紹介してみます。ラグマンについての情報はメモにまとめてあります。メモ【①】—【③】はラグマンの説明なので、少し難しくてもばらばらに練習するのではなく、3枚のカードの内容をいっしょにして話す練習をしてください。そのあとで、メモ【④】「その他」の情報を加えて話すようにすると、やりやすいでしょう。

はじめの「おすすめの料理の名前」の言い方は、会話例の言い方以外に、2の表現を利用して、「おすすめはラグマンです」「ぜひ、ラグマンをめしあがってみてください」などと言ってもいいでしょう。

また、メモ【②】料理方法、食べ方の「食べ方」(「パセリをかけて食べたりもします」)は、会話例では、【③】味のあとに話していました。これは、【②】で話してもつながりが悪くなければかまいません。このように、いろいろなバラエティに気づくことも、この練習の目的です。

このようなバラエティに気づくためにも、再話は、1回練習して終わりにするのではなく、ペアやグループで、何回か練習して、お互いの言い方を観察し合うといいでしょう。

## 5 自分のことを話す (P71)

## (1) 話したい内容を整理する

自国の料理を紹介します。選ぶときに迷うようなら、「話すまえに」で頭に浮かんだ料理の中から一つ選ぶといいでしょう。ただし、クラス全員が同じ料理を選んでしまうと、(2)の話す活動にバラエティがなくなってしまうので、教師が状況に応じてコントロールしてください。また、同じ料理を選んだ場合でも、それぞれ説明のし方は違うでしょうから、そこに注目させることもできます。

説明項目としては「見た目」「料理方法、食べ方」「味」「その他」がありますが、話す順番は自分で考えさせるのが、このポイントです。たとえば、「いろいろありますが、おすすめは●●です。これは、お正月には必ず食べる料理なんです。」と「その他」の情報から話し始めた方がわかりやすい場合もありますので、一人ひとりが工夫するようにしましょう。

## (2) 話す

料理の紹介といっても目的はプレゼンテーションではありません。会話の中で、日本人に聞かれて答えているのだということを忘れないようにしましょう。ペアになって話すとき、聞き手は、あいづちを打つと本当の会話らしくなっていくでしょう。

話したあと、巻末の「学習記録シート」(P252)の Can-do のチェックポイントを見て、順番を考えて話せたかどうか振り返ってみてください。

## PART4 読んでわかる「じゃがいもを入れるのがポイント！」

**Can-do 09** 料理レシピを読んで、材料、作り方、注意点などが理解できる。

料理レシピはインターネット上にたくさんあり、海外でも目にする可能性の高いもののひとつです。また、日本料理を作りたいという学習者には、日本語でレシピが読めると、作れる料理のバリエーションが増えるでしょう。そこで、ここでは、料理レシピを読んで、材料、作り方(手順)、注意点や作る上でのコツなど、必要な情報を理解できるようになることを目指します。

● **読むまえに (P72)**

料理レシピは、料理が好きかどうか、あるいは経験の有無などによって、読むことへの動機や興味が異なることが予想されます。そこで、まず、教科書の質問だけではなく、料理を作ったことがあるか、料理レシピを読んだことがあるか、日本料理を作ったことがあるかどうか、もし作るとしたらどんなものが作りたいかなど、料理について広く話し合ってみることから始めるといいでしょう。

そのあとで、もし、レシピを読んで料理を作るかどうかを決めるとしたら、どんなところに注目するか、何がいちばん知りたいポイントかを話し合います。注目するポイントは一つでなくてもかまいません。出てきたポイント(例の「材料」、「時間」など)をホワイトボードなどに書いておくと、次の活動につながりやすいでしょう。

1 **内容を理解する (P72-73)**

(1) 1 回目の読み: 自分で決めたポイントについて読む

まず全体をざっと読ませることが目的です。その際、「読むまえに」で考えたポイントについて書かれているかどうか、書かれていた場合、どんな情報があったかに注目して読みます。詳細な内容まで把握する必要はありません。たとえば、「材料」と「料理にかかる時間」に注目して読んだような場合、「材料については、右上に書いてあったが、時間については書いてなかったので、どのぐらい時間がかかるのかわからない」のような読み方がかまいません。

読んだあとで、全体的な感想として、この料理を作りたいと思ったかどうか考えさせます。それぞれが異なるポイントで読んでるので、理由も聞いてみると、いろいろな視点が出てきておもしろいでしょう。

(2) 2 回目の読み: 材料に注目して読む

次に、「材料」の部分に注目してもう一度読みます。食べられないものはなかったか、自分の国では手に入らないものがあるかどうかなど、自分にひきつけて読ませるようにします。

材料でわからないことばがあれば、この段階で確認します。「お好み焼き粉」「お好み焼きソース」「青のり」「かつお節」「紅しょうが」などは、学習者にとってなじみのない材料と思われます。「お好み焼き粉」「お好み焼きソース」「かつお節」は、PART 2 の会話(P64-65)に出てきていますので、それを思い出してみるといいでしょう。「薄切り肉」はお好み焼きの場合、普通「豚肉」を使いますが、ほ

かの肉を使うこともあります。肉やシーフードなどアイデア次第でさまざまな材料が使えるのが、お好み焼きのひとつの特徴です。

分量で「適量」とあるのは、特に決まっていない、自分が適当だと思う量のことです。同じような表現が母語の料理レシピにもあるかどうか考えてみましょう。

### (3) 3 回目の読み: 作り方に注目して読む

1~8 の作り方の部分を読んで、料理の手順を理解します。絵を並べるのは、手順が理解できたかどうかを確認するためです。読んだ内容とそれぞれの絵がマッチングできれば十分です。ここでは、だいたいの手順がわかればいいので、細かいことばの意味がわからなくてもかまいません。知らない語彙につまずいて、なかかなか読み進めることができない学習者がいるかもしれませんが、ここでは、**2** のストラテジーを使わせるようにしてください。

◆では、絵を見ながら作り方を簡単な日本語で言っています。これは、基本的な手順をきちんと理解したかどうかを確認することが目的なので、無理に詳細な説明を求めないようにしてください。

### (4) 4 回目の読み: コツ・ポイントに注目して読む

料理のコツやポイントはいくつもありますが、ここでは、レシピに書いてある材料が自分の国では手に入らないときに、代わりに使えるものがあるかどうかを読み取ります。まず、その情報がどこに書いてあるかをさがします。(2)と(3)で見た「材料」と「作り方」には書いていなかったなので、下の「コツ・ポイント」のところに書いてあることがわかればいいです。

◆では、材料が入手しにくい場合として、ほかにどんな場合があるか、自由に考えてみます。キャベツのかわりにレタス、じゃがいものかわりにほかの芋類を使うこともできるかもしれません。青のり、紅ショウガのかわりに、ネギやパクチーなど、自分の国のものにおきかえてもいいでしょう。なかには、PART 2 の会話を思い出して、「お好み焼き粉」がない場合は小麦粉に粉末だしを混ぜればよいという学習者もいるかもしれません。このような練習は、(2)と同様、実際の場面にひきつけて読むためのトレーニングになります。

## **2** 読むためのストラテジー (P73)

文章中に知らないことばがあっても、知っていることばだけをつないで、文全体の意味を推測するストラテジーを練習します。料理のレシピの場合、料理の知識を使うことで、推測がしやすい場合も多いと思います。ここでは、そうした背景知識(料理の知識)も使いながら推測してみましょう。

まず、はじめに例を見て、知っている限られたことばだけからでも推測できることを確認します。次に(1)で、「作り方⑤」の文の中にあることばから実際に文の意味が推測できるかどうかやってみます。最後に(2)で、テキストの作り方の文を自由に選んで、同じように文の意味を推測してみます。

推測したあと、知らないことばの意味を確認して、推測があっていたかどうか確かめましょう。ペアで、お互いにどのように推測したか話し合ってもいいでしょう。また、テキストの詳細を確かめたい学習者の場合は、語彙リストや読解文の翻訳(ダウンロード可)などを、この段階で利用させるといいでしょう。

### 3 読んだあとで (P73)

お好み焼きは、いろいろな具を入れて焼くことができるのが特徴です。学習者自身が独自のアイデアで、どんなものを入れたいのか考えるといいでしょう。お互いに考えたことを発表すると、ユニークなお好み焼きができるかもしれません。

「教室の外へ」の活動①では、実際にこのお好み焼きを作ってみるというアイデアが紹介されています。オリジナルのお好み焼きを作ってみるのもいいかもしれません。

### 4 読むのに役立つ文法・文型 (P74)

ここでは、料理レシピでよく使われる「手順を説明する」ときの表現、「状態や変化を言う」ときの表現を取り上げました。

#### ① 連用中止 (P74)

手順を説明するときに、よく使われます。「じゃがいもの皮をむき、…切り、…ゆでる。」と「マス形」(連用形)から「マス」を取った形で接続します。「じゃがいもの皮をむいて、…切って、…ゆでます。」と「テ形」で言い換えることもできますが、「連用中止」は、書きことばでよく使われます。

練習では、もう一度レシピを読んで、同じ形に線を引き、使い方を確認します。「3 大きめのボウルに…入れ、よく混ぜる」「5…油をひき、熱する。」「8…マヨネーズをぬり、好みで★を散らして…」などが見つかるでしょう。

#### ② Vたあと (P74)

手順を説明するときに、特に順番をはっきり説明するために使います。ここでは、前後関係がはっきりわかればいいです。

#### ③ Vておく (P74)

料理の手順を説明するときに、あらかじめしておく「下ごしらえ」などの説明によく使われます。

#### ④ 自動詞・他動詞 (P74)

自動詞と他動詞は、料理のレシピでは「よく混ぜたら、さらに②のキャベツを入れて混ぜる」のように、よく使われます。「混ぜたら」のように、「どうなったかという状態」を表すには「自動詞」が使われ、「混ぜる」のように「何をするか」を示すには他動詞が使われる点に注意します。

練習では、「冷める／冷ます」の使い分けについて考えるだけですが、ほかにも「焼ける／焼く」「固まる／固める」「煮える／煮る」など、料理に関係しそうな表現をペアにして確認しておくといいでしょう。

#### ⑤ Vてくる (P74)

例文の「おもてが固まってきたら」のように、ある変化を表す表現としての「Vてくる」を扱います。

練習では、「おもて面が固まってきたら裏返す」と「おもて面が固まったら裏返す」の違いを考えます。ここで、「固まってきたら」と「固まったら」の違いを考えれば、使い方がよくわかるでしょう。他の例としては、「材料がやわらかくなってきたら／煮えてきたら・・・」などがあるので、合わせて紹介してもいいでしょう。

なお、「Vていく」の形は、トピック7(P164)で取り上げますので、ここで対比して説明する必要はありません。

### 漢字のことば 漢字の整理 (P74)

料理のレシピの中に出てきた漢字が取り上げられています。これらのことばが本文のどこに出てきたかを確認し、読み方、意味を確認したあと、キーボードやスマホで入力するなどの練習をしましょう。

#### ◆ 漢字を手がかりにことばを増やしたり整理したりする

料理レシピには、本文にある「1 個」のように、材料の分量を示す漢字が出てきます。ほかにどのような数え方を知っているか、何をどう数えるか、ことばの知識とともに漢字を整理して覚えるといいでしょう。

例のほかに、「匹」(魚など)、「枚」(肉やレタスの葉など)、「束(たば)」(そうめんや野菜など束ねられたもの)、「丁(ちょう)」(豆腐)、「大きじ／小さじ／カップ～杯」などがあります。

**PART5 書く「簡単すき焼き」の作り方****Can-do 10** 友人に教えるために、料理の作り方のメモを書くことができる。

日本人の友達に何か料理を教えてほしいと言われたとき、メモを書いて渡してあげるといった設定です。ここでは、料理レシピサイトに投稿するような本格的なものではなく、友達にあげる料理メモを書くことが目標です。

**1 書く (P75)****(1) 書くための準備**

料理の作り方のメモの例を見ます。例は「簡単すき焼き」の作り方です。どんな情報が必要か、またどのような書き方がわかりやすいか、例を見て考えます。「材料」「作り方」「食べ方」の情報が見出しになっていること、手順には、わかりやすいように番号が付いていて、比較的短い文章で書いてあることなどに気づくといいでしょう。また、わかりにくいことは絵を描いて示してあるのも特徴のひとつです。なかなか気づかないときは、教師が質問してどこに注目すればよいかアドバイスしてください。

**(2) 料理の作り方のメモを書く**

誰に渡すメモか、たとえば日本人の先生に教えてあげるためなど、具体的に相手を決めて書くといいでしょう。また、料理を作るのが苦手な人がいる場合は、得意な人と一緒に考えてもかまいません。内容についての相談は母語でもかまいません。ここでの例は、メモなので手書きになっていますが、メールやショートメッセージなどを書いて送るといった設定にしてもいいでしょう。またクラスの Facebook ページに書き込みをして、メンバーで共有する方法もあります。

**2 書いたあとで (P75)**

学習者同士で書いた料理のメモを交換して読みます。わかりにくいところなど、お互いに質問するといいでしょう。グループで読み合って、どの人のメモがいちばん読みやすかったか話してもいいと思います。日本人のボランティアの人などに実際に読んでもらいコメントがもらえたら、さらにおもしろいかもかもしれません。

## 教室の外へ

### わたしだけのフリース (P76)

自国の料理を説明するときに使う、料理の名前、調味料や香辛料の名前、料理の手順を表す動詞などが考えられます。また料理を作るだけでなく、自分の好き嫌いを伝える表現や、レストランで特別な注文をするときの表現などもあるかもしれません。

### 教室の外の活動のアイデア

#### ①

日本料理を作ってみる体験です。お好み焼きなら材料とホットプレートがあれば誰にでも比較的簡単に作れますが、ほかにも巻き寿司やおにぎりなどでもいいでしょう。クラス内でやってみてもいいですし、機関の行事やイベントして行ってもいいでしょう。もちろん各自が家で作ってみて、その体験を共有するというやり方もできます。

またここで紹介したレシピサイト(クックパッド)に行って、作れそうな料理を探したうえで、レシピを見ながら作るという方法もあるでしょう。

#### ②

日本で、自国の料理が食べられるレストランがあるかどうか、調べてみます。ここに載せた、「食べログ」などレストラン紹介サイトで探してもいいですし、Googleなど一般の検索サイトで、たとえば「×料理 レストラン 東京」のような方法で検索するほうがヒットするかもしれません。メニューや値段を比べたり、自分の国の本物の料理と比べて何が違うかなどを見ても面白いです(たとえば「×料理レストランなのに、隣の国の△△料理のメニューが多い」「～という料理は本物の～とは全然違う」などの発見があるかもしれません)。

#### ③

各国の料理を画像検索することで、料理のイメージの違いを比較してみます。「日本料理」と入れて画像検索すると、おそらく見た目にきれいな写真がたくさん並ぶと思います。そのあとで別の国の「×料理」をしてみることで、たとえば「写真が全部茶色で見た目を気にしていない気がする。それよりも量が大切なようだ」などのような、自国や各国の料理の特徴を考えます。

#### ④

日本料理レストランの情報交換は授業の活動の中でも行う機会があったかもしれませんが、実際に一度行ってみることで、日本料理を実際に体験します。そのレストランで店員と日本語で話したり、そこに行った体験をクラスで共有する際にさらに日本語を使ったりすることで、このトピックで練習した日本語を実際のコミュニケーションで使うことができます。

## トピック3 私の好きな音楽

音楽も国を越える共通の話題のひとつです。ここでは、職場や学校など、主に仲間うちで、好きな音楽の話ができるようになることを目指します。

### ◎ 扉／準備

#### ● トピックについての質問 (P77)

毎日の生活の中で、音楽と触れ合う機会はさまざまだと思います。運転しながら、通勤のバス・電車の中で、勉強やスポーツをしながら、コンサートに行き、寝るまえに、など、場面によって聞く音楽のジャンルが変わることもあるでしょう。また、カラオケが大好きだとか、何か楽器をやっているとか、音楽とのかかわり方もさまざまだと思います。質問をヒントに、それぞれの体験や感想を自由に話し合うことによって、音楽と生活の関係についてイメージを膨らませてみてください。

#### 1 写真やレアリアを見る (P78)

日本のコンサートのポスターを6種類選んであります。これを見ると、いろいろな音楽があることに気づくと思います。選択肢は、音楽のジャンル(クラシック、ジャズ、ロック、ポップスなど)というよりも、ポスターを見てすぐイメージできそうなものを挙げています。ほかにも知っている日本の歌手やグループなどがあったら、クラスで出し合ってみてください。

\*演歌: 日本の歌のひとつです。歌うとき「こぶし」といって独特の歌い方をすること、歌詞の内容に「女・涙・別れ・酒」などがよく取り上げられているなどの特徴があります。どちらかというと、年配の人を中心に人気があるようです。ポスターの「小林幸子」もよく知られた女性演歌歌手の一人です。

\*アイドルグループ: 人気のある若い歌手のグループのことです。女性のアイドルグループも男性のアイドルグループもあり、最近では、海外でも人気があるようです。なお日本で男性アイドルとして「ジャニーズ」事務所所属のグループが海外でもファンが多く、非常によく知られていますが、権利処理の関係上、本書で扱うことはできませんでした。

\*太鼓: 日本の各地域には太鼓を愛好するさまざまなグループがあり、プロフェッショナルな集団として海外公演なども行う有名なグループもいくつかあります。

\*アニソン: アニメソングのことを略してアニソンと言います。日本のアニメ作品の主題歌や挿入歌のほかに、アニメの声優が歌う歌も含まれます。

## 文化 文化について考える (P78)

国や地域によって、いろいろなコンサートや催しが開かれていることでしょう。年代や世代による音楽の好みの違いなどについても話し合ってみてください。そのような話し合いの中から共通性や個別性に気づくといいと思います。

## 2 語彙や表現の確認 (P79)

好きな音楽について言うときの表現を取り上げてあります。選択肢にもなっている「歌詞、メロディー、テンポ」などは音楽について話すときに使うことばです。「のり」はここでは名詞で「この曲はのりがいい」「のりがいい曲」のように使います。リズムやテンポがよく、聞いていると心が弾んできてハイテンションになるような曲のことです。教科書にあるように、カラオケでみんなで歌って踊れるような曲が「のりがいい曲」となるわけです。ここでは平仮名ですが、片仮名で「ノリ」と書かれることもあります。

### ◆ 赤字の言い方に注目しましょう

「いつも、よく」や「あまり、ぜんぜん～ない」のように頻度や程度を表す表現に注目します。

(A) 回数や割合が「多い」ことを表す: 「(クラシックが)ほとんど」「もっぱら(ジャズ)」「(J-POP)中心」

「よく(聞く)」はこれらの音楽を聞くことが多いことを示します。

(B) 回数や割合が「少ない」ことを表す: 「たまに～する」「めったに～ない」の二つです。「たまに～する」「めったに～ない」の頻度の違いについては、客観的事実というよりも話者のとらえ方による場合が多いです。「たまに、生演奏を聞きに行きます」は「行く」ということを伝えたいとき、「めったに、カラオケには行きません」は「行かない」ことを伝えたい場合に使われます。

## 3 その他の活動 (P79)

メロディーを聞いてコメントをする活動は、正解があるわけではないので、自由に表現させましょう。音楽を聞いたときすぐに日本語が思い出せないのであれば、母語でメモして、あとで下の四角の中の語彙を見て、日本語をさがしてみるようにします。四角の中のことばから選ばせてもいいですし、それ以外のことばで表現させてもいいでしょう。

コメントするときは「明るいです」ではなく、「明るい曲ですね」「明るい感じがしますね」「聞くと、明るい気持ちになりますね」など、音楽について友達と話している感じで、なるべく自然な言い方ができるように、(例)の言い方を参考にしながら言わせるようにしてみてください。

なお、音楽は①と③はフリーの素材サイトから取った音楽で、②はチャイコフスキーの交響曲です(交響曲第4番の2楽章)。

## PART1 聞いてわかる「やっぱり演歌でしょう」

**Can-do 11** 音楽の話聞いて、その音楽の特徴や魅力がだいたい理解できる。

音楽に興味を持っている人は多いと思いますし、自分が学習している言語の音楽に興味を持つ学習者も多いと思われます。そこで、好きな音楽について、よく知っている人(ここでは日本人)に質問して情報収集するという設定で、音楽の特徴や魅力などがだいたい理解できるようになることを目指します。

### ● 聞くまえに (P80)

どんな音楽が好きか、音楽のジャンルや歌手やグループの名前などを自由にクラスで出します。どんなところが好きかについても考えてみると、どんな情報に注意すればいいかがわかるので、次の**1**の練習につながります。

### 場面・設定の確認

日本人に質問して情報収集するという場面設定はトピック2と同じですが、ここでは、知り合いの4人の日本人に、別々の場面で質問します。「私、日本の音楽を聴いてみたいんですが…」と質問しているイラストの女性の立場になって聞きます。

### **1** 内容を段階的に理解する (P80)

#### (1) 1回目の聞き:どんな音楽か概要を理解する

全体をさっと聞いて、4人が話題にしている歌手やグループ名、音楽のジャンルを聞き取りますが、ほかにわかったことを自由に言わせてもいいでしょう。CDジャケットの写真があるので、ジャケットからどのジャンルの音楽かを予測させてから聞いてもかまいません。4人が紹介している音楽のジャンルは、どれも「準備」で出てきたものです。

#### (2) 2回目の聞き:それぞれの音楽で注目するポイントを理解する

音楽の話をするときは、「メロディー」「歌詞」「(歌手の)歌のうまさ」「楽器の演奏」などについてコメントすることが多いと思われます。そこで、ここでは、4人がどのポイントについて話しているのかについて注目して聞き、当てはまるものにチェックを書きます。

なお、教科書の表の解答欄①には、「迫力がある、リズムが正確」と記入されていますが、これは、次の(3)のところのメモなので気にする必要はありません。この段階では、上の欄のチェックだけに集中します。

#### (3) 3回目の聞き:それぞれの音楽の魅力聞き取る

まえの(2)でわかったポイントについて、今度はどう言っているかを聞き取ります。わからないことが残っても、次の戦略で練習するので、教師が全部説明しなくてもかまいません。

ここで話題になっている歌手やグループの参考情報は以下のとおりです。「教室の外へ」(P94) ②にも書いてありますが、インターネット上の動画などを見るように勧めるといいでしょう。

\* 鼓童: 日本を代表する和太鼓グループのひとつで、海外公演も多い。筋肉質の男性達が、ふん  
どし姿でたたく太鼓は迫力がある。

\* コブクロ: J-POP の男性デュオで、きれいなメロディーの曲が多いこと知られている。

\* X JAPAN: 演奏技術の高さに定評があるロックバンド。化粧や衣装が派手でビジュアル的な魅  
力もひとつの特徴となっている。

\* 吉幾三: 日本の男性演歌歌手のひとり。青森出身で、故郷をテーマにした歌が多い。

## 2 聞くためのストラテジー (P81)

トピック2(P63)と同じ聞き返しのストラテジーですが、ここでは、わからないことばを全部くり返すのではなく、聞き取れたところだけ部分的に、自信なさそうに、くり返すストラテジーを取り上げて練習します。

### (1) ストラテジーの機能を理解する

①清田さん、②さなえさん、③上野さんの話の中で聞き返しのストラテジーが使われているところだけを聞いて、「和太鼓集団」「上下でハモる」「ビジュアル系」の意味が理解できたかどうか確認します。

### (2) 「聞き返し」の言い方を確認する

(1)で聞いたのと同じ音声を聞いて、どのように聞き返したか、形に注目します。ここでは、全部が言えなくても、わかった部分だけをくり返せばよいということがポイントです(もちろん、全部をくり返して聞き返してもかまいません)。その場合、最後は上昇イントネーションではなく平坦になっていることも注意しましょう。音声をまねて言うてもいいでしょう。

### (3) ストラテジーを使ってみる

④松本さんの話を使って、実際にわからないことばのところを聞き返す練習です。トピック1と2では教師と練習しましたが、ここでは、学習者同士でやってみます。はじめは、教師がスクリプト(P222)の松本さんの箇所を読み、学習者には聞き手のパートを言わせませす。そして、わからないところで聞き返させるようにします。そのあと、学習者同士でやらせると、比較的スムーズにできるでしょう。話し手(松本さん)と聞き手の両方を体験するようにし、できれば聞き手役の人はスクリプトを見ないでやってみるようにします。話し手(松本さん)の役になった人が、聞き返されたときに日本語で説明するのが難しければ、母語や共通語で説明してもかまいません。

- ◆ 聞き返しは便利なストラテジーですが、多く使いすぎると話の流れが止まってしまったり、話し手が不快に感じたりすることがあるようです。何回ぐらいなら聞き返してもいいかは、答えがあるわけではありません。ここでは、話し手と聞き手がお互いに配慮し合いながらやりとりすることが大切だということに、気づくことがねらいです。

### 3 聞いたあとで (P81)

4つの中で、聞いてみたいものがあつたかどうか話します。ただし、ここで紹介されたものの中には好きなものがないという場合もあるでしょうし、この説明だけで、どんな音楽かを想像するのも難しいかもしれません。ここでは、「聞いてみてもいいかな」と思えるものを学習者が言う程度でかまいません。

また、インターネットに接続できるクラスなら、ここで紹介された音楽の動画(ネット上)をクラスの中でいっしょに見てみるのもいいでしょう。4人の紹介と比べてどうだったか、実際にどう思ったかなど、コメントし合うとおもしろいでしょう。

なお、好きな音楽について紹介し合うという発展活動も考えられますが、この教科書では、PART 3(P87-89)で行います。

### ■ 聞いたことをまとめる

選択肢は音楽を描写するときによく使う表現です。イ/ナ形容詞がほとんどなので、活用させる必要はありません。なお、「機械のように正確」「難しいことを軽くやっている」というのは、どちらも演奏の技術の高さを表します。

## PART2 会話する「いい歌は古くならないんです」

**Can-do 12** 音楽の好みや経験などについて、友人と話することができる。また、相手の話に簡単にコメントできる。

カラオケの話をつきかけに、音楽の好みについて談笑する会話です。モデル会話では、カラオケに誘ったり、誘いを受けたりしていますが、ここでは誘い自体よりも、音楽について、自分の好みや経験を語ったり、相手の話を聞いてコメントしたりすることのほうが、より重要な目標になっています。日本人の友達や、会社の同僚などと、音楽をテーマにおしゃべりをする場面を想像しながら行ってください。

### ● 会話するまえに (P82)

最初の質問は、カラオケの経験について聞いています。自国にカラオケがあるかどうかは国によっていろいろ事情が違うと思います。ここでは自国のカラオケの経験でも、日本に行ったときにカラオケをした経験でも、どちらでもかまいません。また歌った歌も、日本の歌、自国の歌、英語の歌など、自由に話してみてください。

会話の舞台は、ブダペスト(ハンガリー)にある日系企業の支店。ハンガリー人のアルバイト、ユディットさんが、支店長の村上さんからカラオケに誘われます。スタッフの佐藤さんを含め、登場人物は三人です。

### 1 会話の内容を理解する (P82)

スクリプトを見ないで聞きます。①の、カラオケが好きな人と好きではない人を分ける質問は、比較的わかりやすいと思います。ここでは、②の、ユディットさんがカラオケについてどんな思い出を話しているか、内容をおおまかに理解することを目標に聞いてください。

### 2 ことばの形式に注目する (P82)

スクリプトを見ながら聞きます。このトピックでは、はじめに(1)として、スタイルの違いについて考えます。支店長の村上さんに対しては、ユディットさんと佐藤さんは丁寧体を使い、逆に村上さんは、二人に普通体で話していることに注目させます。ここでは支店長の村上さんを中心とした上下関係を確認し、目下の者から目上の者へ丁寧体、目上の者から目下の者へ普通体が使われていることを説明します。職場においては、目上の者から目下の者へであっても常にフォーマルな丁寧体を使う場合もありますが、これは職場の雰囲気や個人の性格、また話題や場面などによっても違うことを説明してもいいかもしれません。カラオケに誘い合うような雰囲気の職場で、どちらかというトランクな感じの村上さんは、休み時間に社内のスタッフには普通体を使って話しているという感覚が理解できるとよいでしょう。

(2)では、( )の中にことばを入れますが、おもに使役形を中心とした表現が入ります。少し長いことばも入るので、全部聞き取れなくても、すぐ答え合わせしてしまってもかまいません。ここではこ

れから練習する文型の形式について、意識化することが目的です。「意味」「働き」として、動作主は誰か、どんな気持ちが入っているかなどを考えます。

\*「ドリカム」＝「Dreams Come True」というグループ、「サザン」＝「サザンオールスターズ」というグループの略。「時代」は中島みゆきの1975年の曲、「いとしのエリー」はサザンの1979年の曲。今では、日本人なら誰でも聞いたことがある「名曲」として位置づけられています。カラオケでは、最初は最新のヒット曲などを歌い、酔ってくるにしたがって、古い曲、演歌、アニソンなどを歌うような盛り上がり方が多いようです。この場合の「アニソン」は、最新アニメの主題歌というよりも、自分が子どもの頃に見た古いアニメの主題歌をみんなで歌って盛り上がる人が多いようです。

### 3 会話に役立つ文法・文型 (P83)

使役に関する表現を中心に、新出項目がやや多くなっています。あまり時間をかけすぎず、場面に合った練習を心がけてください。ここでは、実際に使われる用法の順に、「～(さ)せてください」→使役受身→その他の使役形、という順で提出されています。

文型積み上げ式の考え方にとらわれていると、どうしても、ただの「使役形」から始め、応用的表現へ発展させていくという順番で教えたくなるかもしれません。しかし、実際の会話場面で使役形が単独で使われることはあまりなく、使役形は「させてください」「させていただきます」「使役受身」などの表現で使われることの方が一般的です。そのため、使役形だけをはじめに単独で教えようとすると、「先生はSさんを立たせました」「先生はSさんに窓を開けさせました」のような、どのような文脈で何のために発するのか全くわからないような例文を使い、「文型のためだけの練習」になってしまいがちです。これを避けるため、ここでは場面や文脈を考えながら、意味のある自然な表現から学ぶという方針に立っています。

#### ① V(さ)せてください (P83-84)

実際の場面で使役形を使う表現として、「～(さ)せてください」をはじめに練習します。使役形については『まるごと』ではじめて登場しますので、最初に形を確認する部分がありますが、使役形だけを単独で取り出してパターン練習するのではなく、「～(さ)せてください」を作る練習にするほうが、あとの練習につながりやすいと思います。

練習では、自分がしたいことについて相手に許可を求める表現として「～たいです」から「～(さ)せてください」に変化させます。自分の動作に付けて言うのがポイントです。機械的に形を変えるだけでなく、場面や文脈を考えながら行うようにしてください。ここでは「丁寧にお願いする」場合の表現と説明されていますが、必ずしも「お願い」でなくても、自分がこれからすることを言うときに多く使われますので、積極的に使えるようにしましょう。これと「～(さ)させていただきます」が使役形が実際の会話で使われる場合の代表的な表現で、後者についてはトピック7(P155-156)で練習します。

## ② Vさ(せら)れる:使役受身形 (P84)

練習は「～ました」の形から使役受身形にする変形練習です。動作主はどちらも自分であり、自分がしたことを説明する表現ですが、使役受身の場合には「したくないのに、そうした」というニュアンスが加わるということに注意しながら練習してください。

動詞の変化としては、辞書形から使役形を作り、さらにそれを受身形にすると考えると、複雑になります。使役形を経由しないで、ない形や辞書形から直接、使役受身形を作れるように練習させる方が効率的でしょう。

## ③ V(さ)せる:使役形 (P84)

ここで、使役形の練習が入りますが、全て使役形は「～てはいけない／～てしまって(すみません)／～たくない」など、できるだけ会話でありそうな文脈で取り上げています。「させてください」や使役受身と違って、ここだけ発言者と動作主が異なることになります。「飲む」人は誰か、のように、( )に入る動詞は誰の動作か、確認しながら意味を考えて練習するようにしてください。

なお、使役形の用法は「強制」「許可・容認」「感情の誘発」「責任」などに分けることがありますが、分類方法にはいろいろあります。この練習の例文①－⑤にも、異なる用法が入っています。ここではどれがどの用法かはあまり気にせず、ほかの人の動作に働きかけるという意味で共通していることがわかれば十分です。用法やニュアンスの違いは、具体的な文脈とともに身につけていけばいいでしょう。

## ④ Vことがある (P85)

自分が音楽とどのぐらい関わりがあるかについて説明するときに使える表現として「～ことがある」を練習します。聞いたあとで絵を見ながら自分のことばで言う練習がありますが、「～ことがある」を使って状況を伝えることができれば、聞いた会話をそのまま再現する必要はありません。また会話は丁寧体のものと普通体のものがありますが、これも自分で言う場合はどちらで言ってもかまいません。自分が誰と話しているのかを想像しながら行ってください。

## 4 話すためのストラテジー (P85)

さまざまなあいづちの表現が集められています。会話をスムーズに進めるためには、相手が何かを言ったときにまず反応を示すことが必要です。またあいづちによって、いろいろな気持ちを伝えることもできます。ここでは(2)で、それに注目して、気持ちの違いを考えます。日本語では他の言語と比べてあいづちの頻度が多いと言われていいますので、相手の話を聞いたあと、すぐ何かあいづちを返すように意識させてみましょう。

## 発音 発音の練習 (P85)

文末の上昇イントネーションに注目した練習です。特に普通体の会話では、疑問文は「か」を付けずにイントネーションだけで表すこととなりますので、大切です。日本語では、文全体が最後に

向かって上昇していくのではなく、最後の一拍だけで上昇するのがポイントです。特に「そ<sup>↑</sup>う？」  
「く<sup>↑</sup>る？」などのように、後ろから二拍目にアクセントの下がり目があるとき、短い時間で下降→上  
昇のイントネーションになり、外国人学習者にとって難しい発音になっています。イントネーションの  
線を見ながら、手などを使って練習してみてください。

### 5 ロールプレイ (P86)

(1)でモデル会話の構成を考えます。イラスト左側の列は、**A**村上さんがユディットさんをカラオケ  
に誘う→**B**ユディットさんが誘いを受けて、二人でカラオケについて談笑する、という流れを表して  
います。イラスト右側の列は、**A**村上さんが佐藤さんも誘う→**C**佐藤さんが理由を言って誘いを断る  
→**D**ユディットさんがもう一度佐藤さんを誘い、佐藤さんは誘いを受ける、という流れです。

誘う→誘いを受ける／断る、というやりとりですが、ここでは、それ自体が目標のタスクなのではな  
く、誘いをきっかけに、音楽について自分の好みや経験について語ることが目標の Can-do になっ  
ています。そのため、◆で**B**の部分を見て、あいづちやコメントの表現に注目します。

(2)のロールプレイでは、①の (a) ではカラオケが好きな人、②の (b) ではカラオケが好きで  
はない人を演じます。カラオケが好きな人も、好きではない人も、本当の自分とは違って、そういう  
人になったつもりでロールプレイをしてください。

そのあと③で、コンサートなどに誘うロールプレイに発展させますが、ここでも誘いをきっかけに、  
その音楽についておしゃべりをするのが目的です。音楽の好みや経験について、自由に本当の  
ことを話してください。

### 文化 文化について考える (P86)

このトピックではここにも文化に関する問いがあります。質問の答えは、日本と自国の比較というよ  
りも、会社の雰囲気や、そこで働く人との関係といった個別的事情によるかもしれません。日本では、  
仕事のあとに同僚と飲みに行ったりカラオケに行ったりすることもよくありますが、やはり会社によっ  
て異なるでしょう。また世代や個人によっても異なります。ここでは正解を出すことが目的ではなく、  
職場での人とのつきあい方を比較して考えてみるのが目的です。

## PART3 長く話す「彼女のすごいところは…」

**Can-do 13** 自分の好きな音楽について、好きな理由や魅力が説明できる。

好きな歌手やグループ、曲、作曲家などについて友達から聞かれたとき、その魅力が説明できると会話が弾むでしょう。PART 1 は相手から情報を引き出す方でしたが、ここでは情報を提供できるようになることを目指します。

題材としては、レディー・ガガを選びました。ガガはアメリカの女性シンガーですが、クラシックの基礎がありピアノも上手く、作詞・作曲も自分で行います。奇抜な衣装やメイクのイメージがありますが、日本の災害地への支援など社会的な活動でも知られています。

● 話すまえに (P87)

好きな音楽について聞かれたら何と答えるか自由に話し合います。事前活動なので簡単でかまいません。目的は、どんなところがいいか、学習者それぞれが頭に思い浮かべることです。思い浮かべたことばをメモさせておくと、5の活動につながりやすいでしょう。

1 モデル会話を聞く (P87)

写真とイラスト、吹き出しの内容から、職場の休み時間などの同僚との会話であることを確認します。ジャネットさんの「そうですね。ガガって…」という説明から、ガガの音楽が話題であることがわかるでしょう。質問の①～⑤に答えることによって、ガガのどんな側面について話しているか理解します。ガガをまったく知らない学習者がいても問題ありません。

2 表現の確認 (P87)

好きな音楽について話すときに役に立ちそうな表現をまとめてあります。

- ・①「すごくレベルが高いんですよ」の「～んです」は、相手に対する説明で強調したいときによく使われます。モデル会話でも何箇所が使われていますが、使いすぎは押し付けがましい印象を与えるので注意が必要です。
- ・④「彼女のすごいところは～ところです」は、「すばらしい／いい／優れているところは～ところ
- す」のように使われます。セットフレーズとして覚えるといいでしょう。
- ・⑦⑧「まるで～ようだ」は、たとえるときに使います。PART 4 (P92) に説明があるので、必要なら参照してください。
- ・ポイントを並べて話す(接続の表現)：音楽の魅力を語る談話なので、時系列ではなく、いくつかの情報を並列して並べるときの接続表現を取り上げます。一般的なのは、「それに、それから、それだけじゃなくて」です。「あと」は、ちょっと忘れたことを思い出して付け加えるようなときに話しことばでよく使われます。ここでは、詳細な使い分けを説明する必要はなく、次の3で、スクリプトを見ながら、使われているところを確認します。

### 3 モデル会話の確認とシャドーイング (P88)

ガガの魅力を、どのような順番で話しているかに注意して、スクリプトを見ながら聞きます。ここでは、⑤音楽以外(イメージ・印象)→①歌やピアノ→②自分の歌→③メロディーやリズム→④ミュージックビデオ→⑤音楽以外(社会的活動)のようになっています。

次に、2の接続の表現が使われているところに下線を引くなどして、注目します。「それに、それだけじゃなくて」の二つが使われていることを確認してください。

#### ◆ シャドーイング

前半をシャドーイングします。学習者が慣れてきたら、続きの部分もシャドーイングしてもいいでしょう。

### 4 再話する (P88)

好きな歌手やグループなどについて紹介するための練習です。ここでは、素材としてレディー・ガガを使ってやってみます。メモには、レディー・ガガの魅力を、「イメージ・印象」「音楽」「その他」の3つ分けて整理してあります。話の中心は「音楽」の部分ですので、それについてどんな点を挙げ(○で囲まれているところ)、それについてどうコメントしたか(○の外に書いてあるところ)がわかるメモになっています。

練習するときは、話すまえに、メモの構造を確認する時間をとってください。メモを見ながら、もう一度会話例を聞かせるなどして、「イメージ・印象」→「音楽」→「その他」の順番で話していることを確認します。再話するときは、メモの左側から順番に情報を並べて話していけば、会話例と同じ談話構造になるはずですが、少しずつ情報を加えていくようにすると無理なくできるでしょう。ここでは、接続詞に注目してもらうために「それに」と「それだけじゃなくて」が紫の文字になっています。話したあとで、これらの接続詞が使えたかどうか振り返らせてください。

なお、メモの内容をほかの順番で話してもかまいません。ただし、まとまりのある話になるように注意してください。

### 5 自分のことを話す (P89)

#### (1) 話したいことを整理する

好きな歌手、グループ、作曲家、演奏家の名前を円の中に書き、「イメージ・印象」「音楽」「その他」に分けて、魅力や特徴をメモに整理します。ただし、「その他」が思い浮かばないなど、話したいことがない場合は、その点には触れなくてもかまいません。メモはなるべく短くキーワードだけを書きます。「● 話すまえに」でメモしたことばがあれば、それを整理するののひとつの方法です。

#### (2) 話す

友達に自分が好きな歌手などについて話すときの一番のポイントは、魅力をうまく相手に伝えられるかどうかです。相手はその歌手のことを知らないという前提で話します。

Can-do チェックでは接続表現も評価のポイントになっているので、実際に使えたかどうか振り返るようにしましょう。

## PART4 読んでわかる「BEGIN のライブに行ってきました！」

**Can-do 14** コンサートの感想について書かれたブログを読んで、どんなコンサートだったか、どう感じたかが理解できる。

身近な日常の出来事を綴ったブログ記事は、B1 レベルの読解素材として最適なもののひとつです。コンサートなどに行った感想を記した記事も多数見つかります。

ここでは、BEGIN というバンドのコンサートに行った人が書いたというブログを読むという設定になっています。コンサートの様子や出来事、また、それについての書き手の感想が理解できるようになることが目的です。

● 読むまえに (P90)

コンサートに行ったことがあるか、行ったことがある人は、どんなコンサートに行ったかを話合います。実際にコンサートに行ったことがなくても、テレビや DVD でコンサートを見たことがある人もいるでしょう。コンサートの様子や感想を自由に話すことによって、ブログの内容に書かれそうな話題をある程度予想することができるでしょう。

1 内容を理解する (P90-91)

ブログを読むまえに、BEGIN がどんなバンドか 91 ページの写真と説明で確認してください。

(1) 1 回目の読み: 全体を読み、だいたいの内容を把握する

コンサートの様子や出来事など事実が書いてあるところと、それについての感想が書いてあるところがありますが、ここでは、このブログを書いた「かおるさん」の感想を把握することが目的です。

コンサートについての「かおるさん」の感想が書いている部分に線を引きながら読み、書かれていることばから、全体的な感想を理解します。「すごく満足」「幸せな気分」などから、「かおるさん」がよいコンサートだったと思っていることがわかります。

(2) 2 回目の読み: 様子や出来事をくわしく理解する

表の左側には、理解してほしい 4 つのポイントが質問の形で書かれています。①は1段落目、②は2段落目、③は3段落目、④は4段落目の内容に関係したポイントです。

まず、この 4 つのポイントについてどの段落に書いてあるかがし、そのあとで、表の( )の中に適当なことばを書いて内容を整理します。

◆では、表を見て、①-④の内容についてそれぞれ「かおるさん」の感想が書かれている箇所を見つけさせます。(1)で感想のことばに線を引いているので、再確認するという練習になります。

また、①-④でまとめた内容以外にも、わかったことを自由に話し合わせたり、また、よくわからなかった点について確かめたりする時間をとっていいでしょう。

なお、曲名の「<sup>なだ</sup>涙そうそう」「<sup>さんしん</sup>三線の花」「<sup>しまんちゆ</sup>島人ぬ宝」は沖縄のことばで、漢字も特殊な読み方をします。

## 2 読むためのストラテジー (P91)

カタカナで書かれた外来語の意味を推測するストラテジーを取り上げてあります。外来語の表記には、ある程度パターンがあることに気づき、パターンを考えれば、知らないことばでもある程度推測できるようになることが目的です。

例では、「ライブ」ということばで、ライブ→RAIBU→LAIVU→LIVEと推測していることを示しています。日本語では、RもLも「ラ行」、BもVも「バ行」で表記されること、最後に「U」のような母音がつくことなどを、ひとつのパターンとして示してあります。ただ、ことばによって、いろいろなパターンがあるので、ルールを教えるのではなく、学習者自身でいろいろとやってみながら気づいていくのがいいでしょう。

外来語には、例に挙げた「LIVE／ライブ」のように語源が英語のものが多いですが、フランス語やポルトガル語など、ほかの語源を持つものもあります。練習の(例)では、ブログの中にあるいろいろなカタカナ語を取り上げていますが、この中で「アンコール」の語源はフランス語です。

学習者によっては、知っている外国語の知識が異なりますので、学習者に応じて、取り上げる順番を変えたり、教師がヒントを出したりして工夫をしてください。

## 3 読んだあとで (P91)

もっと知りたいと思ったことは何か、興味を持った点について自由に話し合ってみます。YouTubeでBEGINのコンサートの様子を見て感想を話し合ってもいいでしょう。

## 4 読むのに役立つ文法・文型 (P92)

ここでは、コンサートなどの様子や出来事を描写するときに使われる表現を取り上げています。

### ① Nをはじめ (P92)

例を出すときに使う表現です。「ライブの前半は『恋しくて』をはじめ、じっくり聞かせる曲が中心でした」という文から、ほかにもいろいろな曲を歌ったことがわかります。このように、代表的な、あるいは最初の例を出すときによく使われます。例文にあるように、「～をはじめ、いろいろなN／多くのN」のような使い方が多いです。

### ② Vと、～ (P92)

何かが起こったあとに新しいことが起こったり、新たな発見があったりしたことを表すときに使います。「会場に行くと、お客さんの幅が広くてびっくりしました」の例からわかるように、「と」の前には、動詞の辞書形が来ます。また、様子や出来事を描写するときの表現なので、後ろの文は過去形になります。

教科書の二つの例文のうち、はじめの例文「コブクロが歌いはじめると、全員がいつせいに立ち上がった」も、コンサートの様子を表しています。この形を使うことで、臨場感(その場にいるような感じ)を伝えることができます。

### ③ まるで～ようだ (P92)

何かにととえて言うときに使う表現です。感想を述べる場合は、「まるで～ような気がする／気になる／感じがする」となります。

この形を使って、「まるで夢の世界にいるようだった」「まるで沖縄にきているような気になりました」のように表現すると、その場の様子や気持ちをより具体的にくわしく伝えることができます。

なお、「～ようだ」には、「ここは、まるで沖縄のようだ」のように、「名詞＋のようだ」の場合もあります。ただし、ここでは、いろいろな形を説明するよりも意味や使い方に気づくことを優先してください。

### ④ ～かな(あ) (P92)

軽い疑問の気持ちを示す表現です。ブログの中の例「これも BEGIN の特徴なのかな?」「チケット取れるかなあ」は、どちらも、ひとり言的に使われる例です。

話しことばで、「チケット、ただでもらっちゃったけど、いいのかなあ。」と語尾を上げずに言う場合はひとり言的ですが、「マイク、よく聞こえない…壊れたのかな?」と上昇イントネーションで言うと、聞き手に対して反応を求める表現になります。

## 漢字のことば 漢字の整理 (P92)

ブログの中に出てきた漢字が取り上げられています。これらのことばが本文のどこで出てきたかを確認し、読み方、意味を確かめたあと、キーボードやスマホで入力するなどの練習をしましょう。

### ◆ 漢字を手がかりにことばを増やしたり整理したりする

漢字のことばの中から、気持ちや感情に関係する動詞に注目します。ここでは、「泣く」「笑う」がそれに当たります。

ほかにも、「喜ぶ」「怒る」「驚く」「嘆く」「嫌う」「好む」などのことばが考えられます。漢字 2 字のことばとしては、「満足する」「感動する」「感心する」「安心する」「心配する」などもあります。

## PART5 書く「いっしょに行かない？」

**Can-do 15** コンサートに友人を誘うメールを書くことができる。そのとき、どんなコンサートか簡単に説明できる。

ここでは、友人にメールを書いてコンサートに誘う場面を設定しました。単にコンサートの日時や場所を伝えるだけでなく、どんなコンサートかを簡単に説明し、友達がコンサートの内容に興味を持ってくれるようなメールが書けるようになることを目指します。

## 1 書く (P93)

## (1) 書くための準備

実際のメールの例を見て、どのような情報を書けばよいのか確認します。

ここでは、「好きだったよね？…やっぱりライブで聞かなきゃ。」など、最後の文以外は普通体で書かれ、話しことばに近い表現が多く使われています。これは、友達に書いている携帯／スマホメールだからです。また、顔文字や「？」「！」の使い方などについても確認するといいでしょう。最後の「お返事待ってま～す」という文は丁寧体になっていますが、これは人をお願いするときの定型的な表現だからです。「ま～す」とすることで、少しインフォーマルな感じになっています。インフォーマルなメールでは、ほかにも「です～」「だったー」のような、語尾を伸ばす書き方もよく使われます。

## (2) メールを書く

実際に友達をコンサートに誘うメールを書きます。長さは、実際のメールの場合を想定して、(1)の例と同じぐらいの長さで書ければいいでしょう。相手が友達なので、できるだけ普通体で書くようにします。どうしても難しい場合は、「です」「ます」を使って書いてもかまいません。B1レベルで大事なものは、どんなコンサートかという情報を簡単にいいので書き加えて、友達に興味を持ってもらえるようにすることです。内容は、実際に自分が行きそうなコンサートについて書いてもいいですし、思い浮かばない場合は、BEGINのコンサートについて、これまで学んだ情報から架空のメールを書いてもいいでしょう。

## 2 書いたあとで (P93)

日本語で書いたメールなので、母語が同じ学習者同士で読み合うことは、少し現実とは違いますが、練習として、クラスの友達に読んでもらいます。そして、読んだ相手は、簡単で良いので返信してみるといいでしょう。

## 文化 文化について考える (P93)

このメールでは顔文字が使われています。日本では、ほかにどんな顔文字がつかわれているか、インターネット(「顔文字」と入力して検索してみてください)で調べたり、スマホの辞書を調べたりしてみると、おもしろいでしょう。

## 教室の外へ

### わたしだけのフリース (P94)

自分の好きな音楽のジャンルやアーティスト、楽器などについて話せるための、いくぶん専門用語的なことばを集めておいてもいいでしょうし、音楽にあまり興味がない人は、それはなぜかを説明するための言い方をメモしておいたりもできます。

### 教室の外の活動のアイデア

#### ①

PART 1「聞いてわかる」で聞いた会話を、教室の外で実際の日本人相手にやってみます。できれば複数の人に聞く機会があれば、バラエティのある活動になるでしょう。クラス内でのビジターセッションや、日本人と日本語で話す交流会などの際に、質問させてみるのもいいでしょう。

#### ②

このトピックで紹介した音楽は、すべて実在のグループや歌手です。YouTubeなどの動画サイトには、これらの音楽の映像がいくつか上がっていますので、検索してこれらを実際に見てみれば、理解も深まります。

#### ③

ここに挙げた「うたまっふ」をはじめ、日本の歌の歌詞を検索するサイトがいくつかありますので、好きな歌の歌詞を調べてみます。ここでは「酒よ」の歌詞を調べることで、「涙」「思い出」「酒」のような演歌特有の世界観に触れることができますが、J-POPの曲であれば、それを調べてみると、たとえば「会いたい」「季節」「瞳」「夢」などのような、また違った世界観があることに気づきます。これらを考えながら、自分で演歌やJ-POPの歌詞を考えて見るのも、面白い活動になります。

#### ④

「ひろがる もっといろんな日本と日本語」は、国際交流基金の開発したサイトで、日本語学習者にさまざまなトピックの映像や記事があります。「音楽」についての話題もありますので、見てみるとよいでしょう。

#### ⑤

国際交流基金が招聘するアーティストのコンサートをはじめ、日本の音楽を生で聴く機会もあるかもしれません。実際にコンサートに行き日本の音楽を体験したり、その感想を日本語で伝えたりすることで、現実のコミュニケーションと結びつけます。基金主催のコンサートについては、積極的にクラスで紹介して、来場を促すようにするといいでしょう。

## トピック 4 温泉に行こう

日本語を勉強していると、「日本に行ったことがある？ どこに行きたい？」などと、日本人から聞かれることがあるでしょう。また、個人旅行を計画する場合、日本の旅行サイトなどから情報を取ったり、滞在先のホテルや旅館に直接問い合わせたりすることができれば、自分の好みに合った旅行が企画できます。このような、旅行に関わるやりとりができるようになることをこのトピックでは目指しています。

### ◎ 扉／準備

#### ● トピックについての質問 (P95)

旅行の行き先やそこの過ごし方について自由に話します。自国で旅行するなら、日本に旅行に行くなら、など希望の行き先について話してください。行き先が同じでも、「温泉」「グルメ」「ショッピング」「歴史や文化」「のんびり読書」など、目的や過ごし方にはいろいろなバラエティがあることがわかるでしょう。希望だけでなく、これまでの旅行の体験について話してもかまいません。

扉の写真は上から、白濁の露天風呂、温泉旅館での見送り、旅行の計画を話し合う外国人、となっています。日本の温泉の経験については PART 2 で話しますので、ここではあまり触れないでおきます。

#### 1 写真やレアリアを見る (P96)

日本では各地に温泉がわくことから、温泉は旅行先として人気のある場所のひとつです。そして、温泉にもいろいろな種類と楽しみ方があります。ここでは、異なるタイプの温泉旅館・ホテルのパンフレットを取り上げています。写真を見ながら、日本の温泉にもいろいろなタイプがあることが、なんとなくわかると思います。写真から想像を膨らませて、行きたいところについて自由に話し合ってみてください。

ここでは、文字から情報を取ることは期待していませんが、参考までに、パンフレットの①－④の温泉の特徴はおおよそ次のとおりです。ただし、ほかの見方があってもかまいません。

①高級志向の温泉旅館。部屋に温泉がついている(左の写真)。部屋は落ち着いた和室(右上の写真)。料理の種類が多い、見た目がきれい(右下の写真)。

②カジュアルな温泉ホテル。いろいろな種類の温泉がある(上の写真)。食事はビュッフェで、和洋中(和風、洋風、中華)とさまざまなニーズにこたえられる。量も好きなだけ食べられる(左下)。ゲームセンターや卓球など温泉に入ったあと家族や友達とワイワイ楽しめる(右下)。

③山の中にある静かな温泉旅館。自然に囲まれている(右)。温泉は露天風呂が自然の中にある(右下)。素朴な食事(左)。

④女性向きのおしゃれな温泉ホテル。海が見える展望風呂(右)。スパやエステがある(左上)。おしゃれな料理、洋風(フレンチ風)(左下)。

### 文化 文化について考える (P96)

それぞれの国の余暇の過ごし方について、旅行先としてどんなところが人気があるのか、そしてそれはどうしてなのかなど、自由に話し合ってみてください。

また、このトピックの「温泉」について、国や人によっては全く興味が持てない、なぜ温泉に行きたいのか理解できない、などの反応もあると思います。そのような場合、日本ではなぜ温泉が旅行先として人気があるのか、自国の入浴の習慣と比較しながら考えてみていいかもしれません。

### 2 語彙や表現の確認 (P97)

旅行の経験を話すときに必要な表現を取り上げてあります。旅行と言っても、観光型、リゾート型、アクティビティ型など、いろいろなタイプの旅行があります。ここでは、さまざまな旅行について話すときに共通に使えるような名詞が選択肢になっています。

#### ◆ 赤字の言い方に注目しましょう

例示するときのいろいろな言い方を整理します。例を挙げる(例示する)場合、「～たり～たり」「～とか～とか」「～や～など」「～し～し」のように例を二つ言うことが多いですが、一つだけしか言わないでほかにも例があるということを暗示する場合があります。

「例を一つだけ言っている」のは、「バンジージャンプなんかの」「エッフェル塔みたいな」「公園を散歩したりして」の三つです。なお、例を挙げる「～なんか」については、「中級 2」トピック 4(中級 2:P103)の文法・文型で扱います。

### 3 その他の活動 (P97)

旅館・ホテル予約サイトから温泉旅館を検索してみるという設定です。まず、全体の中の3つの部分(青い囲み線の中)が、それぞれどんな条件から検索するものかを確認します。左上の「地図から探す」は、地方の名前がわからなくて地図をクリックすればよいことに気づけばいいでしょう。左下の「日付から探す」は、チェックイン、チェックアウト、部屋数、利用人数、地域、料金などの情報で、どの旅行サイトでもほぼ同じです。

右の「こだわり条件から探す」があるのは、温泉旅館の検索だからです。ここでは、条件が「お風呂」「お部屋」「お食事」の三つに分かれていることを確認します。

それぞれにある語彙は、語彙表(Webからダウンロード)を見ればわかるようになっているので、クラスでは教師がさっと説明して、学習者が希望を言ってみるといいでしょう。「源泉掛け流し」や「にぎり湯」については、温泉の泉質を重視した価値観で、なかなか理解しづらいかもしれませんので、説明を加えてもいいでしょう。ここで「こだわり条件」を取り上げたのは、日本の温泉について紹介するためなので、語彙を覚える必要はありません。

## PART1 聞いてわかる「今、私は温泉に来ています」

**Can-do 16** テレビの旅行番組の現地中継レポートを聞いて、温泉や旅館の特徴や魅力が理解できる。

日本の観光地の紹介は、YouTube などの動画サイトにもたくさんあがっています。また、海外でも NHK の国際放送などで見る機会があるでしょう。特に、最近、温泉は日本に来る旅行者にとって体験したいスポットのひとつになっているようです。このような情報に自分でアクセスできるようになると、日本への興味や理解も深まってくるでしょう。

テレビ放送の中継レポートを聴くという設定は、このトピックではじめてでできます。B1 レベルではレポーターの話しからすべてを聞き取る必要はなく、映像を見ながら必要な情報だけが取れるようになることを目指します。

### 場面・設定の確認

女性レポーターのイラストを見て、これからテレビの旅行番組の中継レポートを聴くというを確認します。

#### ● 聞くまえに (P98)

これから紹介される温泉の4つの写真(映像の一部という設定)を見てどんな温泉かを予想します。テレビ番組などでは、映像を見ながら積極的に内容を予測していくような聞き方が効果的だからです。予想するのは温泉の特徴です。「どこにあると思いますか?」「何が魅力だと思いますか?」のように質問すると、学習者は答えやすいかもしれません。

ここでは、予測した内容を日本語で3つメモさせます。実際の場面では、予想は頭の中で行うものですが、メモは1(1)の活動のつなげるためです。なお、3つ以上予測できるのであれば、たくさん書かせてもかまいません。

#### 1 内容を段階的に理解する (P98)

4つの温泉についての紹介を聞きます。教材の都合上、映像を見せることはできませんが、「聞くまえに」の写真を映像の一部だと思って聞くようにします。

##### (1) 1回目の聞き:温泉の概要を理解する

ねらいは、全体を聞いてどんな温泉かを理解することです。そのために、「聞くまえに」で予測したことが当たっていたかどうか、自分が書いたメモを見ながら聞きます。タスクは「上で書いたことばが出てきたかチェックする」ことですが、ことばが全く同じかどうかではなく、内容が関係しているかどうか注目します。「①地獄谷温泉」の例では、「でも冬の寒い日には…」から「(この温泉が)寒いところにある」ということが理解できます。

タスクのあとで、どのくらい当たったか、手をあげて確かめてみてもいいでしょう。ひとつも当たらないということはほとんどないと思います。映像からの予測が理解の助けになっていることが実感できるといいでしょう。

なお、ここで紹介されている温泉の場所は、右の 99 ページに図示してあるので、この段階で確かめるといいでしょう。図には書いてありませんが、地獄谷温泉は長野県、白馬鍾温泉は同じ長野県の北アルプスの山の中、鶴の湯温泉は秋田県、白浜温泉は和歌山県にあります。

## (2) 2 回目／3 回目の聞き:温泉の特徴や魅力を聞き取る

それぞれの温泉の特徴や魅力について少しくわしく聞き取ります。タスクは、「2 回目の聞き:選択肢(キーワード)を選ぶ」→「3 回目の聞き:そのキーワードを手がかりに特徴を聞き取る」の 2 段階になっています。

2 回目の聞き:キーワードを選ぶのは、(1)で各自が聞き取った情報があるのであまり難しくないと考えます。それぞれのことばが①-④のどの温泉に関係があるのか予測させておき、それを確認させるような聞かせ方をするといいでしょう。

3 回目の聞き:タスクの中心は、キーワードを手がかりに温泉の特徴を把握することですが、一字一句を聞き取るような聞き方ではなく、(1)でわかったことに関係づけると、より理解しやすくなります。

◆では、ペアやグループなどで、わかったことをシェアします。①地獄温泉であれば、「サルが、寒い日に温泉に入る…サルはスノーモンキーと呼ばれている、外国人観光客に有名…ここは人間が入ることができない。…近くに、人間用の風呂があって、人間はそこに入る」というようなことが言えるといいでしょう。この段階で、よくわからないことば、たとえば「混浴」「ご来光」「囲炉裏」など、はじめて聞くことばがあると思いますが、教師が説明しないで、次の **2** 聞くための戦略に進んでください。

## **2** 聞くための戦略 (P99)

映像から語彙の意味を推測するという戦略の練習です。推測してみることが大切なので、答えがはずれても気にしないようにしましょう。

### (1) 単語の意味を推測する

まず、①-④の写真をよく見て、写っているものを確認します。①は人間と猿と一緒に温泉に入っている、②は太陽がのぼっている、③火の上になべをかけて料理をしている(?), 部屋の中らしい、④日本料理、魚、刺身、えび/ロブスター? というようなことがわかるといいでしょう。次に、①から順番に音声を入ります。意味を推測してほしいところが「ピー」という音になっているので、写真を見て、その意味を考えます。

「ピー」音になっているのは、**1** では①混浴、②ご来光、③囲炉裏、④海の幸となっていたところですが、ことばが聞き取れなかったり、未知語であったりしても、映像を見ながらナレーションを聞けば、意味が推測できるということを実感してもらうために、「ピー」音に置き換えています。

例)① 運がよければお猿さんと「ピー」できるかもしれません。

(お猿さんと、何をしているのかな? いっしょにお風呂に入るという意味?)

どんな推測をしたかをクラスでシェアすると、推測した意味がだいたい同じであることに気づくでしょう。意味は母語や共通語で考えてかまいません。

## (2) 単語を聞き取る

「ピー」音の部分を、元のレポーターのナレーションに戻したものを聞いて、その部分のことばを聞き取ります。

例) ① 運がよければお猿さんと混浴できるかもしれません。

未知語を正確に聞き取るのは難しいので、だいたい聞き取れたらクラスで答えを確認します。ここでは、①「混浴」ということばは「一緒にお風呂に入る」という意味だろうと推測できるということを確認してください。このあと、辞書などでチェックしてみます。このように、効果的な推測ができれば、文脈の中でことばが習得できるようになっていきます。ストラテジーは成功することもあれば失敗することもあり、推測が外れることもあります。ここでは、いろいろなストラテジーを知って、体験することが重要です。

## 3 聞いた内容について内容やコメントを言う (P99)

どこの温泉でどのように過ごしたいかなど、自由に話し合います。ここで取り上げた温泉はどれも実在するものなので、教室でインターネットのほかの写真を見たり、YouTube などで紹介を見たりする機会があると、より話が弾むでしょう。また、ここで紹介された 4 つの温泉以外にどんな温泉に行ったり、泊まったりしたいかを話してもいいでしょう。

## ■ 聞いたことをまとめる (P99)

温泉の説明に使われた動詞が選択肢になっています。前後のことばによって活用が変わるので注意します。まとめの文の内容は、1 (2) で聞き取った内容と同じ程度のもですが、(2)「秘湯」は知らない学習者がほとんどでしょうから、ここで確認してください。「秘密の」「秘」+「お湯」の「湯」であることがわかれば、「秘密のお湯?」「人にあまり知られていない特別な温泉」という意味であることが推測可能かもしれません。

レポーターが話した内容をすべて確認したいという学習者の場合には、巻末のスクリプト(P223)、スクリプトの翻訳や語彙表(まるごとサイトからダウンロード)を参照させるといいでしょう。

## PART2 会話する「日本の旅館ははじめてです」

**Can-do 17** 食事や部屋などについて、ホテルや旅館に、理由を言って変更してもらうことができる。

日本の旅館やホテルに泊まることを想定した場合の会話です。舞台は温泉旅館ですが、「温泉」に興味がない学習者が多い場合は、PART 1からの続きで飽きる可能性もありますので、温泉旅館であることは強調せず、一般的な宿泊施設での会話という位置づけで導入してください。

日本の旅館はたいてい食事付きなので、泊まる場合、食事制限などの理由でメニューを変えてもらう必要があることも考えられるでしょう。日本の場合、旅館がメールアドレスを公開していなかったり、予約専用であったり、メールを使っていなかったりする場合もあり、直接電話をかけなければならぬこともまだあるのが現状です。

### ● 会話するまえに (P100)

日本の温泉旅館の経験を話します。温泉でなくても、普通の旅館や民宿でもかまいません。ホテルや旅館に泊まったときに困ったことや特別なお願いをした経験が共有できれば、このPARTの準備になります。もし実際に日本の旅館に泊まったことがある人がいたら、そこでのそうした経験を簡単に話してもらおうとよいでしょう。こうした人があまり多くない場合は、テレビや本で見た日本の旅館について知っていることを挙げたり、泊まってみたいかどうかを話したりします。

この会話では、インド人のヨギさんが、妻と二人で日本の旅館に泊まるにあたって、旅館に事前にインドから電話をします。女将の黒岩さんと話して、食べ物と部屋(風呂)のことを交渉します。

### 1 会話の内容を理解する (P100)

スクリプトを見ないで聞きます。ヨギさんが電話で何を頼んだか、その結果どうだったかという大まかな話の内容が理解できればいいでしょう。①は、「どうして」の解釈によって、「食事や部屋のことを相談したかったから」という答えと、「メールの返事がなかったから」という答えが両方考えられますが、どちらも正解です。

### 2 ことばの形式に注目する (P100)

( )の中のことばを入れながら聞きます。このうち、( )の①②⑤⑦には謙譲語の表現が入り、③④⑥にはそれ以外の文法項目が入ります。謙譲語の部分は、(2)で誰が誰に言っているかを確認します。この会話での謙譲語は、主に旅館の人が客に対して使う表現、という位置づけで導入されていますが、客(ヨギさん)のほうも、「申します」「ただけませんか」など、定型表現や丁寧な依頼をする場合に謙譲語を使っています。③と⑥は、丁寧な依頼であることを確認します。

この会話には、謙譲語だけでなく、「いらっしゃる」「おっしゃる」などの尊敬語も出てきますので、これらの敬語表現を相手の動作に使うか、自分の動作に使うかを確認しながら、尊敬語を謙譲語との違いに注意を促してください

日本の旅館の夕食は、刺身、鍋、揚げ物など、一通りの品がそろった、かなり量のある豪華な場合が少なくありません。旅館の食事のイメージを伝えるために、教科書にある写真のほか、旅館のパンフレットや WEB からの写真を見せたりしてもいいでしょう。旅館の風呂について学習者の知識がまったくない場合、日本の旅館では大浴場があって宿泊者はそこに入りに行くこと、部屋ごとに温泉の風呂がある場合は少ない(高級旅館に限られる)ことなどを、簡単に説明してください。また国際交流基金制作の「エリンが挑戦！日本語できます」では 11 課に「見てみよう：温泉旅館」があり、草津温泉の旅館が紹介されています。時間がある場合はこの動画をクラスで見せれば、イメージが持てるでしょう(時間が取れない場合などは、「教室の外で」の活動にします)。

### 3 会話に役立つ文法・文型 (P101)

謙譲語の表現を中心に、新出項目がやや多くなっています。あまり時間をかけすぎず、場面に合った練習を心がけてください。

#### ① 謙譲語 1: 特別な形の動詞 (P101-102)

「申します」「いただきます」などの謙譲動詞を練習します。設定として、日本人のツアーガイドが客に対して謙譲語を使っていることを意識させてください。この練習は、選択肢を選ぶだけなら音声を聞かなくても行うことができますが、書いてあるものを見て考えるのではなく、まず音声を聞かせ、聞いた文の意味を考えさせてから、書いてあるものを見せて選択肢を選ばせる、という手順で進めるようにしてください。

ここでは学習者は客として聞く立場ですので、敬語表現を聞いて、もとの意味の動詞に結びつけることができれば大丈夫です。ただし、もし学習者が将来自国で日本人相手のツアーガイドをする可能性がある、などの場合には、謙譲語を自分で言う練習にアレンジしてもかまいません。

#### ② 謙譲語 2: お・ご～します/いたします (P102)

特別な謙譲動詞ではなく、一般の動詞に付けて規則的に謙譲語を作る表現です。ここでは学習者は「ホテルの人」になったつもりで謙譲語を言ってみます。実際に学習者が日本のホテルで働く可能性は少ないと思いますが、自分で作る練習をしてみることで、形式の定着を図ることが目的です。「お～」と「ご～」の使い分けについては、簡単に「漢字のことばが来るときは、ご～」程度の説明で十分です。また「お～します」と「お～いたします」は、後者のほうがより丁寧な言い方であることを説明します。

#### ③ V ていただけますか/いただけませんか (P102)

これらは学習者が日本の旅館に行ったときに使う可能性のある表現ですので、聞いて練習したあと、絵を見ながら自分でも言えるように練習します。「～ていただけますか」と「～ていただけませんか」の違いは、運用上は特にありませんが、後者のほうが丁寧で、相手に負担がかかる可能性があったり、可能かどうかがわからなかったりするような、より特別なお願いをするときに使う傾向がある

かもしれません。またこのときに、自分が日本のホテルに泊まった場合にほかにもお願いしそうなことを自由に考えて、この表現を使って言わせる練習をすることで、最後のロールプレイの準備とすることも可能です。

#### 4 ～になります (P103)

旅館や店などでお客さんに何かを説明する時に、「～です」ではぞんざいだが、「～でございます」では丁寧すぎるという意識から、「～です」を丁寧に言う表現として使われます。比較的新しい言い方なので、正しい言い方として認めないという立場の人もありますが、実際には非常に頻繁に耳にします。ここでは自分で使わなくてもいいので、聞いて理解する立場で練習します。

#### 4 話すためのストラテジー (P103)

いわゆる「フィラー」を集めてあります。会話中にことばが浮かばなかったり、考えながら話しているときなど、黙ってしまったりは、相手に不安を与えたり、発言権を奪われてしまったりします。これらのフィラーを使うことで、まだ自分が話している途中であることを相手に伝えることができます。

学習者によっては、「uh...」「em...」など、母語で使われるフィラーを日本語の会話で使い、不自然な印象を与えてしまう人もいます。母語のフィラーではなく、日本語のフィラーを使ってみる、という観点から、ここで練習してもいいでしょう。

#### 発音 発音の練習 (P103)

トピック 2 (P67) で名詞のアクセントの違いを練習しましたが、このトピック 3 では動詞のアクセントを取り上げます。はじめに(1)の動詞を聞くと、a ではことばの途中で下がり、b ではことばの途中で下がり目がなく高いまま発音されるという違いがわかると思います。ここで、動詞の場合、アクセントは2種類(起伏型と平板型/下がる動詞と下らない動詞)しかなく、どちらのグループに入るかだけを覚えておけばいいことを説明し、意識させます。

そのあとで、(2)で自分で発音してみる、(3)でその他の動詞についても意識してみる、(4)で(3)の動詞を文脈の中で発音してみて、アクセントの違いを意識する、という練習に発展させていきます。これらのほかに、自分が知っている動詞はどちらのグループか、あらためて考えさせてもいいでしょう。

ここでの練習は、動詞には2種類のアクセント型があることを意識させ、今後注意して聞くようにさせることが主な目的です。そのため、正しく発音できるまで、何回も発音させる必要はありません。

なお、平板型では「て形」のアクセントも平板型のままですが、起伏型では「て形」になると3型(後ろから3つ目の拍で下がる: ~●<sup>1</sup>●<sup>2</sup>て)になり、「食べ<sup>1</sup>る>食<sup>2</sup>べて」など下がり目が変わるものがありますので、注意してください。また動詞は「ます形」になるとアクセントの区別がなくなってしまうので、今後動詞を導入する際は、できるだけ辞書形を合わせて紹介するようにしてください。

**5** ロールプレイ (P104)

モデル会話では、ヨギさんは二つのお願いをしています。このうち料理のお願いは、**A**のパターン、部屋のお願いは **B**のパターンです。(1)ではそれぞれ、会話スクリプトから、お願いをしている部分はどこか、質問している部分はどこか、理由を話している部分はどこか、などを確認し、それぞれの部分で、たとえばお願いのときは「～していただけませんか」、理由を言うときは「～んですが」などの表現が使われていることに注目します。

(2)のロールプレイでは、最初の①では、本文と同様に、旅館で食事の交渉をします。実際には特に食べられないものがない人も、ここでは「役割」として何か食べられない人になったつもりで練習します。そのあと②で、そのほかのお願いをいろいろ考えて、より自由度の高いロールプレイをします。旅館の人役になった側は、すぐにお願いを聞いたり、一度断ったりと、自由に反応を返してください。

## PART3 長く話す「いちばん行きたいのは…」

**Can-do 18** どこへ行きたいか、そこで何をしたいかなど、旅行の希望や計画を、ある程度くわしく話すことができる。

「日本に行ったことがある？ 行くなら、どこに行きたい？」と日本人から聞かれたときや、行き先について相談したいときに、自分の旅行の希望を少しくわしく話せると、相手から「あ、そこはね…」のようにアドバイスがもらえたり、話が弾んだりするでしょう。

ここでは、旅行の計画を簡単に話すことはもうできることを前提とし、そこでしたいことなど、行きたい理由をある程度くわしく話せるようになることを目指します。

## ● 話すまえに (P105)

もし日本に行くとしたらという設定で、日本のどこに行きたいか、何をしたいかなどを簡単に話します。具体的な旅行計画を話すわけではないので、行き先は思いつくとこならどこでもいいですし、複数あってもかまいません。

## 1 モデル会話を聞く (P105)

写真やイラストと吹き出しのセリフから、アイニさんが日本旅行のパンフレットなどを見ながら、東京で行きたい場所について、友達の太田さんに話す場面であることを確認します。

教科書の写真は、上から東京スカイツリー、「アニメイト」(日本にある大手アニメショップのひとつ)、「大江戸温泉物語」(東京のお台場にある温泉テーマパーク。話すときは「大江戸温泉」と略されることが多い)です。ここでは、会話例を聞きながら、それぞれの場所でできることやアクティビティを、①-③の選択肢からチェックします。写真のレイアウトは①-③の順番になっていないので、どれがどれかを確認してから会話例を聞かせてください。

なお、会話例から気がつく学習者がいるかもしれませんが、聞き手役の太田さんの方は、実はあまり東京のことは知らないようです。日本人だから日本のことはなんでもよく知っているわけではありません。

## 2 表現の確認 (P105)

使われた表現を機能別に整理してあります。そのため、空所①-⑨は話に出てくる順ではないので、会話例を聞くまえに、必ず、例文に目を通して空所の箇所を確認させてください、

- ・希望や予定を話す:①「～たい」、②「～てみたい」、③「～なくちゃ／なきゃ」(「～なくてはならない／なければならぬ」の縮訳形)の3つです。
- ・読んだり聞いたりしたことを伝える:④「～に聞いたんですけど…」、⑤⑦「～そうだ」、⑥「～って言ってました」が使われています。この中で、「～そうだ」は人から聞いた場合だけでなく、ネットや本などから得た情報を伝える場合にも使える表現です。

ほかには、「～らしい」「～みたい」(単純な伝聞ではなく話し手の判断が入る一種の推量表現)も使えますが、この会話例では使われていません。

- ・順番に話す:「いちばん」「それから、その次に」「あと…」の 3 つを使って、ここでは順位をつけて話します。

### 3 モデル会話の確認とシャドーイング (P106)

したいこと(希望)とその理由をどのように言っているか、スクリプトを見ながら聞いて確認します。全体の内容を確認したあとで、したいこと(希望)を言っているところと、理由を伝えているところに、それぞれ異なる下線を引かせてみるとういでしょう。「したいこと(希望)」では**2**の「希望や予定を話す」表現が、「理由を伝える」とときには**2**の「読んだり聞いたりしたことを伝える」形式が使われていることを確認します。

なお、「キャラクターグッズもおもしろそうです」は、話し手が、パンフレットにあるアニメイトの写真を見て言っているという設定です。「おもしろいそうです」という伝聞表現ではない点に、注意してください。比較してみると、違いがわかりやすいでしょう。

#### ◆ シャドーイング

大江戸温泉に行きたい理由を述べているところをシャドーイングします。シャドーイングすることによって、友達などから聞いた情報を交えて希望を話すときの言い方を体験します。

### 4 再話する (P106)

自分が行きたいところについて話せるようになるための練習です。ここでの例は、「大江戸温泉物語」「アニメイト」「東京スカイツリー」の 3 箇所です。3 つの場所の情報が、行きたい順に 3 枚のメモにまとめてあります。いちばん行きたいところの情報がいちばん多いことに注意します。話すまえに、写真を見ながらメモの内容を確認してください。写真は次のとおりです。

- ① 大江戸温泉物語の露天風呂(左)、館内で浴衣を着て遊ぶ様子(右)
- ② アニメイトの店内
- ③ スカイツリーの展望台からの眺め(左)、ライトアップされたスカイツリー(右)

練習では、はじめに①-③のそれぞれの場所について個々に話してみたら、そのあとで続けて話すようにすると、スムーズにできるでしょう。そのとき、「いちばん行きたいのは、それから、あと」という接続の表現を加えることに注意します。

振り返りでは、**2**「読んだり聞いたりしたことを伝える」言い方が伝えたかどうか注意させてください。

**5** 自分のことを話す (P107)

## (1) 話したい内容を整理する

旅行の行き先をどこか一つ選んで、どうしてそこに行きたいかが聞き手によくわかるように話します。国や地域によっては日本旅行が現実的ではない場合もあるでしょうから、行き先は日本でなくてもかまいません。行きたい理由がくわしく話せるように、学習者自身が行きたいと思っている場所、情報を持っているところを選ばせるといいでしょう。その場所の情報については、ガイドブックやネットで調べさせてもいいです。

## (2) 話す

旅行について友達に聞かれたという設定で、自由に話します。ここでのポイントは、行きたいところを列挙するだけでなく、そこで何をしたいのか、なぜそこに行きたいかということをはなせるようになることです、また「いちばん、次に、あと」などの表現を使って順位づけができることもポイントです。これらは、教科書「学習記録シート」(P256)の Can-do のチェックポイントになっています。

## PART4 読んでわかる「とても満足しました」

**Can-do 19** インターネットの旅行サイトに書かれたホテルや旅館の口コミを読んで、良い点や悪い点が理解できる。

素材として、インターネット上の旅行サイトに書かれた旅館の口コミを取り上げであります。ホテルを決める際、口コミ情報を参考にするという人は多いでしょう。サイトによっては翻訳機能がついているものもありますが、日本に旅行に行く場合、日本語で書かれた日本人の口コミが読めれば、情報量が増えると思われれます。

そこで、ここでは、旅館の口コミを読んで、旅館の良い点、悪い点が理解できるようになることを目指します。

● 読むまえに (P108)

国内、海外に限らず、自分がホテルや旅館を選ぶとき、どんな点に注意するかを考えます。学習者から出てきたいろいろなポイントを、ホワイトボードや黒板などに書き出してクラス全員で共有するといいいでしょう。最後に、その中から大事だと思うポイントを、一人一人の学習者が3つずつ選びます。

1 内容を理解する (P108-109)

(1) 1回目の読み: 目的をもって全体を読む

「読むまえに」で自分が選んだ3つのポイントについての情報を探しながら、アキコさんと、T.H.さんの口コミを読みます。旅館の口コミサイトを読む場合、旅館を選ぶときに大事だと思っている点を中心に読むことが多いからです。選んだポイントは学習者によって異なりますから、それぞれが違ったポイントで読むことになります。

ここでは、関係のない情報は読み飛ばしで読むこともひとつのテクニックです。自分が知りたいと思っている情報が書いてあるかどうか、書いてあった場合どのようなことが書いてあったかが、だいたい理解できればいいでしょう。読んだあとで、ペアやグループで、情報を交換します。

(2) 2回目の読み: 6つの観点についての評価を読み取る

日本の温泉旅館についての口コミで、よく書かれている観点として、①交通の便、②部屋、③風呂、④料理、⑤従業員の対応、⑥値段、があります。この6つの観点について情報を読み取ることがねらいです。なお、「④料理」があるのは、日本では多くの旅館が夕食付きだからです。また、温泉旅館なので、「③風呂」も条件になっています。なお、「②部屋」については、このようなサイトを読むときに必要な条件なので、加えてありますが、二人の口コミでは何も触れられていません。

まず、アキコさん、T.H.さんが、①-⑥の観点について、それぞれ「プラス評価」か「マイナス評価」か、もしくは「何も書いていない」かだけを、すばやく読み取ります。このときは、それぞれの説明について詳細に理解できなくてもかまいません。2 読むための戦略を参考にして、プラスか

マイナスかを考えるようにするといいいでしょう。辞書を使わずにできれば、Can-do は達成できたと考えられます。

次に、◆では、それぞれの観点についてどう書いてあるか、該当する箇所に印をつけ、わかったことをペアやクラスでシェアします。これは、発展的なタスクになりますので、わからないことばやどうしても知りたい情報については、辞書を引いたり、語彙表(ダウンロード可)を見たりしてもかまいません。

## 2 読むためのストラテジー (P109)

書いた人の気持ちを理解するために、文章中の評価のことばに注目するストラテジーを取り上げます。

### (1) お客様のコメントに注目する

アキコさんと T.H.さんの文章の中から、評価に関係することばが取り出してありますから、まず、そのことばをプラス評価か、マイナ評価かに分けます。T.H.さんの「イマイチ」「ちょっと気になりました」「これはちょっと」といった表現は、どれも日本語ではマイナスのイメージを持っています。誘われたときに、「今日は、ちょっと…」と答えると、それが断りの表現だということを思い出せば、推測しやすいかもかもしれません。「イマイチ」は、「今、一つ(ひとつ)」の言い換えで、期待している結果や状況に対して少し不足していて物足りないと思っている気持ちを表します。

次に、◆では、全体的に二人のことばを比較してみます。アキコさんは、「あまり良くない」以外はプラス評価のことばなので、全体的に「良かった」という印象を持ったことがわかります。それに対して、T.H.さんは、「よかった」ということば以外はマイナス評価のことばなので、全体的に「良くなかった」という気持ちを表していることがわかるでしょう。

### (2) 旅館側のコメントに注目する

旅館の口コミサイトでは、お客様が書いたコメントに対し、旅館側が返信としてお礼のコメントや説明を書き込むことがよくあります。ここでは、そこにどのようなことが書かれているかに注目します。そして、お客様の肯定的なコメントに対しては、旅館側がお礼を、お客様の否定的なコメントに対しては、旅館側が謝罪や理由の説明を記入するということを確認します。B1 レベルでは、旅館側の回答の細かい点まで理解する必要はなく、丁寧なことばを使って、気持ちを伝えようとしている点に気づくことが、このタスクのねらいです。

このサイトでは、108 ページの右側が、旅館(草津温泉三修館)のコメントですが、コメント部分にはモザイクがかけられており、読まなくてもいい設定になっています。この(2)で、その続きの部分に当たる①と②を読み、どちらが、アキコさんに対する回答で、どちらが T. H. さんへの回答かを考えます。ここでは、①②のコメントの内容を詳細に読むのではなく、どちらがうれしい気持ちを表したことばを多く使っているか、どちらが謝罪のことばをたくさん使っているかを考えて判断させてください。内容については、教師が簡単に説明するだけで、この段階では表現形式についての詳細な説明は必要ありません。(表現形式については、4 読むのに役立つ文法・句型で取り上げます。)

### 3 読んだあとで (P109)

アキコさんとT.H.さんの経験を自分自身の経験と照らし合わせて考えます。ここでの「経験」とは、口コミにある「露天風呂に入った」とか「天ぷらを食べた」とかではなく、旅館やホテル(自国でもよい)などに泊まった時の良い経験や、不快な経験を指しています。「どのようなことがあったか」という事実だけでなく、そのとき、自分がどう感じたかということが話せるといいでしょう。

同じ体験であっても、人によりその事実の受け止め方は異なります。従業員の丁寧な態度を快く感じる場合もあれば、必要以上に馬鹿丁寧だと感じる場合もあるかもしれません。人による感じ方の違いに気づくことも、人と人のスムーズなコミュニケーションにつながっていくと考えられます。

### 文化 文化について考える (P109)

このサイトではT.H.さんの書き込み(マイナスの評価)に対して、旅館側は「心よりおわび申し上げます」と丁寧に謝っています。日本の場合、客のクレームにはまず謝るという態度が一般的です。

このような場合、自分の国ではどのように対応することが多いか、それはどのような考え方からか、日本と自分の国のサービスに対する考え方の違いについてクラスで話し合ってみるとおもしろいでしょう。たとえば、客のクレームに対して反論することもあるでしょうか。具体例を思いながら、話し合ってみてください。話し合いは母語や共通語で行ってもかまいません。

### 4 読むのに役立つ文法・文型 (P110)

②③④は、口コミサイトの旅館からのコメントで使われている丁寧な表現の例です。ここでは理解するという点を重視してすすめてください。

#### ① ~にもかかわらず (P110)

あることを期待していたが、実際には違っていたということを表すときに使います。少し固い表現で、どちらかというと、書きことばに多く使われます。

たとえば、「事前に電話でお願いしたにもかかわらず、迎えの車は来ませんでした。」という表現は、「事前に電話でお願いしました。しかし、迎えの車は来ませんでした。」よりも、期待を裏切られて残念な気持ちがよく伝わります。教科書の例はどれも悪いことが起こった例ですが、「夜遅く旅館に到着したにもかかわらず、旅館の人は食事を用意してくれました。」のように、わるいことを予想していたのに、いいことが起こったという場合にも使われます。

いずれの場合も、単に事実を描写するのではなく、起こったことについての話者の気持ちが強く表現されていることがポイントです。B1 レベルでは、こうしたニュアンスの違いが少しずつ理解できるようになるといいでしょう。

#### ② お・ご~いただく (P110)

「V てもらう」の丁寧な言い方です。旅館やホテル、銀行など、サービス業で、お客さんに対してよく使われます。例文の「三修館をお選びいただき、まことにありがとうございます」で下線の部分の

動作主がお客さんであることを確認してください。「お・ご」の使い分けは、教科書例文の「お選びいただき、お過ごしいただき」「ご利用いただき、ご来館いただき」からわかるように、主に、和語には「お」が、漢語(漢字の熟語)には「ご」が使われます。

### ③ お・ご～ (P110)

「お客様」「ご不快」などのように、名詞に「お」や「ご」をつける丁寧な形です。ここでは、旅館やホテル、銀行などのサービス業で、お客さんに対して使われる言い方を取り上げています。「お・ご」の使い分けは、②に書いたとおりです。

タスクは、知っていることばをクラスで出させるだけですが、自由に言わせるといろいろな例が出てくると思われます。「お客様、お仕事、お名前、お国、ご家族、ご宿泊…」などは、相手に敬意を示すためのものですが、「お茶、お肉…」などモノにつける場合は、相手への敬意というよりは、単なる丁寧な言い方(美化語)になります。「お・ご」をつけるかつかないかには、個人差もあります。用法の分類が目的ではないので、深入りする必要はありません。

なお、タスクにはなっていませんが、この教材の旅館のコメント①②で使われている例を確認することもできます。①お客様 ご宿泊 ご不快 ご意見 ご来館、②おほめのことば お客さま お越しとすべてお客さんの行為に関係する名詞につけられています。それに対して、①おかけしました、お待ちしております、②お過ごしいただき、ご満足いただけた、という動詞の表現に気づく学習者もいるかもしれません。「①おかけしました、お待ちしております」は、PART 2(P102)の「会話に役立つ文法・文型」の謙譲語の例です。「②お過ごしいただき、ご満足いただけた」は、「② お・ご～いただく」で取り上げました。

### ④ ～ております／～てございます (P110)

「～ております」は「～ています」、「～てございます」は「～です」の丁寧な言い方です。②③と同様、旅館やホテル、銀行などのサービス業でお客さんに対してよく使われます。

「～ております」は謙譲語、「～てございます」は丁寧語ですが、ここでは、その違いについての説明は必要ありません。この段階では、サービス業で、客に対してよく使われる表現であることが理解できればよく、敬語の詳細な分類(尊敬語、謙譲語、丁寧語、丁寧語、美化語)はかえって混乱するので、しない方がいいでしょう。

「中級 1」「中級 2」ではいろいろな素材を通してこうした表現にたくさん出会いますが、その中で使い方を少しずつ理解・整理し、やがて自分でも使えるようになればいいと考えます。

### 漢字のことば 漢字の整理 (P110)

ロコミサイトの中に出てきた漢字が取り上げられています。これらのことばが本文のどこで出てきたかを確認し、読み方、意味を確かめたあと、キーボードやスマホで入力するなどの、練習をしましょう。

## ◆ 漢字を手がかりにことばを増やしたり整理したりする

ここでは、「部首」に注目して漢字を整理します。「温泉」、「お湯」、「泊まる」は左の部分が共通しています。「氵」はサンズイと呼ばれる部首で、水を表します。ほかにも「海」「池」「波」「泳ぐ」「泣く」「洗う」「流れる」などの例では、意味的に水と関係があることがわかりやすいでしょう。「泊」は、もとは船がとまる場所という意味です。また、漢字の「漢」はもともと「水の流れていない川」という意味でした。

## PART5 書く「食事についての問い合わせ」

**Can-do 20** 宿泊予定のホテルや旅館に、メールで質問したり、希望を伝えたりすることができる。

ここでは、宿泊予定の日本の旅館やホテルに問い合わせのメールを書くという場面を設定しました。不安に思うこと、確認したいことなどを質問し、希望を伝えることができるようになることを目指します。

### 1 書く (P111)

#### (1) 書くための準備

問い合わせのメールの例を見ます。誰に対して何を頼んでいるのかを理解した上で、何をどのような順番で、どのように書けばいいかを確認します。旅館あてに書く場合の書き出し、用件の切り出し方、終わりの挨拶など、メールの形式についても気をつけましょう。

なお、この例は、メールの構成をわかりやすく示すためにB1レベルよりは簡単にしてありますので、(2)で書くときのモデルとしてはやさしめである点に注意してください。

#### (2) メールを書く

日本の旅館やホテルに質問したり、頼んだりしたいことを考えて、メールを書きます。教科書に挙がっている項目の中から一つ選んでもいいですし、自分で考えてもかまいません。「もし自分が日本の旅館に泊まるとしたら」という状況をリアルに想像しながら、できるだけ本当に書く必要がありそうなことを考えて書けると、より有益な活動になるでしょう。その際、なぜ質問したり依頼したりするのかという理由が旅館にわかるような説明を書かせるようにしてください。

何をどの順番で書くかという構成は(1)の例を参考にしますが、内容は(1)よりもう少しくわしく書けると理想的です。また、初めて行く旅館やホテルに質問したり何かを頼んだりするのですから、少し丁寧な表現を使って書けるといいでしょう。

### 2 書いたあとで (P111)

クラスでほかの人が書いたメールをお互いに読み合います。読んだあと、ホテルの人になったつもりで、どう対応すればいいか、考えたことを話します。これは、書かれたものを読み手の立場で読んでみることで、一連のコミュニケーション活動の中に「書く」活動を位置づけるのが目的です。

あるいは、自国のホテルで、日本語ができるスタッフとして、観光客から来た日本語のメールに対して返事を書く、というシチュエーションに発展させてもいいかもしれません。

## 教室の外へ

### わたしだけのフリース (P112)

旅館やホテルなどに対して自分の希望を伝えたり、交渉したりする場合には、アレルギー、宗教上の理由、習慣の違いの問題、単なる好みなどを含め、自分だけに直接関連する個別的な表現が必要になることがあると思います。「もし自分が日本に旅行するとしたら…ホテルでは…レストランでは…観光地では…」のように、頭の中に具体的な状況をシミュレーションしながら考えると、その際に自分が言いたくなる表現にいろいろ気がつくかもしれません。

### 教室の外の活動のアイデア

#### ①

PART 1 (P98-99) で取り上げた 4 つの温泉を動画で見てみることで、より具体的なイメージをつかみます。また聴解として聞いたときのイメージと、実際に映像を見たときのイメージが同じだったか違っていたか(違っていた場合にはどう違っていたか)、比較してみるのもいいでしょう。授業時間内に教室で見せられるときは、そうしてもかまいません。

#### ②

日本の温泉について、WEB を使ったり、日本人に聞いたりして、さらに知識を深めるタスクです。WEB 版「エリンが挑戦にほんごできます」の 11 課は「温泉」を扱った課で、「見てみよう」のコーナーには温泉旅館の映像や写真による解説などもあります。「文化クイズ」は「温泉クイズ」ですので、何回か挑戦してみることで、温泉に関するトリビア的な知識を増やすことができます(クイズは複数の言語に翻訳されています)。

日本人の知り合いにインタビューすれば、テキスト以外に、別の日本人の温泉観に触れることができます。温泉の違った楽しみ方を聞いたり、異なる価値判断などを知ったり、またテキストに載っていなかった別の温泉についての話を聞いたりすれば、温泉についての話題をさらに広げることが可能でしょう。

#### ③

温泉を離れ、もう少し幅広く「日本旅行のおすすめスポット」を調べてみるタスクです。サイトを調べて行きたいところを考えたあと、それらの情報についてクラスの人と交換し合ったり、日本人や知り合いからおすすめスポットを聞いたりしながら、具体的な「日本旅行」のイメージを持つことで、日本語学習の動機付けとします。

なお、日本ではなく、自国の観光地や旅行のスポットについて調べるタスクは、「中級 2」トピック 2 の「教室の外へ」④(中級 2:P76)で扱います。

## 4

日本ほどではありませんが、世界各国にも温泉があり、インターネットなどで調べることができます。日本と比べると、旅行というよりは療養が主な目的の場合が多いようですが、温泉自体や、温泉に対する人々の意識、温泉との関わり方などについて、共通点や相違点を考えてみます。もし自国で今いる街の近くに温泉がある場合は、これらの温泉に行ってみて、感想などを共有することもできるかもしれませんし、国によっては海外にも日本風の施設のある温泉もありますので、そうした場合は日本旅行に近い体験を試してみることも可能かもしれません。

このトピックの「教室の外へ」では、国による事情の違いを考慮して、あえて「日本に行って、温泉旅館に泊ってみましょう」のような案は入れていません。しかし、実際にその可能性がある場合であれば、たとえばもともと日本旅行の計画がある学習者が、温泉宿泊をスケジュールに入れてみたり、そうした旅行の体験をしたあとで、それをクラスでシェアしたりすることも、貴重で有益な体験になるでしょう。

## トピック5 最近どう？

キャンパスや職場、イベント会場などで久しぶりに会った友達との立ち話、スカイプ、メールや手紙でのやりとりなどで、自分の近況についてある程度自信を持って話ができるようになると、友達の輪が広がっていくでしょう。ここでは、そのようなコミュニケーションができるようになることを目指します。

### ◎ 扉／準備

#### ● トピックについての質問 (P113)

メール、Facebook や Twitter などの SNS、スカイプ、LINE など、いろいろなコミュニケーションの手段がありますが、友達や家族などと連絡をするとき、どれをどのように使っているか話し合います。また、扉の写真(一番上)は、懇親会などの少しあらたまった場で、久しぶりに知人と再会した場面です。こんなとき、自分ならどんなことを話すのか考えてみます。同窓会やパーティーなどで、身近な例について考えてみるといいでしょう。

#### 1 写真やレアリアを見る (P114)

身近な出来事や自分の近況を伝える SNS の投稿を取り上げます。SNS 上でのいろいろな話題に気づくことが目的です。写真から、だいたい見当がつくと思います。タスクは、選択肢から話題を選ぶことですが、見方によって解答が異なる場合もあるので、解答例にこだわる必要はありません。

投稿内容は簡単な日本語で書かれているので、一緒に読んでみるといいでしょう。⑥の「ガビーン」はショックなことがあったときに使うオノマトペです。「スマホ水没」はスマホが水に浸かってしまったときに SNS 上でよく使われる表現です。⑧の「カレシ」はボーイフレンドのことを指しています。⑧「～デス」は、ネット上で書き込みなどに使われますが、特に意味はないので、気にしなくてもかまいません。

#### 文化 文化について考える (P114)

SNS に投稿する内容や写真には、国や文化による違いはあるのでしょうか。それとも、個人による違いでしょうか。これまでの経験や 1 で気づいたことなどについて、自由に話し合います。たとえば、日本では食べ物の写真が多いとか、自分の顔がはっきり写っている写真をあまり載せないなどの傾向があるようです。具体的に気づいたことを自由に話せばいいです。

## 2 語彙や表現の確認 (P115)

最近の出来事を話すときのいろいろな話題を取り上げています。

- ・「～ものです」は、ある出来事を感情を込めて言うときに使われる表現で、「孫が生まれました。孫って本当にかわいいものです。」のように使います。「～ものです」にはほかにも用法がありますが、説明する場合は、ここでの用法にとどめましょう。なお、特に質問がない場合は、くわしい説明は必要ありません。
- ・「ずっと長生きしてもらいたいです」の「～してもらいたいです」は希望・願望を表しています。

### ◆ ペアになることばをさがしましょう

[就職－退職]、[入学－卒業]、[結婚－離婚]、[入院－退院]の4つです。

いずれも漢字二字のことばですが、たとえば「就／退」のように、前に来る漢字が変わることによって意味が変わることに注目させます。語彙を増やす方法のひとつとして、反意語に注目する方法があるので、このような活動を取り入れてあります。なお、人生の節目となるイベントに関する表現は、「初中級」トピック6でも触れましたが、ここでも整理しておくといいいでしょう。

### ◆ 赤字のことばに注目しましょう

時を表す表現に注目して「過去／未来」で整理します。

- (A)「過去のこと」を言うときに使う: 昨日、この前、先月、この間、(最近、先週、去年…)
- (B)「未来」のことを言うときに使う: もうすぐ、次回、(いつか、来年…)

( ) の中のように、ほかにどんなものを知っているかクラスで考えてみるもいいでしょう。

## 3 その他の活動 (P115)

SNS 上などでの書き込みに対するコメントのうち、よく使われる表現を a-e の選択肢にしてあります。コメントなどで自分の気持ちを簡単に伝えることができるようになることがねらいです。はじめに、選択肢の「お大事に」「うらやましい」「元気出してね」「笑える」「頭に来る」が、どんなときに使われる表現かを確認します。次に、SNS の投稿例①－⑤をクラスで読み、どんな様子を伝えているのかがよくわかってから、最後に、どうコメントするかを a-e を選びます。

④「ネコのクロが星になりました」の「星になる」は死んだことを意味しています。「庭で眠っています」は、土の中に埋められていることを意味します。

⑤「私はライオン」は、「ライオン」と書くつもりだったのに、「ン」と「ソ」を間違えているという笑い話です。

d. 「笑える。お腹いたい！」の「お腹がいたい」は、笑いすぎて腹筋が痛くなることを意味していません。

## PART1 聞いてわかる「ねえ、聞いて聞いて」

**Can-do 21** 最近のできごとについての知り合いの話聞いて、どんなことがあったかが、だいたい理解できる。

友達や知人との立ち話など、ちょっとした雑談で、相手の近況について話を聞くことがよくあると思います。相手の話に興味を持ち、話の流れについていくような聞き方ができると、人のおしゃべりを聞くことが楽しくなるでしょう。そこで、ここでは、人の体験談をより積極的に聞けるようになることを目指します。

## 場面・設定の確認

このトピックでは、一人の人(聞き手)が、4つの場面で、それぞれ知り合いの日本人と話している場面を取り上げています。イラストを見ながら、①公園で友達と、②職場で同僚と、③職場の休み時間などに同僚と、④スーパーで知り合いの主婦と、話していることを確認します。別の場面なので、洋服が違っており、聞き手の女性が同一人物であることがわかりにくいかもしれませんが、この女性の立場になって、相手の話を聞くということを確認します。

## ● 聞くまえに (P116)

体験談を話すときは、話し手が、まず、何について話すのかというトピックを示す場合が多いでしょう。聞き手は、それを聞いて「えっ、どんなことが起こったのかな？」と興味を持つと同時に、頭の中で話の内容をある程度予想しながら聞きます。そこで、相手の話を予想しながら聞くことができるように、聞くまえに、話の内容を予測する活動を行います。

まず、4つのイラストを見ながら、どこで、どんな相手と話しているのかを確認したあと、吹き出しのセリフを読みます。セリフは、4人の話の最初の部分で、これから何について話すのかがわかります。次に、これに続く話の内容として予測したことをメモしておきます。メモは母語でもかまいません。予測の内容は自由です。これまでの経験を思い出して「多分、こんなことが起こるんじゃないか？」と考えればいいです。アイデアがなかなか出ないときは、ペアやグループ相談させてもいいでしょう。

## 1 内容を段階的に理解する (P116)

(1) 1回目の聞き:話の概要を理解する

①-③の話を聞き、予測が当たっていたかどうか確かめます。④はあとで聞きます。

相手の話の続きを聞いているとき、「やっぱり、思ったとおりだった」とか「意外だなあ、そういう展開だったのか」と思うことがあると思います。これは、自分の頭の中で予測したことと相手の話を照らし合わせ、合っていたことを確認し、間違っていたことを修正しながら理解をすすめているからです。こういう聞き方を模倣するために、ここでは「聞くまえに」での予測が当たっていたかどうか、どこが違っていたかを確かめます。練習では、「聞くまえに」の自分のメモのところに○か×をつけ、×の場合は修正された情報をメモします。また、自分が予測しなかったことで、新しく気づいたことがあれば、メモしておきます。

(2) 2回目の聞き: やや詳細な点に注目する

①-③の話で、注目させたいポイントがイラストになっています。イラストがどんなことを表しているのかを確認してから聞かせます。ここでも、④の話は、聞きません。

◆では、選んだイラストを見ながら、3人がどんな体験をしたのか、わかったことをほかの人とシェアします。イラストだけでなく、(1)で記入したメモも見ながら話し合うようにするといいでしょう。理解が異なっている点やわからない点があれば、クラス全体でシェアして、みんなでその点に注目しながら、もう一度、内容を確認するために音声を聞くといいでしょう。その場合も、わからないことばの意味を逐一解釈するような聞き方ではなく、出来事の内容(どんなことがあったのかという事実)に注目するような聞き方ができるように、教師が適宜、内容確認の質問をするといいでしょう。もちろん、それでもどうしてもわからない点が残る場合は、教師がヒントとなることばの意味を教えたり、解説したりしてもかまいません。

## 2 聞くためのストラテジー (P117)

話の展開を予測するのは、話の最初だけではありません。相手の話を聞きながら、次にどんなことが起こるのか話の途中でも予測できるようになると、さらに積極的な聞き方ができるようになります。そのために、ここでは、「ただ」「それに」「でも」のような話の展開を示す接続表現に注目して、続きを予測する練習をします。

(1) 接続表現の機能に注目する

「①横田さん」の話をもう一度聞きます。まず、接続表現の「ただね」まで聞き、続きを思い出したあと、ほかにもどんな可能性があるかを考えます。すでに聞いた内容なので答えはわかっているのですが、「ただね…」のあとには例外的な事柄、前とは違った観点の話が続くということに気づくことがポイントです。予測したら話の続きを聞いてチェックします。「②伊藤さん」についても同じようにやってみます。接続表現は「今度も…」ですから、同じようなことが起こったことに気づくことがポイントになります。

(2) 話の続きを考える

「③竹内さん」の話をもう一度聞きますが、この話には実は続きがあります。(1)で練習したことを利用して、続きを実際に予測できるかどうかを試してみます。「それに…」のあとに続く話なので、同じようなことが重ねて起こるのだろうということがわかれば、予測ができるでしょう。ほかの人と相談させてもいいでしょう。予測できたら、実際の続きの会話を聞いてみますが、答えは、予測した内容と同じでなくてもかまいません。話し手にとって残念なことが重ねて起こったということが確認できることが大切です。

## (3) 話を予測しながら聞く

実際に、話の流れにそって、予測しながら聞く練習です。これまでの練習の総合練習になります。ここでは、まだ一度も聞いていない「④中川さん」の話を使います。中川さんの話は、教科書の吹きだしの接続表現(3箇所)のところまで分け、音声を4分割して編集してあります。

中川さんの話をはじめから順番に聞き、それぞれの接続表現のあとで止め、続きの話を予測させてから続きを聞かせて確かめさせます。予測は一人一人でもやってもいいですし、どんな予測をしたかクラスで出し合ってから、続きを聞かせてもいいでしょう。予測の内容をシェアさせる場合は、少し時間が必要なので、教師は、適宜時間をとってください。

これは、ストラテジーの練習のためですので、終わったあとで、一度、続けて音声を聞かせて、中川さんの話全体の内容を確認してください。

なお、中川さんの話で「バツイチ」ということばが使われています。バツイチは、離婚歴が1回あるという意味ですが、必ずしも否定的な意味はありません。なお、バツは×から来ています。

**3** 聞いたあとで (P117)

自分の体験について話し合います。ただし、日本語で話す練習は PART 3(P125)で行いますので、ここでは、同じようなことがあったことなどを思い出す程度でかまいません。また、自分の体験ではなく、人から聞いた話で似た話があれば、それについて話すのもいいでしょう。

なお、話の内容は、ペットについての小話、スリやひったくりにあった話、何かの事務手続きで何回も書類を出しに行った話、誰かの家族の話など、自由に広げてかまいません。

**■** 聞いたことをまとめる (P117)

文と文の関係を示す接続表現や、時に関係のある表現が選択肢になっています。意味を確認しながら選ばせてください。

## PART2 会話する「最近、仕事が忙しくて…」

**Can-do 22** 友人とお互いの最近の様子について聞いたり話したりできる。また、共通の話題について話すことができる。

最近の様子について情報交換したり、共通の話題について話したりする、交流会話です。特に達成すべきタスクなどはありませんが、こうしたおしゃべりができるようになることも、日本語を話すうえでの目標になるでしょう。

## ● 会話するまえに (P118)

会話を聞くまえに、まず自分自身の経験について考えます。スカイプのようにネットでなくても、電話などの経験でもかまいませんので、「外国の人と、誰とどんな話をするか」を自由に話してください。スカイプや Facetime、LINE などのようなインターネット通話ツールは現在一般的になっていますが、あまり知られていない、使われていない国では、これに関する簡単な説明(インターネットを使ってテレビ電話のように話せるシステムであること)をはじめにしてもいいでしょう。

会話の設定は、日本で知り合ったモンゴル人(ツェツェグさん)とインドネシア人(フランキーさん)の二人が、ネット通話ツールを使って日本語で会話する場面です。日本人の入らない会話はこのトピックではじめて出てきますが、日本語を共通語として外国人同士が話す場面があることを確認するといいいでしょう。

## 1 会話の内容を理解する (P118)

スクリプトを見ないで二人の会話を聞きます。①②の質問を中心に、登場人物(ツェツェグさんとフランキーさん)の近況をおおまかに理解させてください。また問いにはありませんが、二人の共通の知り合い(ユパカーさん)の話も話題に出ますので、これもできればわかるといいいでしょう。

## 2 ことばの形式に注目する (P118)

スクリプトを見ながら聞きます。PART 2「会話する」では、この教科書ではじめて、友人同士の普通体の会話が出てきます。(1)では、はじめにお互いが普通体で話していることに気づかせ、友人同士では普通体を使うことを確認します。普通体の表現に慣れていない学習者の場合、省略表現や終助詞など、こうした表現がいちいち気になるかもしれません。しかしこの段階では、だいたいの会話の内容を理解することを優先させてください。それぞれの表現をここで細かく説明する必要はありません。

(2)では( )が①-⑥まであります。いずれもことばの後ろについて意味を添える表現ですので、( )のことばが付いたときと付かないときでどう違うか、( )はどんな意味を添えているか、前後関係や文脈を考えながら、予想させます。

### 3 会話に役立つ文法・文型 (P119)

#### ① ～らしい (P119-120)

共通の友達のことについて話すシチュエーションで練習します。噂など、ほかの人から聞いた、本当かどうかは確信が持てない話を人に伝える、というときに使われますので、そのような場面を想像しながら練習してください。

#### ② ～って (P120)

「～らしい」とは違って、聞いた話を直接「引用」として他の人に伝える表現です。そのため、まず(1)でその情報の元となる話を音声で聞き、そのあと(2)でそれを他の人に伝える、という文脈で練習します。「～って」を使って教え合うようなインフォーマルな関係(友人や家族など)を意識しながら練習するとよいでしょう。

#### ③ V ことになる/V ことにする (P120)

最初は(1)で、音声を聞いて絵を選びます。6問と数がやや多くなっていますが、似たようなシチュエーションの絵のペアが3種類あるためです。そのあと(2)で音声をもう一度聞いて、「ことになる」か「ことにする」のどちらを使っていたかを確認めます。自分の意思とは関係なく決まったことは「ことになる」、自分で決めた予定は「ことにする」を使います。現実には自分で決めたことも「ことになる」を使うなど、必ずしもこの通りの使い分けにならない場合もありますが、ここではその程度の説明で十分です。

最後に◆として、絵を見ながら自分のことばで言う練習をしますが、「彼氏と別れることにしました」「結婚式はしないで簡単な食事だけすることにしました」など、聞いた会話と違う言い方で言ってもかまいません。シチュエーションに合っていれば、普通体と丁寧体のどちらを使って言ってもかまいません。またここでは「別れることにしました」「別れることになりました」のようにどちらも可能ですので、この二つの選択が違っていても直す必要はありません。ただその場合、両者の表現の意味の違いを考えさせるといいでしょう。

#### ④ ～だっけ (P121)

「～って」と同様、これも、友人同士の会話で使う表現です。同じ確認の表現でも「いつだっけ?」「いつだったっけ?」など、時制を変えて言うことができ、ニュアンスも微妙に違いますが、ここでは単純に「～だっけ?」で、知っているはずのこと(思い出せないこと)を確認める、という扱いにとどめます。

なお、この練習の②③には「今年の試験って…」「モンゴルの首都って…」のように、「～って」が出てきますが、これは主題化の「N って…」です。②で練習した、文末に来る引用の「～って。」とは意味が違うことに注意してください。ここでは「～は…」のインフォーマルな会話での言い方、という程度に説明すればよいでしょう。なお、この主題化の「N って…」については、「中級 2」トピック 1(中級 1:P47)で扱います。

#### 4 話すためのストラテジー (P121)

知らないことばや思い出せないことばがあっても話を続けるためのストラテジーのひとつとして、ここでは、知らないことばを知っている簡単なことばで置き換えて言うストラテジーを練習します。ニュアンスがずれたり、やや稚拙な感じになったりしたとしても、意味を伝え、会話を続けることが大切です。わからないことばでも、知っていることばを使ってなんとか表現できるように、ほかのことばでも練習してみましょう。

#### 発音 発音の練習 (P121)

このトピックでは、拍とリズムを練習します。日本語では、2 拍ごとのまとまりがリズムのもとになっています。これを「2 拍フット」と呼びます。この 2 拍のまとまり(タン)を作る際、長音、撥音、促音を含む「長音節」は優先的に2拍にまとめられるので、あまった拍が半分のリズム(タ)になり、日本語のリズムはこの「タン」と「タ」の組み合わせで作られます。たとえば「あったんでしょ」ははじめに「あっ」「たん」「しょう」が優先的に2拍の「タン」にまとめられるので、「で」が半分の「タ」になり、「タンタンタタン」というリズムになります。(くわしい説明は、国際交流基金日本語教授法シリーズ「音声を教える」などを参照)。

ここでは、理屈はともかく、とりあえず音に合わせて手を叩きながら「タン」と「タ」に気をつけて発音すれば、長音や促音が苦手な学習者も、だいたい自然なリズムで発音できます。リズムは身につけやすいので、もしはじめてこの練習をする学習者が最初は上手にできなくても、何回かくり返せばだんだんできるようになります。

#### 5 ロールプレイ (P122)

はじめに(1)で、二人の会話を見て、どんなことについて話しているか、内容の構成を考えます。まず、会話の中で、**A**相手のことについて質問している部分はどこか、**B**お互いが自分や自分の家族のことについて話している部分はどこか、**C**共通の知り合いを話題にしている部分はどこかを確認します。そのあと◆で、そこでどんな表現が使われているかを見えます。たとえば **A**であれば「～っけ?」、**B**なら「～ことにした」、**C**なら「～って」などが使われていることに気がつくでしょう。

(2)のロールプレイでは、①でははじめはペアのうちどちらか一方が「日本にいる友達」の役割になります。ロールカードにあるように、話題は「仕事」「家族」「生活」などについて話すようにします(このうちどれかだけについて話すのでもかまいません)。(例)を参考にして、フィクションとして適当な話ができればそれで結構です。共通の知り合いがいなくても、架空の人物を設定して、話を作ってください。

そのあと②で、「海外に住んでいる、日本語で話す友達同士」という設定で、より自由度の高い練習をします。海外の教室の場合、同じ国の人同士が日本語で話すことは不自然であると考えて、このような場面を設定しましたが、あまり気にしないで、最初からクラスの友人同士で話すタスクを行ってもかまいません。ここでもある程度フィクションを混ぜて話を作っても大丈夫です。

ページの下には、ロールプレイの際にどんなことを話せばいいか、考えるきっかけとして、イラストを載せてあります。それぞれ、「運動している」「仕事が忙しい」「バカンスに行ってきた」「病気で寝込んでいた」「日本語の勉強を頑張っている」「子供が大きくなった」のようなイメージです。これらは①のときにも、②のときにも、どちらで参考にしてもいいでしょう。

## PART3 長く話す「最近、ヨガにはまってるんです」

**Can-do 23** 自分の最近の様子やできごとについて、何があったか、どうだったかを、ある程度くわしく話すことができる。

最近の自分の様子や出来事が、さりげない会話の中でうまく話せるようになると、日本語を使って自分から話したいと思えるようになるでしょう。そこで、ここでは、日常生活のいろいろな場面で、自分の近況を友達や知り合いに話せるようになることを目指します。PART 2 の会話(P118-119)では、やりとりが中心でしたが、このPART 3では、PART 1(P116-117)で聞いたようなまとまりのある話を、話し手としてできるようになることが目標です。

## ● 話すまえに (P123)

目標は、自分から話題提供ができるようになることです。質問の「最近、どんなことがありましたか」は答えにくいかもしれませんが、久しぶりに会った友達などにどんなことを話してみたいかを考えさせてみるといいでしょう。趣味、家族のこと、最近の仕事、ちょっとおもしろい出来事など、話題はいろいろとあると思いますが、漠然とではなく、その中から具体的な出来事を思い浮かべさせるといいでしょう。アイデアがわきにくい場合などは、教師が自分のちょっとした話をしてみるのもいいでしょう。

## 1 モデル会話を聞く (P123)

写真とイラストから、何かのイベント会場でなどで、偶然、知り合いの日本人に会って立ち話をする場面であることを確認します。チェさんは「おかげさまで。私、最近体の調子がすごくいいんですよ。実は…」から、何か体にいいことを始めたということがわかるでしょう。イラストから、ヨガを始めたらしいということに気づくかもしれません。

教科書の質問にそって会話例を聞き、何を始めたのか(質問①)という話全体のトピックと、それについてどんなことが起こったか(質問②③④)を理解します。ホットヨガの写真は、124 ページにあるので参考にしてください。

## 2 表現の確認 (P123)

「トピックを導入する」、「できごとの順番に話す」、「話をまとめる」は、談話の流れの順になっているので、はじめに、この部分に注目させてください。

- ・②③「～たら～ようになる」は、「～たら」できっかけを、「～ようになる」で変化や結果を表します。「続けていたら／練習したら／毎日がんばったら → できるようになった／体調がよくなった」などのように説明するとわかりやすいでしょう。
- ・空所にはなっていませんが、話の時間的な展開を表す接続表現には下線が引いてあります。「はじめは、うまくできなかつた。それが／でも、だんだんできるようになって、最近は、体調もいい」という談話の流れに注目させてください。

- ・「話をまとめる」にはいろいろな表現がありますが、ここでは、良かった場合と良くなかった場合に分けて例示してあります。参考情報として紹介してください。

B1 の体験談では、ある程度くわしく、感情も交えて話せるようになることが目標です。日本語では、自分の中の心の中の声を「引用」して示すことによって、感情を伝えることができます。例文の「痛い！」「できない」は、話し手が心の中で発したことばであって、実際に言ったわけではありません。形式としては、「～って／～っていう」を使うだけなので、難しくないでしょう。

なお、PART 1 に出てきた「それはやめてー」って思う、「もう、勘弁して」って感じ、「やられた！」って感じ、「なんで？」って思いましたは、全てこの言い方です。

### 3 モデル会話の確認とシャドーイング (P124)

話の内容は簡単ですが、話の流れや展開と共に、それを示す接続表現を確認します。その他、語彙や表現で質問が出そうなものは以下のとおりです。

- ・「私でも、だんだんできるようになってきて。」の「～てくる」は、だんだんその状態に変化する様子を描写する表現です。トピック2 PART 4 の「読むのに役立つ文法・文型」(P74)にある「おもて面も固まってきたら、…」の「V てくる」と同じ用法だと説明すればいいでしょう。
- ・「汗がだらだら出る」の「だらだら」は、汗や血などが流れ出す様子を表すオノマトペ、「らくらくやってるんですよね」の「らくらく」は、ものごとがたやすくできる様子を表すオノマトペですが、これらも、文脈から推測できるでしょうし、意味がわかれば無理に覚えさせる必要はありません。

#### ◆ シャドーイングする

話の流れに注意しながらシャドーイングします。「引用」の使い方も何回かシャドーイングしていく中で、わかってくると思います。

### 4 再話する (P124)

最近の様子やできごとについて話してみる練習です。そのために、チェさんの「ホットヨガ」の話を素材として使います。話の流れの順に、3 枚のメモに情報をまとめてあります。「トピック」の導入の部分は、①のメモの前に書いてあるので注意してください。また、メモには、話の順番や展開がわかるように、「はじめは？」「それから？」「それで？」ということばがヒントとして書いてありますから、それを意識させるといいでしょう。ほかのトピック同様、スクリプトと同じである必要はありませんが、話したあとで、「引用」の表現が使えたかどうか振り返るようにしてください。

なお、国や地域によっては、ヨガやホットヨガは女性がするものというイメージがあり、体験談として話すことに抵抗がある学習者がいるかもしれません。その場合は、練習だと思ってしてください。

**5** 自分のことを話す (P125)

## (1) 話したい内容を整理する

自分の最近の様子やできごとについて話します。トピックは、友達に話してみたいことなら、何について話してもかまいません。「話すまえに」で考えたことをヒントにするといいでしょう。トピックによって、話の展開を 3 枚にまとめるのが難しい場合などは、メモの枚数は調整してください。ただし、設定は知り合いとのちょっとした雑談ですから、あまり長すぎないようにしましょう。「まとめ」のセリフは **2** から選んでもいいですし、適当なものがなければ考えたり調べたりさせてください。

## (2) 話す

日本語を話す知人や友人に久しぶりに会うのはどんな場面でしょうか。日本関係のイベント会場、日系スーパーや日本料理の店、日本語を学んでいるセンターの図書館など、学習者それぞれが、実際にありそうな場面を考えて話します。巻末の「学習記録シート」(P258)の Can-do チェックのポイントになっているように、出来事の順番にある程度くわしく話すことを目標にしてください。

## PART4 読んでわかる「わが家の近況ですが…」

**Can-do 24** 知り合いからの手紙を読んで、最近の様子について、ほとんどの内容が理解できる。

メールを使うことが多くなったとはいえ、手書きの手紙がまったく使われなくなったわけではありません。どちらかというとな輩の方からもらう場合が多いようですが、日本に行ったときにお世話になった人や、日本に帰国してしまった日本人の知人などから届く手書きの手紙は、とても懐かしいものでしょう。ここでは、知人からの手書きの手紙を読んで、近況を把握することが目的です。

なお、『まるごと』では、ここで、はじめて縦書きのものを読むという活動が出てきます。縦書きの場合は、右から左に書くという日本の表記システムに触れることも目的のひとつです。

● **読むまえに (P126)**

手書きの手紙を書いたり、もらったりした経験があるかどうかを簡単に話します。カードやメモ、絵葉書などでもかまいません。もらったところがあるという人には、どんなものをもらったか、手書きの特徴として気づいたことなどを話してもらおうといいでしょう。

**1** **内容を理解する (P126-127)**

ホストファミリーのお母さんに誕生日カードと写真を送ったところ、お礼の手紙が届いたという設定です。ここでは、手紙をもらった立場になって、ホストファミリーのお母さんからの手紙を読みます。

(1) 家族の近況を予想する

ホストファミリーのお母さんからの手紙ですから、誕生日カードのお礼だけではなく、家族の近況が書かれていると考えられます。知っている人の近況を記した手紙を読む場合、「●●ちゃんはどうしているかなあ。」などと、その人について自分が知っていることを思い出しながら、現在の様子をなんとなく予想しながら読むことが多いでしょう。そこで、ここでは練習として、手紙をすぐに読むのではなく、そのまえに、家族のメンバーが今何をしているかを想像してみます。自分がホームステイしていたつもりになって、1年前の家族の情報をヒントに、家族の今の様子を自由に予想します。予想の内容を、ペアなので比べてみる時間をとると、楽しいでしょう。

(2) 手紙を読んで家族の近況を把握する

手紙を読んで、ホストファミリーの家族が今どうしているかという情報を見つけます。このタスクに係するのは、手紙の **C** と **D** の部分だけなので、ほかの部分についてはくわしく読む必要はないことに気づくといいでしょう。

◆では、予想が当たっていたかどうか、違っていたのはどこかなど、ペアやグループで話し合います。当たっていた場合も、違っていた場合も、手紙のどの部分を見てそう判断したのか、手紙を見ながら話すようにします。この活動は、予想や予測を情報と照合し、修正しながら理解をすすめていくという読解過程を意識化するためです。

なお、これらの作業を通して、**C**と**D**の部分については、かなりくわしく読むことになり、わからない箇所はあまり残らないと思いますが、学習者から質問があるようなら、簡単に説明してください。

## 2 読むためのストラテジー (P127)

情報把握を目的とした読みでは、全体の中でほしい情報がどこにあるかをすばやく見つけることが大切です。そこで、ここでは、近況報告の手紙を例にして、手紙の構成に注目することによって、知りたい情報をすばやく見つけるストラテジーを取り上げています。

(1)では、もう一度手紙を見て、どこに何が書いてあるか、内容を整理します。この段階では、**1**では注目しなかった手紙の**A B**と**E F**の部分についても、どんなことが書いてあったか、内容をクラスで確認します。

(2)近況報告の手紙は、「定型的な挨拶」の部分と、「近況について述べた部分」に大きく分けられます。(1)で考えたことを手がかりにして、「①決まった言い方がほとんどで、新しい情報があまりない部分」と「②新しい情報や大切な情報がある部分」の二つに分けてみると、どこを読めば知りたい情報が見つけられるかがわかるでしょう。

## 3 読んだあとで (P127)

懐かしい人からの近況報告の手紙を読むときは、昔のことを思い出すだけではなく、これからどうなるかと考えることがあるかもしれません。ここは想像の世界なので、手紙の中で興味を持った人について、自由に考えたことを話し合ってみるといいでしょう。

## 4 読むのに役立つ文法・文型 (P128)

### ① ～ようだ (P128)

外見や状況などから判断してそう考えられるということを示す推量表現で、断定的な言い方を避けるときに使います。「～みたいだ」とほぼ同じ意味ですが、手紙のように、書きことばで多く使われます。自分ではなく、ほかの人について述べる場合、「大悟は・・・今のところはなんとかやっているようです」「優子は・・・今いろいろ準備しているようです」と、断定的な言い方を避ける場合が多いと言えます。家族の近況なので「～なんとかやっています」「～準備しています」と書いても間違いではありませんが、断定的な表現を避けることで、読み手に、柔らかい印象を与えます。

手紙の中には、ほかにも「また、日本語の勉強を続けているようで、うれしく思います」「私にはやはり手紙が合っているようです」があります。よく気がつく学習者の場合、2 番目の例では、なぜ主語が私なのに「～ようだ」が使われているかと疑問を持つかもしれません。これは、自分自身のことについて、はっきり言わない婉曲的な表現をしている使い方です。E メールを期待している相手に対して、「手紙が合っています(Eメールは使いませんという含意があります)」と断言すると失礼であり、相手の気分を害するかもしれないからです。

ことばの意味や使い方を本当に理解していくためには、自然な文脈での使い方にたくさん触れていくことが大切です。教師からの説明は簡潔かつ最小限にし、実例から気づいていく習慣をつけましょう。なお、「～ようです」は、トピック8 PART 2(P174)でもう一度勉強します。

## ② Nばかり (P128)

それだけをしていて、ほかのことはあまりしないということを示します。例文の「テレビばかり見ている」というのは、いつもテレビを見ていてほかのことはあまりしないという意味です。

「夫は週末、本ばかり読んでいて、どこにも出かけようとしらない」の例のように、どちらかという、話し手が不満に思っていたり、困っていたりする場合に使われることが多いです。

## ③ Vたがる (P128)

自分の欲求や希望は、「～たい」を使って直接的に表現しますが、他人の気持ちは実際にはよくわかりません。そこで、行為や行動など外側に現れる様子を見て、「行きたがっています」「行きたがりません」のように「Vたがる」の形で描写して示します。

実は、同じことを「行きたいようです」「行きたくないようです」のように「～ようだ」を使って表すこともできます。「Vたがる」は行為や行動を描写しているので、「～ようです」に比べるとどちらかという強い印象があります。

## ④ お・ごVください (P128)

丁寧な指示・依頼を示します。簡潔でわかりやすい表現なので、手紙やメールの文章、広告やポスターなどでよく使われます。話しことばでは、車内や店内アナウンス、接客用語などでよく使われます。「少々、お待ちください」など、知っている学習者も多いと思われるので、くわしい説明は不要でしょう。

## 漢字のことば 漢字の整理 (P128)

手紙の中で使われている漢字が取り上げられています。これらのことばが手紙のどこに出てきたかを確認し、読み方、意味を確かめたあと、キーボードやスマホで入力するなどの練習をしましょう。

### ◆ 漢字を手がかりにことばを増やしたり整理したりする

漢字のことばの中から、「洗濯する」のように「する」をつけて動詞になる漢字熟語に注目します。漢字2字のことばと限定してあるので本文からも探しやすいと思います。「帰国する」「心配する」の二つはすぐに見つかるでしょう。「生活できる」はもとの形が「生活する」なので、これも同じ種類のことばです。また、ここでは名詞として使われていますが、「勉強」「料理」も「する」をつけて使うことができます。

時間があれば、このほかに知っている例がないかクラスで考えてみてもいいでしょう。たくさん例が集まったら、「する」をつけて動詞になる語彙は、意味的に動作性のある名詞であることに気づくかもしれません。

## PART5 書く「お元気ですか」

**Can-do 25** 知り合いに、最近の自分の様子を知らせるメールを書くことができる。

普段はあまり会う機会のない友人や知り合い、お世話になった人などに、メールで簡単な近況報告をするタスクです。メールだと、手紙ほど形式的にならず気軽に書いて送れることから、ここではメールという媒体を採用しましたが、クラスによっては手紙を書く設定にしてもかまいません。

最近では普段あまり会う機会のない人とは Facebook などの SNS でコミュニケーションする人が増えていますが、そうした場合はおもに、不特定多数の読み手に向けて、かなり短い文章を発信することがほとんどです。それに対して、ここでは特定の相手に向けて、ある程度まとまった内容の近況を書くことを目標としています。

## 1 書く (P129)

### (1) 書くための準備

まず、誰にメールを書くかを決めます。「お世話になった先生に」「前にいっしょに働いていた日本人の同僚に」「日本に旅行に行ったときに知り合いになった人に」など、想像でもいいので、具体的に相手を思い浮かべてみるといいでしょう。

次に、自分が選んだ相手にどんなことを伝えたいかを考え、「何を知らせたいですか」の欄にメモします。ここでは簡単に箇条書きでメモするだけにとどめます。本当にあったことでもいいですし、架空の内容を考えてもかまいません。

最後に「あいさつのことば」の部分を見て、①最初の挨拶と②終わりの挨拶を、教科書の例を参考に考えます。挨拶は、相手との関係によってスタイル(スピーチレベル)が変わることに注意しましょう。メールの場合、手紙ほど形式的な決まりはありませんが、ある程度定型的な挨拶を知っておくと、実際にメールを書く際にも役立つでしょう。

### (2) メールを書く

実際にメールを書いてみます。簡単な近況報告なので、あまり長く書く必要はありません。伝えたいことを順番に並べればいいでしょう。そのときに、①と②の挨拶で選んだスタイルに合わせて、丁寧体か普通体か、敬語をどの程度使うか考えながら書かせてください。

なお、ここではメールという設定になっていますが、手書きの手紙を書きたいという学習者がいれば、それでもかまいません。ただし、手紙として書く場合は、季節の挨拶や体を気遣うことばなど、メールよりはもっと形式的になるので、やや注意が必要です。

## 2 書いたあとで (P129)

クラスで交換してメールを読みます。読み手は、手紙をもらった人(たとえば日本語の先生、友人など)のつもりになって、コメントしてみます。これによって、メールを書くー読む、という一連のコミュニケーションを体験させてみるのが目的です。

## 教室の外へ

### わたしだけのフリース (P130)

自分の近況や最近の出来事について話すことばについて、メモします。自分が今している仕事に関係することばや、最近夢中になっている趣味に関する用語など、自由に書かせてください。

### 教室の外の活動のアイデア

#### ①

スカイプや Facetime のようなネット通話ツールは、世界の距離を超えて対面のコミュニケーションができるツールで、現在では誰でも気軽に使うことができます。ここでは体験として「クラスの友達や知っている人と」となっていますが、日本にいる人や、外国の日本語学習者と日本語でリアルタイムの会話ができれば理想的です。可能であれば、日本のボランティア団体や大学などと提携し、ネットを使って話すセッションをクラス単位で行えるとよいでしょう。

#### ②

SNS は知り合いだけでなく、いろいろな人と現実のコミュニケーションができますから、日本語で発信すれば、日本語使用の非常にいい機会となるでしょう。Facebook には日本語学習者が日本語で交流するグループもありますし (The.Nihongo.Learning.Community など)、日本人の知り合いと「友達」になって、日本語の書き込みにコメントしたりして、実際のコミュニケーションをすると、意義のある活動になります。こうした活動が、教室外での継続的な日本語使用につながれば理想的だと言えます。

#### ③

手紙の「季節の挨拶」を調べてみる活動です。季節ごとにどんな言い方があるか調べるだけでなく、なぜ季節の挨拶があるのか、どう思うかなどを考えたり、また自分の国ならどんな季節の挨拶が考えられそうか、クラスで話し合ってみたりするのもいいかもしれません。

#### ④

絵手紙とは、葉書に手書きの絵を描き、短い文章を添えます。絵を描く道具は、色鉛筆、絵の具、ペンなど、何を使ってもかまいません。メールのように、用件を簡潔に伝えるという用途とは違い、自分の気持ちを相手に伝えるという意味合いが重要です。

書く日本語の文自体は、ごく短いことばだけの場合が多いので、B1 の活動としては簡単すぎるかもしれません。日本語というよりは日本文化体験として、クラスでやってみると、意外に盛り上がるようです。

## トピック 6 マンガを読もう

日本のマンガが大好きという声をよく聞くようになりました。マンガをきっかけに日本語に興味を持ったという人も少なくないようです。ここでは、マンガというポップ・カルチャーを取り上げ、お互いの情報や意見交換ができることを目指します。マンガの知識がなくても活動ができるように配慮してありますので、マンガは苦手、マンガのことはよく知らないという人も、これをきっかけに新しい世界を広げていってください。

### ◎ 扉／準備

#### ● トピックについての質問 (P131)

扉の写真は、海外で売られているマンガや、コスプレの風景です。マンガを読んだことがある人が多いクラスでは、どこでマンガを見かけるか、どんなマンガを知っているか、マンガ関係のイベントがあるかなど、扉の写真を手がかりに自由に話し合ってみるといいでしょう。逆に、マンガには興味がないという人が多い場合は、ここはさっと終わらせてもかまいません。

#### 1 写真やレアリアを見る (P132)

ジャンルの異なる日本のマンガを 8 つ取り上げてあります。表紙のタイトルと写真から、どんな種類のマンガか考えることによって、日本のマンガのジャンルの広さに気づくことがこのねらいです。読者としてどんな人を想定しているかについても考えてみると、マンガが決して子どもだけのものではないことに気づくでしょう。下に、簡単に各マンガについての解説を書きましたが、クラスで説明することが目的ではありません。「表紙の人は誰ですか？ 何をしているのでしょうか？」などのように、学習者に考えるヒントを出すときの参考として利用してください。

- \*ワンパンマン:ヒーローの「サイタマ」が活躍するアクション。見た目はあまり格好がよくないため、ヒーローとしての人気はないが、どんな相手でもパンチ一発で倒せる力を持っているという設定。WEB 上で連載されたコミックが、紙媒体のコミックにリメイクされている。
- \*金田一少年の事件簿:高校生の金田一(きんだいち はじめ)が、友達や刑事と協力して、難しい事件を次々に解決していくミステリーマンガ。金田一少年は学業も運動もダメだが、実は IQ180、名探偵だった祖父の血を引き、抜群の推理力を持つという設定になっている。
- \*FairyTail:魔法を使う魔導士(まどうし)が住む世界を描いたファンタジー。この世界には、多くの魔導士ギルド(魔動士の組合)があり、魔導士に仕事の仲介などを行っている。「フェアリーテイル(妖精の尻尾)」というギルドで、少女ルーシィと少年ナツが成長していく物語。

- \* 社長島耕作: 大手電機メーカーに勤務する「島耕作(しま こうさく)」を主人公にしたサラリーマンマンガ。「課長島耕作」からはじまり「部長―」「取締役―」「常務―」「専務―」となり、このシリーズに続く。続く作品に「会長島耕作」がある。企業内外のさまざまな様相が描かれている。
- \* しゃにむに GO: テニスをテーマとしたスポーツマンガ。テニスは素人だった男子高校生、伊出延久(いで のぶひさ)が、テニス部の女子ひなこに一目惚れしてテニスを始め、その後成長していく。
- \* 俺物語!! : 身長 2m、体重 120kg の高校生、剛田猛男(ごうだ たけお)は、同性からの信頼は厚いが、女子からはもてない。ある日、痴漢にあっていた大和凜子(やまと りんこ)を助けたことがきっかけで、二人の恋が始まる。アニメや映画にもなった。
- \* 将太の寿司: 東京の「鳳寿司」で働く少年、関口将太(せきぐち しょうた)が、寿司職人として成長していくドラマ。トーナメント方式の寿司職人コンクールの様子が描かれる。
- \* できんボーイ: 1977-78 年に発表されたギャグマンガ。主人公の小学生「ちゃっぷまん」が、家族や仲間とナンセンスギャグを繰り広げる。「ちゅどーん」など独特のオノマトペの元祖として、一部マニアの間では有名。

### 文化 文化について考える (P132)

それぞれの国で、どんな種類のマンガがあるか話し合ってみてください。ジャンルの種類や対象としている年齢層など、**1**との違いや似ている点、また、それらのマンガの読み手がどんな人かを考えてみることによって、マンガの世界の違いや広がりが見えてくるといいでしょう。

### 2 その他の活動 (P133)

このトピックでは、他のトピックと違い、**2**のインタビュー例を聞く活動はなく、代わりに、実際にマンガのページを見てみます。ここで取り上げた『ONE PIECE』は、海外でも人気のある作品のひとつなので知っている学習者もいると思います。下に簡単に説明を載せませんが、PART 2 の話題にもなっているので、話の内容はそちらを参考にしてもいいでしょう。

- \* ONE PIECE(ワンピース): 海賊となった少年ルフィが主人公の冒険マンガ。アニメにもなっている。引用シーンに出てくるナミとチョッパーはルフィの仲間で、ナミは航海士、チョッパーは医者。チョッパーはもともとナカイで、「ヒトヒトの実」を食べて人間ナカイとなったという設定。

マンガは文字情報が限られる代わりに、絵や表現形式の工夫によってそれを補っています。ここでは、マンガのさまざまな特徴に気づくことが目的です。ここで引用してあるシーンについては、はじめに簡単な説明をつけたので、その設定を確認してから練習に進むとわかりやすいでしょう(読解練習ではありませんので、わからなければ教師が母語等で簡単に説明してください)。なお、引用シーンについて、内容を日本語で読んで理解することが目的ではないので、わからなくても気にする必要はありません。必要に応じて、教師が説明をしてください(次ページの\*参照)。

(1) マンガには、いろいろなキャラクターが出てきますが、それぞれのキャラクターが特有の話し方をすることがあります。これを、キャラ語または役割語などと言います。たとえば「①お前、まだ熱があるんだぞ!!」の「お前」は、「あなた」という意味の少し乱暴な言い方です。「熱があるんだぞ」の文末の「～ぞ」は、強調表現のひとつですが、これも少し乱暴な言い方です。一方、「②ないわよ」の「～わよ」は女性的な表現として使われています。ここでは、こういう表現を使うことによって、チョッパー(男の子)とナミ(女の子)のキャラクターの違いを強調しているとも言えます。

(2) 強調したり、感情を表したりするために、吹き出しの形を変えたり、セリフの文字を大きくしたり、「!」や「…」などの記号を使ったり、セリフの一部をわざとカタカナ表記にしたりすることがあります。「⑤う…!! うるせエなっ!!」の例で考えると、話し手が大声で怒鳴ったのだらうということがわかります。このような視覚的な情報の意味を理解するのもマンガのおもしろさのひとつです。

(3) マンガでは、よくオノマトペが使われます。オノマトペを使えば、音や様子が伝えやすいからです。たとえば、「キョロキョロ」と書くだけで、登場人物があちこち何かをさがしているということがすぐにわかります。小説であれば情景描写をくわしく書く必要がありますが、このように絵とオノマトペですぐに情景が伝えられるのもマンガの特徴のひとつです。なお、オノマトペには、様子を表す擬態語と、音を表す擬音語がありますが、ここでは特に区別して出していません。

設問にはなっていませんが、参考までに引用したシーンの流れを下に書いておきます。

\*ストーリー：チョッパーは、少し病気がよくなったナミに「④ありがとう」と看病のお礼を言われますが、「⑤う…!! うるせエなっ!!」と怒っているようです。ところが、最後のシーンを見ると、口では「に…人間なんかにお礼をいわれる筋合いはねエ!! ふざけんな!!」と言いながらも、「うきうきニコニコ」というオノマトペとイラストから、うれしくて仕方がない様子がわかります。その結果、ナミに「感情が隠せないタイプなのね。」と言われます。乱暴に言っているのは、チョッパーの照れ隠しだったようです。

YouTubeで「One Piece - Funny Chopper Scene」と検索すると、このシーンのアニメ版を見ることができます(2017年10月31日参照)。アニメ版は、上に説明したような流れや登場人物の表情がよりわかりやすくなっていますので、クラスで紹介してみてもいいでしょう。

#### ◆ いろいろなオノマトペ

学習者が知っているオノマトペにどんなものがあるか、自由に言ってもらいます。「(雨が)ザーザー(降る)」「ドキドキ」「(おなか)がぺこぺこ」「(のど)がからから」など、すでに知っているものがあると思います。時間があれば、教師がいくつか紹介して、音を聞いてどんなイメージを持つか自由に考えてみるのも楽しいと思います。

国際交流基金の制作したサイト「WEB版エリンが挑戦! にほんごできます。」の中には、「基本スキット」の一部として「マンガで覚えるオノマトペ」のコーナーがあり、いろいろなオノマトペを表した動画が見られますので、こちらも参考として自由に閲覧させるなどしてみてください。また、「アニメ・マンガの日本語」のサイトでも、マンガのオノマトペを学ぶことができます。

## PART1 聞いてわかる「すごく有名なマンガですよ」

**Can-do 26** マンガについての紹介を聞いて、どんなストーリーか、どこがいいかが理解できる。

マンガや小説などを読んでみようと思うとき、どんなものかいいか友達に聞いてみることもあると思います。他の人の話から本の内容の全てを理解することはできませんが、本のジャンルや、登場人物、あらすじ、テーマなど、主な点が聞き取れれば、読むか読まないかを決めるときに参考になるでしょう。

ここでは、聞き返しや確認などを交えながら、どんな本なのか、自分が本を選ぶ際に参考になる情報が理解できるようになることを目指します。

### 場面・設定の確認

日本文化センターなどの図書館のマンガコーナーでの会話です。イラスト中央の女性(外国人)は日本のマンガに興味がありますが、何を読めばいいかわかりません。そこで、たまたま近くにいる2組のカップルに質問しているという場面です。「おすすめのマンガって、何かありませんか?」と質問している人(聞き手)の立場になって聞きます。

#### ● 聞くまえに (P134)

この会話で話題になっている4つのマンガの表紙を先に見て、どんなマンガか想像してみます。設定が図書館での会話なので、実際に、マンガを手にとって話を聞くことができます。

マンガの表紙には、たいてい主人公が出ています。それを見て、どんな人か(性別、年齢、職業、場所、時代など)考えると、ストーリーの予測につながります。また、マンガのタイトルも内容予測の参考になります。クラスの中に、すでに知っている人がいる場合は、表紙の人物について簡単に紹介してもらってもかまいません。

#### 1 内容を段階的に理解する (P134)

##### (1) 1回目の聞き:登場人物に注目して聞く

全体を聞いて、タイトルを確認したあと、ストーリー理解の手がかりとして、どんな主人公かを理解します。4人の話には、マンガの表紙には出てこない登場人物も含まれていますが、ここでは、タスクを簡単にするために、表紙の人がどんな人かに注目させてください。名前は聞き取れなくてもかまいません。2回ぐらい聞いてもかまわないので、はじめは、主人公について話しているのはどの部分かを見つけさせるようにし、そのあと、わかることをメモさせるといいでしょう。

なお、アマゾンなどのサイトから表紙の画像をダウンロードして大きく見せることができれば、よりわかりやすいでしょう。

- ① 「デスノート」の例なら、「主人公」「ライト」「高校生」「頭が良くて」「犯人」、「頭がいい探偵」ということばがヒントになるでしょう。なお、主人公の高校生の名前は「月」と書いて「ライト」と読みませます。ここでは、音を聞いてメモするタスクなので解答例は「ライト」とカタカナにしてあります。

- ② 「のだめカンタービレ」の話の場合も、人物が2人出てきますが、注目するのは女性の方で、「ピアニスト」「のだめって女の子」ということばがヒントになるでしょう。
- ③ 「ベルサイユのばら」の話にも複数の人が出てきますが、「ヒロイン」「オスカル」「女なんだけど男として…」「超すてき」ということばに注目します。
- ④ 「鋼の錬金術師」の場合も、登場人物が2人います。「主人公の兄弟」で2人いることに気づくとわかりやすくなります。次の「お兄さんは手を、弟は体全体を…」がヒントになるでしょう。表紙の写真では、手前にいる人の手に注目すると、この人は「手を失った」人ということに気づくかもしれません。なお、後ろいる甲冑かっちゅうのようなものを着ている人が「体を失った」弟という設定です。

## (2) 2回目の聞き:ストーリーの概要を理解する

4つのマンガについて、どんなストーリーかを理解します。①-④にヒントになる文が書いてあるので、それを読んでから、( )の箇所に注目して聞きます。聞いたあとで、全体として、①はミステリー、②はラブコメディ、③歴史と恋愛のドラマ、④ファンタジーだということを確認してください。

そのあとで、①-④の文を読みながら、具体的にどんなことがわかったかを確認します。たとえば、①「ノートを使って人を殺す」とはどういうことか、教師が質問し、「デスノート」というノートがあって、それに名前を書かれた人は死ぬ、ライトはこのノートを使って人を殺すということを理解できればいいでしょう。必要に応じて難しい単語の意味などは、適宜確認してください。

また、ここでは、紙面の関係でタスクにはしませんが、この段階で、よくストーリー紹介にあるような登場人物の関係図を書かせると、わかったことをうまく整理できると思います。これは、クラスをグループに分けて、担当するマンガを決めてやらせるといいかもしれません。

## (3) 3回目の聞き:マンガの魅力を聞き取る

4人がそれぞれすすめるマンガについて、どこがいいと言っているかに注意して聞きます。すでにここまでで、最低2回は聞いているので、教科書のキーワードを先に見てどのマンガに当てはまるか考えさせてから、聞くといいでしょう。

◆では、選んだキーワードをヒントに、それぞれのマンガのいいところについてわかったことを話します。(1)(2)で理解した内容を関係づけて考えるようにします。①であれば、「ライトという高校生がいて、とても頭がよくて、ノートに名前を書いて人を殺す。探偵がいて、その人もとても頭がいい。2人の対決があって、ドキドキする」のようになりますが、活動の目的は産出練習ではないので、キーワードの「ドキドキする」以外は、母語が交じってもかまいません。

## 2 聞くためのストラテジー (P135)

ことばの意味の理解に自信がないときに、「多分、こういう意味だと思うけど、合っている？」と相手に確認しながら聞くというストラテジーの練習です。ある程度推測できることが前提になるので、「聞き返し」よりは難しいストラテジーです。実際の会話では、聞き返しと確認のストラテジーの両方を使って会話しますが、ここでは、練習のために確認のストラテジーだけを取り上げて練習します。

## (1) ストラテジーの機能を理解する

①－③の会話から、確認している箇所を抜き出してあります。①と②は推測が当たった例、③ははずれた例です。いずれの場合も、「確認」することによって、ことばの意味がわかったという点に注目してください

## (2) 「確認」の言い方を確認する

確認の言い方は人それぞれですから、会話例はそのひとつに過ぎません。①「探偵って、犯人を探す人？」など、ほかの言い方があれば、クラスで共有してみてください。

## (3) ストラテジーを使ってみる

「④サイさん」の話を教師が言い、学習者が自由に確認をします。クラスの学習者が多いときは、グループに分けて行うなど、工夫してください。

**3** 聞いたあとで (P135)

読んでみたいと思うマンガがある人には、どんなところがおもしろそうと思ったか、その理由を話します。無理に一つ選ぶ必要はなく、ストーリーについてのコメントや、同じような／似ているストーリーの話を知っているかを話してもいいでしょう。また、この中には読みたいものがないという人には、その理由を聞いてみるでもいいでしょう。

**■** 聞いたことをまとめる (P135)

動詞を活用させて入れます。「(兄弟が)死んだ母親を(⑩生き返らせ)ようとする…」では使役形、「…深いテーマがあるから(⑭考えさせられる)」では使役受身形が使われます。この二つは、トピック3の「会話に役立つ文法・文型」①②(P83-84)で取り上げましたが、文脈の中で自由に使えるようになるのには、時間がかかると思います。必要があれば、トピック3の該当ページをしてみるなどしてください。

使役受身形にはいろいろな用法があり、「考えさせられる」の「～させられる」は、自然にそのような気持ちになるという意味で使われています。「驚かされる」「感動させられる」などもこの例です。学習者から質問があるようなら簡単に例文を挙げて説明してください。ただ、用法の広がりとは説明したからわかるというものではなく、自然な文脈の中で用例に触れていくことによって、学習者自身がつかんでいくものだという点を大切にしてください。

## PART2 会話する「これはチョッパーの帽子です」

**Can-do 27** 好きなマンガなどについて、内容を簡単に説明したり、自分の考えを表現したりできる。また、相手の考えに対して、簡単にコメントできる。

このパートでは、自分の好きなマンガについて、どのような内容の話か、またどんな点がいいのかなど、自分の考えを表現できるようになることを目指します。また他の人の話を聞いて、自分はど  
う思うのか、コメントや意見を返しなが、この話題で会話できるようになることも目標です。日本語  
を学ぶ学習者の中には日本のマンガが好きな人が多くいて、自分の好きなマンガについて語りた  
いというモチベーションを持っていると思います。クラスの中には必ずしもマンガが好きな人ばかり  
ではないと思いますが、そうした人も、自分の意見をコメントすることで、会話に参加できます。

## ● 会話するまえに (P136)

はじめに、マンガのキャラクターについて話します。この会話には「チョッパー」が登場しますが、  
知らなくてもかまいません。好きなキャラクターを挙げる活動では、日本のマンガだけではなく、たと  
えばディズニーやアメコミのキャラクター、自国のマンガやアニメのキャラクターなど、自由に挙げて  
話してください。

次に、会話の登場人物や場面の設定を確認します。この会話の舞台はフランスの大学のキャン  
パス。日本語を勉強しているマンガ好きのレオンさんが、日本語教師の東先生に、好きなマンガの  
魅力を語る場面です。学習者の側から日本人に日本のことを教えるという設定がポイントです。

## 1 会話の内容を理解する (P136)

スクリプトを見ないで聞かせます。①から、あまりマンガを読まない東先生に、マンガ好きのレオン  
さんが「ワンピース」の魅力を語っているという場面であることを、大まかに理解させます。②につい  
てはいろいろな理由を語っていますので、各自が聞き取れたことを、自由に挙げさせ、クラス内でシ  
ェアするという活動にしてもいいでしょう。

## 2 ことばの形式に注目する (P136-137)

4 つの( )のうち、①⑤には「つもり」、④には「はず」が入ります。②③は文法形式を入れるの  
ではなく、(冒険する話)(死ぬ場面)という、連体修飾のフレーズが入ります。

二人とも「です・ます」体で話していますので、表現的にはあまり難しいところはありませんが、東  
先生の「じゃあ、読んでみようかしら」などは、(どちらかというと比較的年齢層の高い)女性が使う表  
現であることを説明してもいいでしょう。

なお、「ワンピース」というマンガや、レオンさんが説明している内容については、教師や学習者が  
くわしく知っておく必要はなく、むしろ東先生になったつもりで、説明を聞いて想像する程度でもい  
いと思います。ただし、学習者が興味を持った場合は、マンガやアニメ版などを教室で見せるのも、  
おもしろいかもしれません。ちなみに「先生が死ぬ場面」はワンピースで最も有名な名場面と言わ  
れており、YouTube で「Hiluluk」で検索すればヒットすると思います(「Hiluluk」は、「先生」の名前)。

### 3 会話に役立つ文法・文型 (P137)

ここでは「つもり」「はず」、および名詞修飾(外の関係)を練習します。文末の「～かも(ねえ)」については、「初級2」(初級 2 りかい:P157)で「～かもしれません」で、推量を表す表現として学びました。ここでの用法はそれとやや異なり、断定を避ける婉曲的な表現として使っています。このような「～かも」は今回はここでは練習しませんので、必要があれば説明を補ってください。

#### ① Vつもりだ (P137)

ここでは「つもり」のうち、自分の計画や意思を言う用法を練習します(「わかったつもり」のような、自分の思い込みを表す「V たつもり」には触れません)。「つもり」の否定形としては、「V ないつもり」を挙げています。他の言い方に「V つもりはない」もあり、「V ないつもり」よりもさらに強い意志、拒絶を表しますが、ここでは触れなくてもいいでしょう。

なお、思い込みの「V たつもり」については、「中級2」のトピック8(中級 2:P174)で取り上げます。

#### ② 文+N:名詞修飾 (P138)

「私が読んだ本」「この本を書いた人」のように、名詞修飾節の中で主格や目的格になる「内の関係」に対して、「冒険する話」「先生が死ぬ場面」など、修飾節と修飾される名詞の間に格関係がなく、修飾節が名詞の内容を表しているような場合、これを「外の関係」ということがあります。文法用語を教えることは必ずしも必要ありませんが、日本語では、文が名詞を修飾する方法に、このような場合もあることに注目させます。

練習(1)は、3つのマンガについて、書店や図書館のPOP(紹介カード:写真参照)を模した説明を読んだうえで、その話の内容を簡単にまとめて紹介するという設定です。学習者は書店の店員や図書館司書の立場になって、話の内容を簡単にして伝えます。既に話の内容を知っている人は、説明文を読まずにやってもかまいません。読解の練習ではないので、内容や語彙は教師がさと説明してください。内容をまとめる作業がやや負担となる学生もいるかもしれませんが、ここでの目的は文章の要約ではなく、簡単な短い文で名詞を修飾することで、内容を伝えられるようになることです。要約として適切かどうかにはあまりこだわらず、名詞修飾節+「話/ラブコメディ/アクションマンガ」の形式で内容を伝えられているかどうか注目するようにしましょう。

(2)の、「ほかに自分の知っている話で…」は、必ずしも日本のマンガに限らず、自国の話であったり、映画や小説などであったりしても問題ありません。むしろ、学習者が共通して知っている自国の話などがあれば、それを使って練習すると効果的でしょう。

#### ③ ～はずだ (P138)

「はずだ」は「ぜったいにそうなると思うこと」を表しますが、どうしてそう思うのかという根拠があるのが普通です。この根拠は明示的には示されていない場合もありますが、この練習では、根拠となる前半を聞いて、後半の推論を選ぶ形になっています。解答では④の答えがb、⑤の答えがcとしていますが、逆でも不正解にする必要はありません。

#### 4 話すためのストラテジー (P139)

いったん相手の話を「そうかもしれません」「たしかに～です」「たしかに～かもしれません」で認めて、そのあとで「～が」「でも」などで反論を言うストラテジーを練習します。すぐに反論するのと比べて、相手の気持ちを害さないで会話をよりスムーズに進めることができます。インフォーマルな会話であれば、「～かもしれないけど」などの言い方も可能でしょう。どんな語句を使うかという、表現の問題だけでなく、「いったん相手の話を認めてから、自分の考えを言う」という話の運び方自体に注目させてください。(3)は「自分の考え」を言う練習になっていますが、自分が本当にどう考えるかにかかわらず、ストラテジーの練習として行ってください。

#### 発音 発音の練習 (P139)

「フォーカス」は「相手に伝えたい大切な部分」と説明してありますが、他にも「相手の知らない情報がある部分」「新情報を担う部分」「話し手が強調したい部分」など、いろいろな説明があります。aの「ワンピースに出てくるキャラクター」「ナルトに出てくるキャラクター」では、「キャラクター」の部分は大切な情報ではないので、低いまま発音されます。これに対し、bの「ワンピースに出てくる医者のキャラクター」「ナルトに出てくる忍者のキャラクター」の場合、「医者」「忍者」の部分にも新しい情報があり、そこにフォーカスが置かれますので、イントネーションのヤマをそこから新しく作ります。ヤマの数の違いに注目して聞かせてください。またこのとき、「医者(平板型)」「忍者(頭高型)」の単語のアクセントの違いによって、ヤマの形が違うということにも注目できると思います。

なお、フォーカスとイントネーションのヤマの関係については、国際交流基金日本語教授法シリーズ2「音声を教える」も参考にしてください。

#### 5 ロールプレイ (P140)

(1)で、★の部分のうち、レオンさんの発話のみに注目します。レオンさんがマンガの内容を説明している部分[A]と、自分の感想を話している部分[B]とを分けて整理します。

\*第1刷では、東先生のコメントに対して自分の考えを述べている[C]が★の範囲外になってしまっているのので、注意してください。クラスで改訂して使ってください。

厳密に、どこからどこまでが[A]で、どこからどこまでが[B]かを判断することが目的ではなく、レオンさんの話の中に両方の部分があり、自分が話す時にも両方の要素を入れる必要があるのだということ認識させることが大切です。

(2)のはじめの①のロールプレイでは、(例)の続きとして、「ワンピース」について話の内容と感想を言う練習をします。本文の会話の内容を思い出しながら話すようにしてみてください。実際に「ワンピース」に魅力を感じていなくても、ロールプレイと割り切って、練習します。

そのあと、②で自分の好きなマンガについて自由に会話をします。一方が話し手、一方が聞き手となり、話し手は好きな話の内容や感想を、聞き手はそれに対するコメントを自由に言うようにします。話し手役の人に好きなマンガがない場合は、映画やテレビドラマなどについて話してもかまいません。

③はマンガが好きでない人との会話です。一方がその理由を言い、もう一方がマンガのいいところを教えるという設定です。実際は二人ともマンガが好きまたは二人ともマンガが好きではないペアになる可能性もありますが、(例)に続けてロールプレイの役割練習と割り切って練習させてみましょう。

②と③は、実際に自分がマンガが好きか、好きでないかに応じて、どちらか一方を選んで行ってもいいでしょう。

## PART3 長く話す「酒飲みの大男の話です」

**Can-do 28** 好きなマンガなどについて、どんなストーリーかをある程度くわしく話すことができる。

友達から、マンガや物語のストーリーについて聞かれたとき、その魅力を伝えるのはなかなか難しいことです。ここでは、自分が好きな話であれば、少しくわしく話せるようになることを目指します。その結果、紹介したストーリーに聞き手が興味を持ってくれるといいでしょう。

● 話すまえに (P141)

友達に紹介したいマンガや小説などがあるか、自由に話し合ってみます。ここでは、くわしく話す必要はなく、どんなふうに説明すればわかりやすいかと考えてみるのが目的です。

1 モデル会話を聞く (P141)

写真はオフィスの昼休みの風景です。吹き出しのセリフから、原さんに質問された張さんが、中国のマンガについて紹介する場面であることを確認します。

『水滸伝』の紹介を聞き、イラストを並べ替えてあらすじを確認します。会話例を聞くまえに、4枚のイラストを見て、それぞれがどんなシーンなのか考えさせます。順番を予測してから聞いてもかまいません。また、順番がわかったあとでイラストを見ながらもう一度聞いて、イラストを見ながら、関係することば(虎、酒、山、殴るなど)を簡単に確認しておく、2がやりやすいでしょう。ただし、ストーリーの再話は、4で行うので、ここでは、あらすじの確認にとどめてください。

2 表現の確認 (P141)

ストーリーの説明では、はじめに「まとめて簡単に言い」、そのあとで「具体的に話す」とわかりやすいです。そこで、この二つに分けて、整理してあります。

- ・①「～は…話です」は、「ストーリーをまとめて簡単に言う」場合に便利です。PART2「会話に役立つ文法・文型」の②(P138)で勉強した形です。
- ・「ストーリーを具体的に話す」場合は、<いつ、誰が？>で登場人物を簡単に紹介して、<どうした？>で続いて起こることを簡単に言い、<そうしたら？>で新しい状況や事件などの展開を述べ、<どうなった？>で話をまとめる、という4段階の構成でまとめてあります。
- ・②「ある日」のような「時の表現」は、ストーリーのはじめによく使われます。
- ・<そうしたら？>では、「すると」のような新しい展開を示す接続詞がよく使われます。

3 モデル会話の確認とシャドーイング (P142)

前半3行が『水滸伝』について簡単に紹介している部分で、後半5行が「ストーリーをある程度くわしく話す」というCan-doに直接関係する部分です。何も聞かれていないのに自分からストーリーをくわしく話すのは少々不自然なので、1の会話例では、原さん(聞き手)に「どんな話ですか？」と質問されたのを受けて、話し始めるという設定になっています。スクリプトでは、聞き手の質問は省略してあります。

- ・ストーリーの説明部分では、「ある日、…でも、…すると、…そして、最後は」の接続表現に注目させてください。
- ・前半の導入部分で「私が好きだったのは、～です」となっているのは、子どものころに読んだマンガの話をしているからです。今の話であれば「私が好きなのは／おすすめは、～です」となります。
- ・後半のストーリー説明は、主に主人公の武松の視点から語られています。そのため、「(武松は)店の人に『この先の山には……』と言われるんです。でも、酔っぱらったまま山に行って、寝てしまいます。」の「言われる」は受身になります。  
なお、ここでは、張さんは「108 人の男が…」と言っていますが、実際には、この中には女性も含まれているようです。

#### ◆ シャドーイング

後半のストーリーの説明部分をシャドーイングします。少し長いですが、4 枚の絵を思い出しながら、文単位で意味を把握して話していくようにすると、だんだんスムーズにできるようになるでしょう。

#### 4 再話する (P142)

ストーリーを紹介するための練習として、ここでは『水滸伝』の武松の話を素材にして練習します。再話は、『水滸伝』は、…」の部分からでかまいません。中心は、4 枚のメモになっている「ストーリーを具体的に話す」部分です。

①-④のメモには、ストーリーのイラストと、「酔っぱらう」「馬乗りになる」「退治する」など、このストーリー特有の表現が書いてあるので、それをヒントに話します。話の流れや展開がわかるように話すことが大切です。スクリプトと同じでなくてもかまいませんが、2 で注目した「すると、そして、最後は」など、ストーリーの展開や文と文の関係性を示す表現が使えたかどうか、振り返って確認させるようにしてください。

#### 5 自分のことを話す (P143)

##### (1) 話したい内容を整理する

ストーリーで紹介する作品は、漫画でなくても小説や物語でもかまいません。ただし、登場人物が多くて人間関係が複雑なものや、テーマが抽象的だったりストーリーが複雑で母語で話しても説明するのが難しいようなものは、B1レベルの活動には合わないので、選ばせないほうがいいでしょう。

また、ここでの設定は、友達との雑談の中で、知っているストーリーを紹介するというものです。長いストーリーの場合は、全体を長々と話す必要はありません。いちばん好きなところだけを選んで、話すようにしてください。必要な語彙などは、自分で調べさせます。

4 枚のメモでは足りないときは、枚数は調整してください。ただし、ここでの設定は雑談であって、紙芝居や物語の発表ではないということを忘れないようにしてください。

## (2) 話す

友達にマンガについて聞かれたときに、知っているストーリーを紹介するという設定です。イラストの友達の質問は「マンガを読みますか？」だけですが、聞き手の方も、話の展開に合わせて、「どんな話ですか?」「へー、じゃあ、小説はどうですか?」など適当に質問し、できるだけ自然な談話になるようにしてください。Can-do チェックでは、順番を考えて話せたかどうか振り返ります。

## PART4 読んでわかる「マンガばかり読んでいて・・・」

**Can-do 29** インターネットの相談サイトなどの投稿を読んで、相談の内容とそれに対するコメントがだいたい理解できる。

インターネットには、悩みや困ったことがある人が相談を投稿し、それを読んだ人が自由にコメントを書き込むというサイトがあります。たとえば、日本には、「発言小町」や「Yahoo!知恵袋」などの相談サイトがあります。相談サイトは、個人的な体験や意見を書くものなので、コメントの内容や視点は人によってさまざまで、とてもおもしろいです。

ここでは、相談サイトに投稿された相談とそれに対するコメントを読んで、相談の内容と、コメントに含まれる意見の違いを理解することを目指します。これをきっかけに、相談サイトで自分の興味のあるトピックについて読んでみるのも楽しいでしょう。

● 読むまえに (P144)

この素材で取り上げる相談が「マンガばかり読んでいて、文学作品を読まない娘」に関することなので、それについての考えを出し合います。マンガは役に立たない、文学作品を読んだほうがよい、マンガだからくだらないと考えるのはおかしい、大人でもマンガは読む…など、いろいろな観点からの意見が出ると思います。これらが、これから読む相談の内容やコメントの内容を理解するための背景知識の活性化につながります。

1 内容を理解する (P144-145)

(1) 1回目の読み: 相談の内容を把握する

「悩める母」さんの「そうだん」の部分を読みます。誰について心配しているのか、どんなことが問題だと言っているのか、だいたいの内容が把握できればいいです。

(2) 2回目の読み: 相談の内容を整理する

教科書の①-⑥の文は、相談の内容を整理して箇条書きにしたものです。( )の中に入ることばを考えながら、相談のポイントを確認していきます。

◆では、「悩める母」さんの相談のポイントがわかったら、それについてどう思うか自由に考えてみます。①-⑥のポイント別に、問題だ/問題ではない、なぜそう思うかを言わせてみるといいでしょう。

なお、コメントの部分は、次のストラテジーのところを読みます。

\*『こころ』: 夏目漱石(1867-1916)の代表作のひとつ。1914年(大正3年)に『朝日新聞』に連載されたものが元になっている。ストーリーの時代背景は明治で、大学生の「私」(=語り手)が、夏休みに偶然に知り合った「先生」から、後に、遺書という形で「先生」の過去を聞かされる。そこには、「お嬢さん」(=「先生」の奥さん)をめぐる「先生」と友人「K」の心の葛藤が描かれていた。人間の深いところにあるエゴイズムと、人間としての倫理観との葛藤を描いた小説で、今でも高校の

多くの「現代国語」の教科書の素材になっている。『こころ』には、「マンガ」版(145 ページのマンガの表紙、一番左参照)がいくつか出ており、ここでは、本文にある「悩める母」さんの娘も、原作の代わりにそれを読んで済ませたという設定になっている。

## 2 読むためのストラテジー (P145)

相談についてのコメントなどの意見文では、最初の一文から書き手の考えや立場が伝わってくる場合があります。そこで、ここでは、最初の文を読んで続きを予測するというストラテジーの練習をします。

### (1) 相談に対する4人のコメントを予測しながら読む

「通りすがり」さん、「Mangafan」さん、「冬目漱石」さん、「まりよ」さんの4人のコメントを読んで、4人がどの観点(上の①-⑥)からどう言っているかを把握します。ここでは、ストラテジーを使って、はじめの一文だけをまず読み、続きを予測するという読み方をしてみます。

例になっている「通りすがり」さんの場合、「マンガの内容が浅いと書いていますが、マンガを実際に読んだことがあるのでしょうか？」という最初の文から、この人が「マンガの内容は浅い」という意見に反対しているだろうということが予測できます。続く文では、<sup>てつかおさむ</sup>手塚治虫のマンガを例に、「文学作品に劣らぬ深い内容…」と書かれており、予測が当たっていたことがわかります。ほかの3人のコメントに関しても同じような読み方をしてみます。ポイントは、次のとおりです。

- ・「Mangafan」さん:「宿題の『こころ』を漫画で…笑ってしまいました。」という最初の文から、それを肯定的にとらえていること、すなわち、マンガに対して批判的ではないことが予測できると思います。そして、続きの「頭のいい娘さんじゃないですか。…漫画の方がわかりやすいですからね。」から、それが確かめられます。なお、「相対性理論」とは、アインシュタインが唱えた理論のことで、ここでは、日本史、ビジネスマナーなどと並んで、複雑でちょっと読んだだけでは理解できそうもないものの例として出されていることがポイントです。『相対性理論』の漫画版の表紙は、135 ページ(一番右)を参照してください。
- ・「冬目漱石」さん:「村上春樹などは今の高校生にもよく読まれているようですよ。」から、マンガを読む高校生だって小説は読むという意見が予測できるでしょう。そして、続きの「いま話題になっている小説をさりげなくリビングに置いて、…」から、その立場が確認できます。
- ・「まりよ」さん:「悩める母さんは、マンガは子どもが読むもの、と思っているんですね。」とあるので、マンガは子どもが読むものとは限らないというコメントであることが予測できます。続く、「でも、それは違いますよ。幅広い世代を対象に、いろいろなジャンルのマンガがあります。」から、そのことが確かめられます。

このような読み方ができると、すばやく筆者の主張が読み取れるようになります。ここは練習なので、予測が外れてもかまいません。いろいろなものを読んでいくうちに、少しずつ、このようなストラテジーが身についていくでしょう。

## (2) コメントに合うタイトルを選ぶ

4 人のコメントの内容を理解しているかを確認するための活動です。タイトルを選んだあと、もう一度、コメントに書いてある内容を確認するといいいでしょう。

\*『火の鳥』: <sup>てづかおさむ</sup>手塚治虫(1928-1989)のマンガ作品(145 ページ真ん中にある表紙を参照)。火の鳥(不死鳥)を中心に、いくつかの独立したストーリーから成り立つ。「火の鳥」の血を飲めば永遠の命を得られるという設定で、主人公たちはその火の鳥と関わりながら運命に翻弄される。手塚治虫がライフワークとした作品で、古代から未来まで、地球や宇宙を舞台に、生命の本質や人間の業が壮大なスケールで描かれている。

\*<sup>むらかみはるき</sup>村上春樹(1949-) : 日本の作家。『ノルウェイの森』、『羊をめぐる冒険』、『海辺のカフカ』、『1Q84』などベストセラーが多数あり読者層も広いことから、ここでは、「高校生によく読まれている」ものの例として引用されている。

**3** 読んだあとで (P145)

4 人のコメントに対してどう考えるかを話します。4 人のコメントをより深く理解したり考えたりできるようになることがねらいです。いろいろなやり方がありますが、気になるコメントを一つ選んで、自分も同じように思うか、それとも違った意見か、それはどうしてか話させるといいでしょう。知っているほかの例や、自分の体験などと比べさせると、話が発展すると思われま。

**4** 読むのに役立つ文法・文型 (P146)**1** V てすませる (P146)

本来ならすべきことの代わりに、何かほかのことをしてしたことにすることを意味します。読解文中の「学校で漱石の『こころ』を読む宿題が出たそうなのですが、マンガ版を読んですませたようです。」は、「本来なら、小説の『こころ』を読むべきなのに、その代わりにマンガ版を読んで小説を読んだことにした」というニュアンスで使われています。

例文の「買わないで」「自分で調べないで」などのように、本来すべきことが「V ないで」で示されている場合もあります。

**2** N に劣らぬ/N に劣らない (P146)

「N と同じぐらいの(価値がある)」という意味を表します。本文の「手塚治虫の『火の鳥』など、文学作品に劣らぬ深い内容だと思えますが。」からは、書き手がマンガを内容の面で高く評価していることがわかります。

例文は、「プロのマンガ家が描くのと同じぐらいすばらしい絵」、「大ヒットした前の作品と同じぐらいおもしろい内容」という意味になります。

なお、「劣らぬ」の「ぬ」は否定打消しを示す「ない」の古い形です。そのため、「～に劣らぬ」は、どちらかという書きことばで使われる固い表現です。

### ③ V ずに (P146)

「V ないで」と同じ意味ですが、書きことばでよく使われます。一般的に期待されていることや前提となることをしないでという意味が含まれています。「～ずに」の前に来る動詞の形は、「ない形」から作られます(例: 読まない⇒読まずに、食べない⇒食べずに、乗らない⇒乗らずに)が、「する」だけは例外で、「しずに」ではなく「せずに」となります。

### ④ V たらどうでしょうか (P146)

相手に提案するときを使う表現です。「V たらどうですか」よりも、丁寧な表現になります。本文で出てくる「すすめてみたらどうでしょうか」は、「てみる」(試しにする)という表現が加わっていて、さらに婉曲的な表現になっています。

最後の例文の( )の中には、いろいろな答えが考えられます。解答例は「(宿題をしなかったら、マンガを捨てる)と言ってみたらどうでしょうか」ですが、「マンガを捨てたらどうでしょうか」などのように、簡単な文でもかまいません。

## 漢字のことば 漢字の整理 (P146)

「相談サイト」の中に出てきた漢字です。これらのことばが本文のどこに出てきたかを確認し、読み方、意味を確かめたあと、キーボードで入力するなどの練習をしましょう。

### ◆ 漢字を手がかりにことばを増やしたり整理したりする

「浅い」「深い」のように、い形容詞の漢字を本文からさがして書きます。「貧しくなる」「古いのでしょうか」「面白かったよ」といった文の中で、「貧しい」「古い」「面白い」という「い形容詞」が使われていることがわかります。

ここでは、漢字とともに、その送り仮名「貧しい」「古い」「面白い」にも注目します。い形容詞の送り仮名は、「浅い」「古い」「広い」のように活用語尾につけるのが基本的なルールですが、「貧しい」「楽しい」「新しい」のように「しい」で終わるものは「し」からつけます。ただし、「明るい」「少ない」のように例外もありますので、注意が必要です。

ほかにも知っている「い形容詞」を漢字で書き、送り仮名についても確認しておきましょう。送り仮名の確認には、キーボードで入力させてみるとわかりやすいです。

## PART5 書く「悩める母」さんへ

**Can-do 30** インターネットの相談サイトなどの投稿に対して、自分のコメントを簡単に書くことができる。

ここでは、PART 4 で読んだ相談サイトに自分でもコメントを書くという場面を設定しました。相談内容を読んでコメントしたいことがあるとき、自分が言いたいことを整理して簡単に書くことができるようになることを目指します。相談サイトのコメントページは誰でも書き込むことができるので、実際に、自分の経験を踏まえたコメントを投稿してみることもできるでしょう。

### 1 書く (P147)

#### (1) 書くための準備

コメントする相談の内容は、PART4 の「悩める母」さんの投稿の内容です。ここで改めて、相談の内容に対して、自分はどうかを整理します。①から⑤の相談内容のポイントについて、「そう思う」「そう思わない」「その他」のいずれかにチェックをしてから、特に、その中で自分が言いたいことは何か考えます。そのときに、そう思う理由や、それを相手に説明する具体的な例を考えるようにします。

#### (2) コメントを書く

実際にコメントを書きます。書いたあとで、友達に読んでもらう(2)の活動がある)ことを先に伝えておくといいでしょう。ここでは実際の相談サイトの仕様に習って、500字という字数の制限を設定してあります。最初に、自分の意見を書き、それからそう思う理由や、説明するための具体的な例を書くようにするといいでしょう。

なお、ここでは、まとまった意見文を書いたり、論説文を書いたりするわけではないので、自分の体験や家族や友人のことなど身近な例を挙げて、相手に言いたいことが簡単に伝えられることがねらいです。

### 2 書いたあとで (P147)

クラスで、お互いの書いたものを読み合います。最後に、いちばんいいと思うコメントを選びます。「ベストアンサー」というのは、相談した人が「この人の答えがもっとも役に立った」というコメントを選んで贈るもので、相談サイトによく使われるシステムです。いいコメントを選ぶポイントとして、学習記録シートのチェック項目「言いたいことのポイントを示して書くことができたか」「自分の意見や考えを、理由や例を示しながら書くことができたか」を意識させるといいでしょう。

## 教室の外へ

### わたしだけのフリース (P148)

好きなマンガの日本語でのタイトル、マンガを読まない理由を言うときの表現、面白くて使ってみたいと思ったオノマトペなど、自由にメモしてください。

### 教室の外の活動のアイデア

#### ①

マンガの電子書籍版を売っているサイト、たとえば Amazon や ebookjapan などでは、「立ち読み」「なか見検索(Look inside)」などの機能があり、マンガの一部が WEB 上で読めるようになっています。準備と PART 2 に出てきた「ワンピース」も、一部を読むことができます。ebookjapan では「ワンピース」の第一話をすべて読むことができますし、Amazon では各国の Amazon で各国語版に訳されたものを読むことができます。日本語で読んでもいいでしょうし、現地語で読んでもかまいません。マンガを読んだことがない人、「ワンピース」を読んだことがない人は、実際に読んでみることで、より深く理解することができます。それぞれが実際に読んだあと、クラスで感想を話し合ったりする活動につなげてもいいかもしれません。「ワンピース」だけでなく、ほかのマンガを読んでもいいでしょう。このトピックを通じて、これまでマンガを読んだことがない人がマンガに接するきっかけになったり、これまで現地の翻訳版しか読んだことがなかった人が日本語で読んでみるきっかけになったりするれば理想的です。

なお、インターネット上にはファンがマンガをスキャンしたり、自主的に翻訳したりしたサイトもあり、探せばそのようなサイトでもマンガに接することができます。ただし、そのほとんどは著作権的に問題がありますから、クラスで取り上げる場合などは注意が必要です。

#### ②

国際交流基金の制作した 3 つのサイトを紹介します。「アニメ・マンガの日本語」は、マンガによく使われることばや漢字、オノマトペなどがゲーム感覚で練習できたり、キャラクターによる話し方の違いを聞いたりすることができます。マンガが好きな学習者にはぜひ勧めてください。「エリンが挑戦！ にほんごできます。」は第 21 課の「余暇」のトピックの一部として、「見てみよう」コーナーの文化クイズに「マンガ・アニメクイズ」があります。アニメやマンガにくわしい学生がいたら、挑戦させると面白いかもしれません。「ひろがる もっといろんな日本と日本語」にも「アニメ・マンガ」マンガのトピックがあり、漫画家やアニメファンへのインタビュー動画や、コスプレをする人、声優の学校に通う人などの記事があります。

## 3

マンガが好きな人に「おすすめのマンガ」を聞いたり、マンガについての考えを聞いたりしながら、より深い理解につなげます。日本語を使うのが理想的ですが、現地語で情報交換してもかまいません。日本人にインタビューしてみると、日本人のよく知っているマンガは自国でよく知られているマンガとはだいぶ違っていたり、また日本人でもマンガを読まない人も多いことがわかったりなど、いろいろな発見があるかもしれません。

## 4

紙媒体のマンガを実際に読んでみる活動です。基金の海外センターや日本クラブなどのように、海外の図書館で日本語の本を置いている場合、日本のマンガもあるかもしれません。日本語のものをそのまま置いている場合も、現地語に翻訳されたものを置いている場合もあるでしょう。どこで日本語のマンガが読めるか、教師が情報提供したり、クラスの中で情報交換したりするといいかもかもしれません。本屋に売られているマンガは、おそらく現地語訳のものだと思います。どちらでもかまいません。教科書で学んだことが、教室の外での実際の活動につながることで実感できると思います。

また本屋には、自分の国のマンガや外国のマンガも売られているかもしれません。日本のマンガとくらべてどのような違いがあるかなどを考えてみてもいいでしょう。

マンガは、日本語学習のうえでも、さまざまなメリットがあります。絵があることによって、場面と言語を結びつけやすい、自然な話しことばに接する機会となる、ふりがなが振ってあるものも多く読みやすい、現地語の翻訳版があることが多いので比較しながら読める、すでに知っているマンガを日本語で読めば理解しやすいインプットになる、などです。興味がない人に無理に勧める必要はありませんが、こうした利点も積極的に紹介し、マンガを通じた日本語学習へのモチベーションにつなげられるとよいでしょう。

## トピック7 武道に挑戦！

伝統文化のひとつとして、日本の武道を取り上げます。あまりよく知らないことについても積極的に情報を得たり、逆に知らない人にわかりやすく情報を伝えたりできるようになることを目指します。また、日本の武道のように、それぞれの国の伝統に根ざしたものが国を越えて広まっていくときの問題点についても考える機会になればいいと思い、このトピックを取り上げました。

### ◎ 扉／準備

#### ● トピックについての質問 (P149)

扉の合気道(上)、空手教室(中)、剣道(下)の写真を見ながら、日本の武道について知っていることやイメージすることを、自由に話し合います。クラスに武道を習ったことがある人がいたら、知っていることを紹介してもらってもいいでしょう。

なお、「武道」は、ここでは柔道、剣道、合気道、弓道、なぎなたなどのように、日本の伝統的な武術を指すことばとして使っています。それに対して、海外のものは武術・格闘技(Martial Arts)と呼んで区別していますが、分類が目的ではないので、あまり気にしないようにしてください。

#### 1 写真やレアリアを見る (P150)

いろいろな武術や格闘技などの写真を載せてあります。くわしいルールがわからなくても、写真を見ていると、動作や技に共通点があることに気づくと思います。質問は動作に関する動詞を選ぶことですが、ほかにも気づいたことや知っていることがあったら、自由に話してみるといいでしょう。そして、武道や武術についてあまり知らない人も、イメージを膨らませられるといいと思います。

#### 文化 文化について考える (P150)

自分の国の武術や格闘技について、1 の写真をヒントに考えます。たとえば、オリンピック競技種目になっているもの、プロスポーツとして盛んなもの、学校での教育活動に取り入れられているもの、男性／女性しかしないものなど、現在はあまり行われていないものなど、いろいろなケースがあると思います。また、武術や格闘技はあまり盛んではない国や地域もあるかもしれません。それはなぜかについても考えてみると、おもしろいでしょう。

#### 2 語彙や表現の確認 (P151)

武道について話すときに使いそうな表現を中心に取り上げています。①「身を守る」、②「体力がつく」、④「体を鍛える」のように、セットにして理解します。

「(私は)子どもにテコンドーを習わせている」(使役)、「(私は)柔道をやらされた」(使役受身)では、武道をしているのは誰かを確認してください。使役、使役受身は、トピック 3(P83-84)で勉強しましたが、いろいろな文脈で用例に触れることで、だんだんと使い方がわかってくると思います。

日本では、柔道、剣道、合気道などの武道は、各地に道場があり、子どもからお年寄りまで誰でも習うことができ、生涯スポーツになっています。また、最後の文は、柔道を高校の体育の授業で習った人の例ですが、日本では、現在、中学校の体育で武道が必修になっています。

#### ◆ 赤字の言い方に注目しましょう

「昔のことについて話している」のは、「～をやったことがあります」「～をやらされました」の二つです。どちらも、今はそれをやっていない場合に使われます。

「(最近、)～を始めました」の「始めた」のは過去ですが、今もそれをやっているときに使うということに注意してください。

### 3 その他の活動 (P151)

海外の武道クラスの案内の例として、合気道クラブのポスターを取り上げました。このような案内に掲載されている情報(クラスの種類、練習の場所、曜日や時間、連絡先)はだいたい共通しているので、それに気づくことが目的です。「成人」「初心者」「経験者」「連絡先」などの漢字は、見て意味がわかるか確認します。「初心者大歓迎!」「国籍を問いません」は、どんな意味か、確認するまえに推測させてみるといいでしょう。

◆このクラブでは、「小学生クラス」はレベル分けがありませんが、「成人クラス」は、初心者と経験者が分かれて練習することになっています。ですから、大人になって始める人は、土日の9:30からのクラスに行くことになります。

## PART1 聞いてわかる「私は柔道をやっています」

**Can-do 31** 武道やスポーツの説明を聞いて、魅力や特徴などが理解できる。

日本以外の国でも、日本の武道に興味を持ったり、習いに行ったりする人が増えているようです。実際に何かを始めようかと思ったとき、身近に実際にやっている人がいれば、生の声を聞いてみたいと思う場合がよくあると思います。ここでは、武道を例にして、興味を持ったスポーツの特徴や魅力について情報収集ができるようになることを目指します。

### 場面・設定の確認

イラストの女性(日本以外の国に住んでいる)が、武道をやっている現地の日本人に、どんな武道をやっているか質問している場面です。女性は、別々の場面で4人の日本人に質問します。ここでは、この女性の立場に立って、やってみるなら、どの武道がよさそうかを考えることが目的です。

#### ● 聞くまえに (P152)

空手、柔道、合気道、剣道の4つから、やってみたい／体験してみたいものがあるかどうか、それはどうしてかななどを簡単に話してみます。自分に引き付けて考えることで、「難しくないかな？ 誰でもできるのかな？ 道具はどうするのか？」など、いろいろと疑問がわくでしょう。そう考えることが、このあとの**1**で内容理解するときの背景知識の活性化につながります。

なお、4つの武道についてよく知らないという設定なので、特にくわしい知識は必要ありません。イラストだけではなく、扉／準備のページの写真を思い出してみるといいでしょう。

#### **1** 内容を段階的に理解する (P152)

それぞれの武道のいいところを聞き取り、あとで比較します。

##### (1) 1回目の聞き: 基本的な情報を理解する

ここでは、練習にはどんな人が来ているのかを聞き取ります。設定は海外なので、選択肢に「現地の人」が入っている点を確認してください。

##### (2) 2回目の聞き: それぞれの武道の魅力のポイントを聞き取る

この段階では、それぞれの人がどんなところがいいと言っているか、キーワードに注目する聞き方をします。同じキーワードが2回使われる場合もあるので、注意してください。(1)で一度聞いているので、予測してから聞いてみるでもいいでしょう。

##### (3) 3回目の聞き: それぞれの武道の魅力を理解する

(2)で選んだキーワードをヒントにして、それぞれの武道の魅力についてどう説明しているかを聞き取ります。ディクテーションではなく、内容を聞き取ることが目的なので、メモはポイントだけでよく、母語でもかまいません。

- ◆ ペアやグループでわかったことを話します。このとき、(1)のメモを見ながら、どんな人が練習に参加していて、どんなところがいいと言っているか話せるといいでしょう。また、メモをしなからなかった点については、もう一度音声を聞きながら、クラス全体で確認してもいいでしょう。

## 2 聞くためのストラテジー (P153)

相手の話の内容を確認しながら聞くストラテジーです。トピック6のストラテジーと似ていますが、トピック6は「ことばの意味」の確認だったのに対して、ここでは「情報の内容」の確認が目的です。

情報を確認するストラテジーのうち、「次の練習は土曜日です。」「土曜日ですね。」のように簡単なものは、すでにできる学習者が多いと思われます。ここでは、B1 レベルなので、確認する情報の内容が少し複雑になり、確認する範囲も広がります。たとえば、「道場には、子供からお年寄りまで、たくさんの方が来ていますよ。ほとんどが現地の人で、日本人は私と、あと二人ぐらいかな。」「へー、現地の人が多いんですね。」のような言い方です。「聞き返し」のストラテジーと共にこのストラテジーが使えるようになると便利です。

### (1) ストラテジーの使い方を理解する

「①山中さん」「②中込さん」の会話からストラテジーが使われている箇所を聞いて、どのような情報を、どのように確認しているか確認します。確認は、相手の話の切れ目で行うようにします。

### (2) ストラテジーを練習する

「③石井さん」の会話を使って練習します。先に教科書の(★ )の箇所を見て、自分ならどう言うかを考えさせてから、音声を聞いてやってみます。

- ◆ 例を聞いてみますが、他の確認のしかた(言い方)があってもかまいません。

### (3) ストラテジーを使ってみる

ペアになって、一人が「④篠崎さん」のスクリプトを読み、もう一人は、スクリプトを見ないで、大切だと思ったところで確認します。ポイントは「自分が大切だな」と思ったところで確認することなので、人によって確認するところや言い方が違ってかまいません。

(例) 日本クラブのサークルでやっています。でも、日本人だけじゃなくて、剣道に興味がある人なら、誰でも歓迎ですよ。現地の人もけっこう来ています。(誰でも大丈夫なんですね)。…剣道は特に集中力が大切なので、精神的に鍛えられますよ。(集中力がつくんですね。)あと、姿勢も良くなると思います。防具とか竹刀と、必要な道具が多いのが大変ですけど、最初はクラブで貸してくれますよ。(ああ、買わなくてもいいんですね。)

実際にやってみると、なかなかうまく言えないことに気づくかもしれません。ことばで確認するためには、相手が言ったことを本当に理解していなくてはならないからです。また、「誰でも大丈夫なんですね」と言えなくても「ああ、誰でも」と大切だと思ったことばを単純に繰り返すだけでもかまいません。とりあえず、話についていっていることを示すときは「そうですか」を使うことができます。ただ

し、わからないことがあるのに「そうですか」を使うと、相手はどんどん話を進めていってしまうので、注意が必要です。

### 3 聞いた内容についてコメントや感想を言う (P153)

4 つの中で興味を持ったものがあるか、どんなところがいいと思ったのか、自由に話してみます。武道のようなスポーツは嫌いという人は、それはそれがかまいません。また、話を聞いただけではよくわからなかった点や、質問したいと思った点についても考えてみると、PART 2 の活動につながりやすいでしょう。

### ■ 聞いたことをまとめる (P153)

助詞の穴埋め練習です。巻末に解答例(P243)がありますが、文脈によっては次のように解答が複数になります。

- ・(2) 体(も)精神(も)強くなっていく／体(と)精神(が)～／体(や)精神(が)～
- ・(3) 試合がない(の)(で)／試合がない(か)(ら)
- ・(4) 姿勢(も)良くなる／姿勢(が)良くなる クラブ(で)貸してくれる／クラブ(が)貸してくれる

助詞に注目した練習はこのトピックだけですが、中級レベルになっても助詞の間違いは残りますので、たまには、このような練習をしてみてもいいでしょう。練習するときは、なるべく短文ではなく、まとまりのある文章を使う方が、実際の産出につながりやすいのでいいと思います。

なお、初級ではあまり出てこない助詞の用法については、以下のとおりです。ただ、文脈の中で意味が理解できるようであれば、特に詳細な説明は必要ないでしょう。学習者がまとまった情報を必要としている場合は、適当な参考書を紹介したり、ネットで検索させたりすることもできます。

- ・子どもから、お年寄りまで、たくさんの人が道場に通っている

「～から～まで」は時間や場所以外にも用いることができる。「ゆりかごから墓場まで」「何から何まで」もこの用法。

- ・合気道は試合がないので、自分のペースでできる。

「で」は「動作の状態」を表している。ほかには「はだしで歩く」などがある。

## PART2 会話する「練習は何曜日にあるんでしょうか？」

**Can-do 32** 武道などのクラスの受講方法や規則などについて、質問したり、説明を聞いて理解したりすることができる。

武道のクラスなど、受講前にいろいろ質問をして、情報を取るための会話を練習します。トピックに準じてここでは合気道の道場での会話になっていますが、目標となる Can-do は、料理や生け花のような日本関連のクラスなど、他の場面でのさまざまな問い合わせにも応用できます。B1 レベルなので、単なる一問一答の Q&A にとどまることなく、相手の答えを聞いて、それに対して考えを言ったり自分の事情を話したりして話を発展させながら、ある程度まとまりのある話ができることを目指します。

### ● 会話するまえに (P154)

会話の準備として、実際に自国で日本のものを習っている人がいるかどうかを聞きます。もしクラスの中に何か習っている人がいる場合は、どこで習っているか、先生はどんな人か、どんな人が習いに来ているかなどを話してもらおうとよいでしょう。

会話の設定は、合気道に興味があるリサさんが、ロサンゼルスで長年合気道を教えている大関先生の道場に見学に来たという場面です。海外の道場であれば、現地の人を対象にしており、先生も現地語で対応できることが普通だと思います。実際には海外で武道を教える先生は、日本人ではなく現地の人であることも多いでしょう。そのため、こうした会話は現地のことばで行われることが多いと思われそうですが、ここではリサさんが、日本人の大関先生とあえて日本語で話しかけて、日本語で話しかけている設定になっています。二人が事前に電話で日本語で会話していたことが、最初の3行から読み取れると思います。

### 1 会話の内容を理解する (P154)

スクリプトを見ないで会話を聞きます。会話のポイントとしては、リサさんが、練習の服装と練習時間のことについて聞いていたということがわかり、また最後には合気道を習うことにしたという内容を理解すれば、ここでの目的は達成です。リサさんの質問に大関先生がどう答えたかのような、細かい情報を聞き取る必要はありません(あとでスクリプトを見ながら確認します)。

### 2 ことばの形式に注目する (P154)

( )の中に入る表現のうち、①の「使役形＋ていただきます」は、「見学する」のは誰かという動作主を考えると、意味を推測しやすいかも知れません。②の「～ことになっています」は、「買ってもらいます」と「買ってもらうことになっています」がどう違うか、考えます。③④の「～んでしょうか」は、文の意味はすぐにわかると思います。いずれもここではリサさんが大関先生に丁寧なことばで話していることに注目させます。

合気道の話は PART 1 (P152-153)にも出てきましたが、学習者が合気道について全く知らない場合は YouTube などを使って、合気道の練習風景の動画などを見せるとイメージがわくでしょう。なお、「袴」は柔道や空手にはない、合気道に特徴的なスタイルです。会話にあるように、一般的には有段者(初段以上)からつけますが、道場によっては女性のみ、初心者の段階からつけることもあります。袴は「つける」または「はく」のどちらも使いますが、「袴をつける」のほうが正式な言い方であるとされているようです(「袴を着る」は間違い)。このほか、「段」や「級」の認定制度、帯の色についても、スクリプトを見る際に必要に応じて以下のような説明を補ってください。

- \* 入門段階では「級」で、7 級→6 級のように、上達するに従って数字が減っていく。
- \* 1 級の後に審査を受けて合格すると「初段」になり、ある程度基礎は修めたと思なされる。
- \* 「初段」になると「黒帯」が与えられる。
- \* 初段の後は二段→三段のように、上達するほど数字が増えていく。

### 3 会話に役立つ文法・文型 (P155)

先生などに対して丁寧に言う表現や、丁寧に質問する表現を中心に、練習します。

#### ① V(さ)せていただく (P155-156)

使役形を使った表現です。使役形はトピック3で出てきましたので、作り方を復習しておくといでしょう。トピック 3(P83)では「V(さ)せてください」という許可を求める表現を扱いましたが、ここでは自分がこれから行う動作を自分が行うことを宣言する「V(さ)せていただきます」の表現を練習します。自分の動作につけて使うのがポイントになります。【 】の中がシチュエーションになっていますので、まずこれを読み、場面を想像してから行うようにしてください。

「読ませていただきます」「帰らせていただきます」のように、特に相手の許可を必要としない動作にまで使うのは間違いであるとみなす立場の人もいますが、実際には非常に広く使われている表現です。

またここでは、「丁寧に言う」ことを目標にしているため、謙譲表現の入らない「V(さ)せてもらう」については扱っていませんが、説明するときに触れてもよいでしょう。

#### ② V ことになっている (P156)

決まりについて説明する表現で、ここでは大関先生がリサさんへの説明の中で使っています。そのため、練習は自分で産出するのではなく、聞いて理解する練習になっています。

#### ③ ～んでしょうか (P156-157)

「ん」の入らない「～んでしょうか」は、トピック 2(P66)で練習しました。ここでは「～んでしょうか」を取り上げ、特に「説明を求める」ための表現として練習します。①と同様、【 】の中のシチュエーションを想像し、これについての説明を求めるという状況を理解した上で、( )の中を考えるように

してください。はじめは選択肢を見ないで何とさえいいか考え、そのあとで選択肢を見ながらことばを入れ、はじめに考えたことばとくらべてみると、より効果的でしょう。

#### 4 話すためのストラテジー (P157)

話すときに知らないことば、わからないことばがあるときのストラテジーは、これまでもいろいろ練習しました。トピック 2 (P67) では、知っているはずだけど名前が思い出せないことばについて、「あのう、何でしたっけ、上にかける、茶色い、魚の…」と、手がかりを言うことによって、相手に教えてもらうストラテジーでした。またトピック 5 (P121) では、「雨期」を「雨の季節」、「出張」を「仕事の旅行」のように、知らないことばを簡単なことばで言い換えるストラテジーでした。これに対してこのトピック 7 で練習するストラテジーは、知らないことばを「説明して言う」ストラテジーです。

ここで練習する「説明して言う」と、トピック 5 の「簡単なことばで言い換える」は、たとえば「道着」の場合なら、「練習のときに着る服」(説明して言う)と「練習の服」(簡単なことばで言い換える)のように、似た表現になることもあります。しかし、たとえば「剣道の面」であれば、「説明して言う」が「(剣道のとき) 頭にかぶるもの」、「簡単なことばで言い換える」なら「剣道のマスク」のような感じになり、違いがイメージできるでしょう。「簡単なことばで言い換える」場合のほうが、ネイティブなら言わない、やや拙い表現になることもあります。ただ、これらの違いは特に気にする必要はなく、知らないことばがあったときに別の言い方で言えるようになるのであれば、それがどちらのストラテジーであってもしかまいません。

#### 発音 発音の練習 (P157)

名詞のアクセントについてはこれまでの練習で、名詞は単語ごとにアクセントが決まっていて、その場所は覚える必要があるということを学びました。ここでは、複合語のアクセントを練習します。複合語のアクセントのポイントとしては、1. 複合語になると、もとの(それぞれの)単語のアクセントからは、アクセントの位置が変化する。2. 複合語のアクセントは、後ろのことばが同じ時は、アクセントも同じになる、という点です。例のことばの場合、たとえば「柔道」「大会」を単独で言う場合と「柔道大会」と複合語になったときではアクセントが違うことに注意したり、「～曜日」「～大会」は前に来ることばが変わっても、全て同じアクセントで発音されたりすることに気づかせます。

#### 5 ロールプレイ (P158)

会話のうち、リサさんの発話部分に注目します。(1) ははじめに①で、**A**「練習のときに着る服について」と **B**「練習する曜日のこと」について質問しているのだということを確認します。そのあと②を考えることで、リサさんは単に一問一答をしているのではなく、相手の答えを聞いてそれに対して自分の考えや自分の事情を話したり、また相手の答えを聞いてさらに質問したりしながら、まとまりのある会話を作っているのだということに気づかせます。これを踏まえて(2)では、単に一問一答の会話をするだけでなく、相手の答えを聞いて反応を返しながら会話を膨らませていくような、B1 らしい会話ができることを目指します。

(2)①では合気道クラスについて話しますので、モデル会話を思い出しながら、練習時間やクラス編成、必要な道具などについて、質問するとよいでしょう。「準備」の3 (P151)のチラシを使って行う場合、たとえば「土日は難しい」「初心者だが午後の方がいい」など自分の事情をいろいろ言えると思います。

②は武道以外のさまざまなクラスを想定して自由にロールプレイをします。できるだけ、学生が現実に習いに行く可能性がありそうなクラスにするといいでしょう。質問する方も答える方も、設定を頭の中で考えながら自由に質問と答えを進めればそれで十分ですが、教師がいろいろなクラスのチラシを用意し、これを使いながら行うという方法もあるでしょう。

## PART3 長く話す「子どものころ、学校で習いました」

**Can-do 33** 自分の国のスポーツについて、特徴ややり方などを、わかりやすく説明できる。

ここでは、日本の武道からそれぞれの国の伝統的なスポーツへと話題を広げます。相手に聞かれたときに、相手が知っている場合も、知らない場合も、それによって、話す内容やポイントを変えて説明できるようになることを目指します。聞き手を意識しながらコミュニケーションできるようになるといいでしょう。

## ● 話すまえに (P159)

自国のスポーツについて、伝統的なものがあるか、人気があるのは何かなど、自由に話し合ってみます。

## 1 モデル会話を聞く (P159)

友達の家を集まって、テレビのスポーツ中継を見ています。イラスト、吹き出しの内容から、バスケットボールの試合を見終わったあと、それがきっかけで、スポーツの話になった場面であることを確認します。

質問①～④の内容を確認してから、会話例を聞きます。③に関する「素手でやることも、棒やナイフなどを使うこともあります」の「素手」ということばは聞いたことがない人が多いと思います。「ナイフ」はわかるでしょうから、文脈から「素手でやる」の意味を推測させてみるといいでしょう。

なお、アーニスの戦い方については、ことばの説明だけではよくわからないと思います。次の 160 ページにアーニスの武器と練習の様子の写真があるので、理解の参考にしてください。

## 2 表現の確認 (P159)

「スポーツの名前を言う」「特徴ややり方を説明する」「起源や歴史を話す」「生活や自分との関係話す」の4つに分けて、スポーツについて話すときに使える表現を整理してあります。話の流れの順になっていますが、空所が多いので、会話例をもう一度聞くまえに、全体に目を通す時間を設けてください。

- ②「アーニスはエスクリマとか、カリとか(呼ばれる)ことがあります」:一つに限定する場合は「〜と呼ばれる」となります。
- ③「フェンシングに似ている」、④「素手でやる」:助詞を確認してください。
- ⑦「アーニスは、スペイン人が来ると、ヨーロッパのフェンシングと交ざって、…」:「〜と」の用法は、トピック3 PART 4(P92)で紹介した「会場に行くと、お客さんの幅が広がってびっくりしました」と同じで、前のことがらがきっかけとなって、後のことが起こったことを示しています。出来事を描写するときによく使われる便利な表現です。
- 「生活や自分との関係話す」ための言い方はいろいろありますので、ほかにも、クラスで思いつづものがあつたら、いっしょにまとめてください。

また、ここでは、空所にしてありませんが、「アーニスはエスクリマと呼ばれることがあります」「素手でやることも、棒やナイフなどを使うこともあります」の「～ことがある」は、いろいろな場合があることを示す便利な表現で、トピック 3 PART 2 (P85) で取り上げました。確認しておいてください。

### 3 モデル会話の確認とシャドーイング (P160)

ここでは、松井さんはアーニスを知らないということが前提になっているので、やり方を説明していますが、その際、「フェンシングに似ているんですが」と身近なものと比較することによって、説明をわかりやすくしています。「武器を持った相手の攻撃をよけて、その武器を使えなくする技」は説明を聞いても実際に見てみないとよくわからないでしょうから、気にする必要はありません。単に、やり方を説明するだけでなく、自分の体験などを加えることによって、このスポーツの特徴を上手く説明している点にも注目するといいいでしょう。

#### ◆ シャドーイング

アーニスの特徴・やり方、起源・歴史についての説明部分をシャドーイングします。

### 4 再話する

自国の武術やスポーツについて話すための練習として、ここでは、フィリピンの「アーニス」を例に使って話します。情報メモは 3 枚あります。①-③は、アーニスについて別々の観点からの情報を述べているので、接続表現を使う必要はありません。情報カードを見て、自分がアーニスについて説明するつもりになってやらせてみるといいいでしょう。いつものように、終わったあとで、2 の表現のうちどれが使えたか、どれが使えなかったかを確認し、使えなかったものをもう一度練習してみます。

### 5 自分のことを話す (P161)

#### (1) 話したい内容を整理する

それぞれの国の武術やスポーツについて話します。ここでは、「伝統的なスポーツって何かありますか？」と友人に聞かれたという設定になっていますが、伝統的なスポーツがなかったり、それについてあまり知らなかったりする場合でも、ほかのスポーツについて話せばいいでしょう。

説明内容としては、①特徴・やり方 ②起源・歴史 ③生活や自分との関係の 3 つですが、サッカーのような誰でも知っていそうなスポーツであれば、①「やり方」を説明する必要はありません。その代わりに、①「特徴」として、たとえば、どのくらい人気があるかとか、どんなリーグがあるかなどを話すといいかもかもしれません。また、②「起源・歴史」についても、「昔からある、最近人気がある、～から伝わった」のように、だいたいのがわかればよく、百科事典的な説明は必要ありません。取り上げるスポーツによって、説明の内容を工夫させてください。

## (2) 話す

クラスの練習では、同じスポーツを選ぶ場合もあると思いますが、その場合は、誰のどの話がわかりやすかったかなど、みんなで考えてみるといいでしょう。巻末の「学習記録シート」(P262) の評価のポイントも参考にしてください。

## PART4 読んでわかる「海外で広まる日本の武道」

**Can-do 34** 武道やスポーツに関する短いコラムを読んで、筆者の考えがだいたい理解できる。

インターネットには、いろいろな人が個人の意見を述べているコラムがあります。武道やスポーツについての議論もあり、人によって主張が異なります。こういうことを知ることも日本理解につながると思われまます。

ここでは、武道に関する簡単な意見文を読み、筆者の主張を理解することを目指します。また、このトピック7では、これまでとは違い、書きことばのスタイルで書かれた素材を扱います。こういうスタイルに慣れていくことも目的のひとつです。

なお、「中級 1」のPART4では、さまざまなジャンルのものを素材として取り入れることを重視しているため、論説文的な記事を読むのはこのトピックだけになります。スポーツ関係のコラムは身近な題材を扱ったものが多く、ネット上にも多くあります。こうした記事に興味がある学習者の場合には、ここでの活動が実際のものを読んでいくきっかけになるといいでしょう。

● 読むまえに (P162)

このコラムは、柔道に関する話なので、準備として、柔道を見たことがあるか、柔道についてどのようなことを知っているか、話し合っておきます。オリンピック種目なので、オリンピックのテレビ中継で見たことがある、映画に出てきた、マンガを読んだことがある、友達がやっているなど、断片的な話でもかまいません。知っていることをクラスで出し合って、柔道に関する知識を活性化させます。

1 内容を理解する (P162-163)

インターネット上のコラムサイトのスポーツの記事を読むという設定です。ここでは、全体を3つの部分に分け、段落構成に注意しながら読み進めていきます。

(1) タイトルを読む: コラム全体のテーマを予測する

コラムタイトルは、そのコラム全体のトピックを示しています。そこで、筆者が「海外に広まる武道」で何を述べようとしているのか予測します。ここでは、「日本の武道」が「海外に広まる」とどうなるか考えさせます。予測は、次の部分をより積極的に読むためですから、間違ふことは問題ありません。「有名になる、する人が増える、強い外国人が現れる、習える場所が増える、日本人が教えない、新しい技が生れるかもしれない…」など、自由に考えさせてください。「日本の武道」を「自分の国のスポーツ」に置き換えてもいいでしょう。出てきた意見はホワイトボードなどに書いておきます。

(2) **A** 導入部分を読む: コラムのテーマを理解する

1 段落目には、フランスの柔道人口が日本より多いこと、ブラジルの柔術が有名になったこと、合気道、空手、剣道も海外で行われていることに続いて、「形が変わってしまうことが多い」と書かれていることに注目させます。そして、これがこのコラムのテーマであることを確認します。

◆で(1)の予想が当たっていたか振り返りますが、このとき、ホワイトボードに書いてある点がかかれていたかどうかチェックするといいいでしょう。なぜ、このような練習をするかという、予測したり、自分の経験と照らし合わせたりしながら、より積極的な読み方ができるようになるためです。また、それに加え、わからない語彙や表現があっても、文全体を見て、どんな情報を伝えようとしているのか、意味に注目できるようにするためです。

(3) **B** 中身の部分を読む: テーマについての具体的な内容や筆者のコメントを理解する

**A** に続く 2 段落目には、「武道の形がどう変わったか」について、具体的に書かれているだろうと予測できます。ここでは、柔道が例になっていますが、形が変わった点を 3 つに分けて確認します。①体重別 ②ポイント制 ③柔道着の色 の 3 つに分けるのは、次の部分を理解しやすくするためです。

次に、その 3 つの変化についての筆者の考えを読み取ります。3 段落目、4 段落目のどの部分が、上の①②③と関係のあるのかに注目させるために、該当箇所に印をつけさせます。3 段落目の内容を読んでいくと、「柔道で最も大切なのは、…小さな者でも大きな者を倒せるという…の理念のほずである。」は「①体重別」に対する意見、「白い柔道着も…意味があった。」は「③柔道着の色」に対する意見であることがわかります。こうして読んでいくと、「②ポイント制」についての筆者の意見は、3 段落目には書かれていないことがわかります。そこで、4 段落目に注目すると、「…ポイントをかせぐ方法ばかりを考えたりすることは、武道ではない。…」に筆者の意見が述べられていることがわかります。このように、3 つの変化とそれに対応する筆者の意見を結び付けられることがポイントです。

どこに書かれているかが探せたら、もう一度その部分を読ませて、筆者の主張が何かを(言いたいこと)を考えさせます。①②③の変化をいいと思っているのか、よくないと思っているのか、という点から考えさせるとわかりやすいでしょう。

最後に、筆者の考えをまとめた  中の文を読んで、( ) に入ることばを考えます。これは筆者の主張の中で把握してほしいポイントが理解できているかどうかを確認するためです。

(4) まとめ部分を読む: 筆者の主張を理解する

最後の段落には、筆者のまとめとしてのコメントが書かれています。コラムの内容、筆者の主張が理解できていれば、武道とカリフォルニアロールとの共通点がわかるでしょう。

なお、カリフォルニアロール(教科書の写真参照)はアメリカで生まれた寿司ですが、海外では知られているものの、日本ではあまり一般的ではありません。

(5) コラム全体を読む: 筆者の主張を確認する

コラム全体を読んで、筆者が言いたいことは何か確認します。クラスで一緒に読んで、教師が難しい箇所は、少しやさしい日本語に置き換えて説明してもいいでしょう。なるべく、翻訳するのではなく、日本語で説明するようにしてください。筆者が、「武道が海外に広まる中で形が変わってしまうこ

とに対して疑問を投げかけている」ということがわかればよいです。最後に「難しい問題である」と書いてあるように、このコラムでは、疑問を示しつつもはっきりと結論は述べていません。

## 2 読むためのストラテジー (P163)

論説文の典型的な形式を紹介します。ここで取り上げたコラムが、「タイトル→テーマの導入→具体的な内容・事例と筆者のコメント→まとめ(筆者の意見・主張)」となっていたことを確認します。

筆者の主張は、たいてい最後の段落に書かれることが多いので、この部分に注目すると、だいたい言いたいことがわかります。しかし、最後だけを読めばいいというわけではありません。この、読解で経験したように、導入→内容とコメント→まとめ のつながりに注意して、先の展開を予測し、答えを探していくような読み方をすることが効果的だと言えるでしょう。

## 3 読んだあとで (P163)

もともとは自分の国で生まれたものが世界中に広まり、違うものになっている例を出し合い、それについて考えてみるのが目的です。意見といっても是非を述べ合う必要はなく、具体例を挙げて思うことを自由に話し合ってください。「インドのカレーと日本のカレー」のような食べ物の例、「ヨーロッパやアメリカのクリスマスと日本のクリスマス」のような行事の例などが考えやすいでしょう。自国のものでいい例がない場合は、他国のものを例に考えてみてもかまいません。

## 4 読むのに役立つ文法・文型 (P164)

### 1 V ていく (P164)

これからの変化について述べるときの表現です。それに対して、これまでの変化を述べるときには、「合気道を習う女性が増えてきたそうだ。」のように、「V てきた」が使われます。

例文の( )の中に、「増えていく」「減っていく」といった変化に関することばが入れば、意味を理解したと言えるでしょう。

### 2 V べきだ (P164)

考えや主張を表すときに使う表現で、論説文などによく使われます。設問にあるように「V なければならない」「V ほうがいい」とのニュアンスの違いに注意しましょう。使い分けについては、解答(P244)を見てください。

なお、写真は剣道の心構えを示したもので、島田虎之助(江戸時代後期の剣客)のことばです。「剣は心なり…」とは彼が残した有名なことばで、「心正しからざらば、剣又正しからず」とは、剣術においては「心が正しくなければ剣も正しくない」ということを言っています。

### 3 N である (P164)

ここで取り上げたコラムのような書きことばでよく使われます。新聞記事、論文、レポートなど、書きことばのスタイルとして理解するといいいでしょう。

**漢字のことば** 漢字の整理 (P164)

コラムの中に出てきた漢字です。これらのことばが本文のどこに出てきたかを確認し、読み方、意味を確かめたあと、キーボードやスマホで入力するなどの練習をしましょう。

## ◆ 漢字を手がかりにことばを増やしたり整理したりする

「～道」のように、接尾辞(後ろにつく漢字)から漢字語彙を整理する方法を知ることが目的です。剣道、合気道などの武道のほか、華道、茶道、書道などがあることに気づくといいです。また、この「道」がどのような意味を表しているかについても考えてみるといいでしょう。

なお、歩道、車道のような物理的な「道<sup>みち</sup>」を示している例、北海道のように地域を表す「道<sup>どう</sup>」の例を出す学習者もいるかもしれません。その場合、それぞれの「道」の意味の違いを考えてみることによって、漢字の意味へ注目させることができるといいと思います。

## PART5 書く「クラスについての問い合わせ」

**Can-do 35** 武道などのクラスに、受講方法などを問い合わせるメールを書くことができる。

ここでは、武道など、日本関係のクラスのチラシやホームページを見て、問い合わせのメールを書くという場面を設定しました。海外のクラスであれば現地語で書いても対応してくれる可能性が高いでしょうが、ここでは日本語で書かれたチラシを見て、問い合わせ先の日本人にメールする設定なので、日本語で書いてみます。自分の都合や事情を伝えながら、受講方法などを問い合わせることができるようになることを目指します。

### 1 書く (P165)

#### (1) 書くまえに

日本クラブの少林寺拳法部のチラシや、準備**3**の合気道のクラスの案内を見て、質問したいことがないか考えます。たとえば、月謝はいくらか、稽古着は貸してくれるのか、着替える部屋はあるのかなど、書いていないことを聞きたくなるかもしれませんし、書いてあること、たとえば少林寺拳法なら練習は 14:00 から何時までか、合気道のクラスなら、成人クラスは土曜、日曜になっているが、両方出なければならぬのか、片方だけでよいのか、成人というのは何歳からかなどについて聞くこともできます。

チラシを使わず、武道以外について聞く場合は、たとえば教室の名前と連絡先だけの情報があったとき、どのようなことを聞きたいか、想像しながら考えるとよいでしょう。質問はペアやグループで考えてもかまいません。

\*なお、第1刷、2刷では、「少林寺拳法」の「少」と「拳」の字が間違っています。クラスで訂正してください。

#### (2) 問い合わせのメールを書く

実際にメールを書きます。書いたあとで、ほかの人に読んでもらう**2**の活動がある)ことを先に伝えておくといいいでしょう。

自分のことについて簡単に説明し、それから質問の内容を書きます。短い質問をいくつか並べるだけではなく、なぜそれを質問するのか、知りたいと思うのか、その理由も書ければ、B1らしいメールになります。

### 2 書いたあとで (P165)

クラスで、お互いの書いたものを読み合います。問い合わせ先の人になったつもりで、どのような答えをするか自由に考えましょう。

## 教室の外へ

### わたしだけのフレーズ (P166)

武道について話すときに言いたいことをまとめたり、自分がしているスポーツを説明するときに必要な用語をメモしたり、何かの習い事に関連する専門的なことばを調べて書いたりなど、自分が話す場面を想像しながらいろいろメモさせてください。

### 教室の外の活動のアイデア

#### ①

YouTube などの動画サイトで、武道や武術を実際に見てみることで、より理解を深めます。「合気道」「極真空手」「アーニス」などについて、想像したものと同じだったか、意外だった点はあるか、など、クラスで話し合ってみるのもいいでしょう。「やってみたい武道」を考える時には、なぜそう思ったのかも考えるようにします。

#### ②

日本や世界にあるさまざまな武道、武術について、Wikipedia で調べてみます。日本語のWikipediaの「武道」の項には、「主な武道」として30以上の武道が挙げられています。中には「スポーツチャンバラ」などの新しい武道もありますので、興味があれば、説明を読むだけでなく、動画サイトで動画を見てみるとよいでしょう。また英語 Wikipediaの「List of martial arts」の項には世界の武術のリストが挙げられていますので、知っているものがあるか、見てみると面白いかもしれません。

#### ③

「ひろがる もっといろんな日本と日本語」には「武道」のトピックがあり、武道に関する動画を見たり、記事を読んだりできます。また「武道を習ったことがありますか」などの質問に対して「コメント」を書くコーナーもありますので、このトピックで習った日本語を使って書き込んでみると、よりリアルなコミュニケーションが体験できると思います。

#### ④

現在では世界各地に日本の武道の道場があります。先生は日本人だけでなく、現地の人が開いている道場もあります。自分の街に武道の道場があるかを調べ、興味を持った人は、見学に行ったり、入門してみたりすると、さらに世界を広げることができます。

## トピック 8 便利な道具

私たちは毎日いろいろなものに囲まれて生活していますが、大切だと思うものや欲しいものは人によって違います。身のまわりにあるものの使い方やそれについての考えを交換することを通して、一人ひとりの価値観についても感じられるのではないかと思います、このトピックを取り上げました。

### ◎ 扉／準備

#### ● トピックについての質問 (P167)

道具にはいろいろなものがありますが、扉の写真には、スマホ、掃除ロボット、電子辞書などの電気製品と、それを使って生活している人の写真を載せてあります。どんなものを欲しいと思っているか、また、それはどうしてかなど、自由に話し合ってみてください。

#### 1 写真やレアリアを見る (P168)

身のまわりの商品広告を取り上げました。写真や広告のキャッチコピーを手がかりに、どんな機能のものか選択肢から選びます。そして、どこが便利かを考えてみます。

#### 文化 文化について考える (P168)

上の1の広告を見ながら、自国にも同じようなものがあるかどうか、実際によく使われているかどうか、ないとしたらなぜないのか、また、もしこういう商品が自国にあったら便利だと思うかなど、自由に話し合います。これらの商品が開発された背景やニーズについても考えてみると、より理解が深まるでしょう。

#### 2 語彙や表現の確認 (P169)

ここで話題になっている商品は、1の広告にあるものです。選択肢には、道具について説明するときを使うことばを挙げてあります。

- ・「値段が高い⇔手頃」「デザインがいい⇔悪い」などのように、対になる言い方も確認しておくといいでしょう。
- ・「必需品」は、なくてはならないもののことを指します。
- ・「普及(する)」は「広く使われるようになる」という意味で、「スマホが普及する」のように使われます。
- ・「環境」は、例文の「環境のことを考えるべきだ」のほかにも、「この車は、環境にやさしい」という表現もよく使われます。

- ・「ウォシュレット®」とRがついているのは、ウォシュレットが TOTO という会社の登録商標だからです(ここでは、特に気にする必要はありません)。商標ではない呼び方は温水洗浄便座ですが、日本ではウォシュレットという呼び方が一般的です。

#### ◆ 赤字の言い方に注目しましょう

- (A)これから買うものについて話している:「買おうと思ってます」「～にするつもりです」。
- ・「～つもりだ」はトピック 6(P137)で勉強しました。「～にするつもりです」は、「今度、携帯電話を、スマホにするつもりです」「洗濯機を、全自動にするつもりです」「掃除機を、コードレスにするつもりです」のように使います。「する」を「変える」にして、「掃除機を、コードレスに変えるつもりです」と言うことができます。クラスで説明するときは、このように身近な用例を挙げるといいでしょう。
- (B)すでにあるものについて話している:「助かってます」「気に入ってます」「一度使ったら、やめられません」
- ・「助かって(い)ます」は、「いつも部屋がきれいで助かっている」「便利で助かっている」「電気代が安くて助かっている」のように、理由を表す表現といっしょによく使われます。

### 3 その他の活動 (P169)

PART 2 の会話(P172-173)で話題になる電子辞書の機能を理解することが目的です。「欲しいと思う機能を3つチェックしましょう」とありますが、チェックはいくつでもかまいません。また、クラスで、電子辞書を持っている人がいたら、実際に見てみるといいでしょう。

電子辞書は、一つの媒体の中に電子化された辞書が何冊か入っているだけの簡単なものから、フルカラー、動画再生可能、百科事典とのリンク機能付きなどの多機能型のものまでさまざまです。

最近、スマートフォンに辞書アプリをダウンロードして使う人が増えていて、国によっては電子辞書はあまり使われていない場合もあるかもしれません。もしわからないようなら、教師が適宜説明してください。

## PART1 聞いてわかる「スマホなしじゃどこにも行けない！」

**Can-do 36** 道具についての話を聞いて、使い方の違いやそれについてのコメントが理解できる。

ここでは、特に自分から積極的に情報収集をするような聞き方ではなく、何人か集まって雑談しているとき、話題や談話の流れを理解して、会話に加わっていくような聞き方ができるようになることを目指します。

● 聞くまえに (P170)

スマホや携帯についての話題では、電話、SMSやメールを送る、写真を撮る、動画を見るなど、その機能や使い方の違いについて話すことがあるでしょう。そこで、どんな機能があるか、どんな機能をよく使っているか、クラスで出し合っておきます。そのときに、「SMSを送る」「動画を見る」「SNSに投稿する」など、日本語の言い方を確認しておくといいいでしょう。

なお、「携帯(携帯電話)」とは、「スマホ(スマートフォン)」が開発される以前のシンプルな機能の携帯電話を指しています。

場面・設定の確認

イラストは海外のレストランでの会話場面です。友人同士のレストランでの集まりに、井上さんが一人遅れてきたという設定です。ここでは、「場所がわからなかったの？」と質問している女性の立場で聞きます。この会話の場面に参加しているということが大切です。

1 内容を段階的に理解する (P170)

スマホの使い方や必要性についての意見の違いを聞き取ります。

(1) 1回目の聞き

スマホの利用について肯定的か否定的かに注意して、4人の話を聞きます。この段階では、どのように使っているかなど、細かいことには気にしないで、話全体を理解するようにしましょう。

(2) 2回目の聞き

人によるスマホの使い方の違いを理解します。聞くまえに a-h のイラストを見て、図示されている機能を確認します。同じ選択肢を、2回以上選んでもかまいません。

(3) 3回目の聞き

スマホについての全体的な意見は(1)で確かめました。ここでは、(2)で選んだ使い方についての考えやコメントに注意して聞きます。

◆ スマホや携帯の機能についてどう言っているか、どう考えているか、わかったことを友達とシェアします。それによって、(1)で確認したスマホについての考えを、より具体的に把握することができます。学習者同士だと確認は母語になりがちですが、できる部分だけでよいので、少しずつ日本語を使うようにしていきましょう。

## 2 聞くためのストラテジー (P171)

あいづちは、話に参加していることを示すための聞き手のストラテジーのひとつです。ここでは、相手の話を肯定的に受け止めている場合と、どちらかというそうではない場合の二つに分けて考えます。

### (1) あいづちの機能の違いを理解する

①井上さん、②リーさんの話を聞きながら、教科書の吹き出しの中のあいづちを見て、使われているものをチェックします。ここでは、意味や使い方の違いは気にしなくてかまいません。

◆ 吹き出しの中のあいづちは、会話で使われたあいづち部分だけをまとめたものです。この音声聞いて、伝える気持ちの違いに注目します。イラストがあるので、すぐにわかるでしょう。「誰と話すときに使うか」という質問は、ここで使われているあいづちは、友達同士での会話で用いられるインフォーマルなものだということにも気づいてもらうためです。質問の意図がわからない場合は、「そうですね」との違いは？と聞いてみるなど、教師が工夫してください。

### (2) あいづちを使ってみる

③吉村さん、④高橋さんの話にポーズを入れて編集した音声聞いて、あいづちを打つ練習です。ポーズはそれぞれ3か所あります。(1)で観察したあいづちのうち、どれかが使えればよく、1で聞いた会話例と同じである必要もありません。日本人でも個人差があります。なかには、話すときに「こんなにたくさんあいづちを打つのか」と疑問に思う学習者がいるかもしれません。日本人はあいづちを打つ頻度が多いと言われます。知り合いに日本人がいる場合は、実際に話すのを観察してみてもおもしろいと思います。言語によるコミュニケーションの違いを考えるよいきっかけと言えるでしょう。

## 3 聞いたあとで (P171)

4人の考えを振り返り、自分に引き付けて考えます。単純化するために、あなたの考えは誰に近いのかという質問になっていますが、ここで聞いたことをもとにして、スマホや携帯の使い方や必要性について話すといいでしょう。その際、「ゲーム」や「スケジュール管理」のような、ここには紹介されない使い方があってもいいでしょう。

### ■ 聞いたことをまとめる (P171)

動詞を活用させて入れます。携帯やスマホといった身近な話題なので、まとめの文の意味も比較的わかりやすいと思います。

- ・「今はスマホが(③教えて)くれる」「～てくれる」は、スマホが擬人化されているためと考えられます。
- ・「メッセージもメールも(④見れる)し、…」と、音声では「ら抜きことば」を使っています。この練習は、要約文の一部という設定(書きことば)なので、「見られる」という規範的な形で書いてもかまいません。

## PART2 会話する「電子辞書を買おうと思うんですけど」

**Can-do 37** 自分が欲しいと思っている商品について、機能やデザインなどの希望や条件をくわしく言うことができる。

電気製品などを買うとき、店の人やよく知っている人に相談することがあると思います。そのような場面で、自分がどんな商品が欲しいか、希望や条件をくわしく説明できるようになることが目標です。

## ● 会話するまえに (P172)

ここでの会話は、インターネットショッピングサイトでの買い物場面です。はじめに、インターネットショッピングの経験について話します。「楽天」など日本の大手ショッピングサイトにアクセスして買ったことがある人、店舗のサイトで直接注文した人、現地のサイトから日本の品物を取り寄せた人など、いろいろいると思います。どんな手順だったか、品物を選ぶ際にどんな点を重視したか、値段、海外発送の有無、口コミなど、思い出してみます(あまり個別的な話にならないよう注意します)。

会話の登場人物は、イタリアの大学で日本語を教える教授(フォンガロ教授)と、その研究室でアルバイトをしている日本人留学生(良子さん)です。フォンガロ教授が電子辞書を買うにあたって、良子さんに相談します。良子さんの助けを借りながら、電子辞書を選びます。

一般的に、スマホの辞書アプリは単語帳的な機能しかない場合が多く、学習のためによりくわしい情報を必要とする日本語学習者は、電子辞書を使っている場合が多いようです。ただし、国によって電子辞書の事情はさまざまです。紙の辞書かスマホのアプリしか使われていない国もあるかもしれません。こうした事情は変化が早いと思われるので、テキスト執筆時と事情が変わっている場合は、適宜説明を加えるなり、修正するなりしてください。

## 1 会話の内容を理解する (P172)

スクリプトを見ないで会話を聞きます。フォンガロ教授が電子辞書を買うために、良子さんに相談している場面であることを理解させた上で、フォンガロ教授が出した条件を、できるだけ多く聞き取ります。一人ひとりが全ての条件を聞き取れなくても、聞き取れたものを挙げて、クラス全体で条件がいくつかリストアップできればいいでしょう。

## 2 ことばの形式に注目する (P172)

( )は5カ所ありますが、ここで( )の中に入るのは、尊敬形、「ようだ」、「の／やつ」です。「ようだ」はトピック 5(P128)ですすでに出てきていますし、「の／やつ」は「の」がわかれば意味を推測できると思います。

尊敬形は、「買われる」の「買う」は誰の行為であるかを考えて、意味や機能を考えます。教授とアルバイトという立場から、良子さんはフォンガロ教授に敬語を使って話しているということに気づくといいでしょう。

丁寧体と普通体の使い分けについては、ここでは二人とも丁寧体で話しているので、これに関する質問はありませんが、敬語といっしょに確認しておくといいいでしょう。フォンガロ教授は目上の立場ですが、研究室内でスタッフに話すというフォーマルな場面であるため、フォンガロ教授のほうも、普通体ではなく「です／ます」を使っていることにも注意します。普通体と丁寧体の使い分けには、年齢や立場の上下関係だけでなく、場面のフォーマリティーや、親疎関係、個人の性格などがいろいろ関わってくることに気づかせるとよいでしょう。

### 3 会話に役立つ文法・文型 (P173)

ここで練習する項目のうち、フォンガロ教授が自分の希望を言う表現は「の／やつ」と、「～たらいい」と、「～ばうれしい」などになります。このうち、～たら(「初級2」3課 りかい:P74-75、同17課 りかい:P147)と、～ば(「初中級」トピック 2:P41-42)の条件の言い方は、既習ということでここでは練習しませんが、Can-do の達成に不可欠な表現ですので、必要があれば確認しておきます。尊敬形と「ようだ」は、良子さんの発話に出てくる表現ですが、アドバイスを受けるときに理解できるよう練習します。

#### ① V(ら)れる: 尊敬形 (P173-174)

尊敬語は、トピック 1(P47-48)で、特別な形の尊敬動詞と、「お～になる」の表現を学びましたが、ここでは「V(ら)れる」の形をした「尊敬形」を学びます。尊敬語はこの3つの表現があることを、確認するとよいでしょう。トピック1で学んだ表現と比べると、尊敬形はやや軽い表現ですが、どんな動詞にも使えるため、覚えておくと便利な表現です。

会話の中では良子さんが使っている表現ですが、ここでは良子さんの立場になって、自分でも作れるように、産出の練習もします。練習は、トピック 1 で練習した形式の尊敬語を、尊敬形を使った言い方に直す練習です。

#### ② ～ようだ (P174)

トピック 2(P65)で学んだ「～みたいだ」と同様に、自分で見たことや経験したことを根拠にして、判断して言う際に使う表現です。この練習では、学習者はフォンガロ教授とウェブサイトを見ながら、教授の質問に答える設定です。WEB 上の情報を「根拠」として、「～ようだ」を使って教えます。

なお、「～ようだ」と「～みたいだ」は、意味はほぼ同じですが、「～ようだ」のほうがやや固い表現です(「中級 1」でも、書きことばの表現として、トピック 5 P128 の「読んでわかる」で扱いました)。研究室での会話というフォーマルな場面設定などが影響していると考えられます。自分で会話で使う場合には、「～みたいだ」を使っても間違いではありません(ただし、接続の仕方は違うので注意しましょう)。

### ③ ～の／やつ (P174)

連体修飾節を伴う形式名詞です。「～の」も「～やつ」も一般的によく使われますが、「～やつ」のほうがより会話的でカジュアルな表現です。この練習では最初に、他人が言う条件を聞いて理解し、どれについて言っているかイラストを選びます。そのあと「あなたはどれが欲しいですか」という問いに対して、自分で「～の／やつ」を使って産出する練習をします。イラストの 4 つ以外にも、自分の欲しいテレビの条件を自由に言わせる練習にしてもかまいません。

### ④ 話すためのストラテジー (P175)

質問や依頼のまえに、まず「前置き」をして、聞き手に準備させるストラテジーです。いきなり質問や依頼をするのではなく、こうした「前置き」をして、相手を準備させることで、会話がよりスムーズに運びます。ここでの練習では、「前置き」をするということだけではなく、人間関係や場面を考えながら、丁寧な言い方、くだけた言い方と、適切なことばが選べるような練習をします。

### 発音 発音の練習 (P175)

会話に出てくる「雨」と「飴」だけでなく、日本語にはアクセントだけで意味を区別することばが、非常に多く存在します。これまでは「アクセントは単語によって決まっている」ことを学びましたが、ここではアクセントによるミニマルペアを練習することによって、語の意味を区別するアクセントの大切さに気づくのが目的です。英語などの強弱アクセントと比べて、日本語のアクセントは音の高さの違いだけで区別します。そのため、学習者によっては、聞き取りや産出で、アクセントの違いが全くわからない、などの場合もあるかもしれません。そのときは、その場で何度もわかるまでくり返したりせず、長い目で、アクセントと実際の発音の関係を身につければいいと考えてください。

なお、「端」と「橋」のような平板型と尾高型は、単語単独で読んだときは差がなく、うしろに助詞や「です」などのことばが付いたとき、はじめて違いが現れます。外国人学習者にとってはわかりにくい項目の一つですので、必要に応じて母語や共通語を使って説明を補ってください。このような平板型と尾高型のミニマルペアには、他に「鼻」「花」などがあります。

### ⑤ ロールプレイ (P176)

(1)は、会話の話題をそのまま追えばいいので、比較的簡単にできると思います。それぞれの部分で、「～の」「～やつ」や、「～たらしい」「～ばうれしい」などを使って、自分の条件を言っていることを確認します。

(2)のロールプレイでは、まず①で、友人に電子辞書について相談する会話を演じます。電子辞書に実際になじみがあってもなくても、本文や「準備」に出てきた情報を使いながら、自分が欲しい電子辞書の希望を言います。

続く②は、日本の電気店で店員に相談するロールプレイになります。ここでは「カメラ」を買うという(例)の続きを考えながら、会話を練習します。

最後に③で、実際に自分が欲しい品物について、自由に練習します。相談相手は友人でも日本の電気店の店員でもどちらでもかまいません。相談を受ける側になった人は、実際の知識が全くない場合でも、ロールプレイとして適当に想像で答えれば充分です。

ここでのロールプレイは、ただ単純に条件を短い文で列挙するだけでなく、その機能が欲しい理由を付け加えたり、コメントを返したりしながら話せると、B1らしい発話になります。

なお写真は左から、美顔器、髭剃り、カメラ、炊飯器になります。できるだけ自分が本当に欲しい、日本に行ったら買いたいような品物について話せば、より現実に近い会話になるでしょう。

## PART3 長く話す「いいもの買ったんですよ」

**Can-do 38** 自分が使っている道具について、使い方や便利な点が説明できる。

友人や知人との雑談で、自分が最近買ったものや使っているものについて「これ、とてもいいよ。」などと話すことがあると思います。ここでは、自分の体験を交えながら、その品物の良さを相手に伝えられるようになることを目指します。

## ● 話すまえに (P177)

最近買ったり使ったりしたものの中で、良かったものや便利だと思ったもの、友達にすすめたいものがないかどうか考えてみます。「最近」ではなく、長く使っているものでもかまいません。

## 1 モデル会話を聞く (P177)

写真(177 ページの上)は、ステーシーさんが探し物をしている場面です。吹き出しの会話から、ステーシーさんが最近買った「探し物探知機」について話している場面だということを確認します。

①-④の質問に沿って会話例を聞きます。写真(177 ページの真ん中)にある、子機(キーホルダーのようなもの)が付いた鍵、財布、定期入れ、携帯と、親機(黒いリモコンのようなもの)を見ながら聞くとわかりやすいでしょう。

聞いたあと、上の写真がステーシーさんの経験の回想場面だということ、また、写真のどれが親機で、どれが子機かがわかったかどうかとも確かめてください。最後に、鳥山さんは「でも、ステーシーさんなら、親機の方をなくしそうですね。」と冗談を言っていますが、これがわかったかどうかとも確認してください。

## 2 表現の確認 (P177)

ステーシーさんの話は、「機能を説明する」「自分の使い方を話す」「使いはじめた理由を言う」「使ってからの変化を言う」の4つに分けられます。「機能を説明する」の部分以外は、ステーシーさんの経験談です。

- ・「これ、なくした物の場所を教えて(①くれる)んです」の主語は、モノ(=探し物探知機)ですが、そのモノがあって助かっているという気持ちを「～してくれる」で表現しています。擬人化された表現です。「掃除ロボットが、留守にしている間に部屋をきれいにしてくれるんです」のように使います。
- ・「自分の使い方を話す」場合、「私は、財布とか、…家の鍵とかに(③つけて)ます」「たとえば…みたいに(④使って)ます」のように「～ている」がよく用いられます。ます形を使っても間違いではありませんが、「～ている」を使うと、状況を描写している感じがよく伝わります。
- ・「たとえば、…みたいに使ってます」は、使い方を例示するときに使う表現です。
- ・「物をなくすことが(⑤多くて)しょっちゅう、パニックになっていたんですけど…」「これを使う(⑥ようになって)から、そういうことがなくなりました。」の「～ていた」は過去の状態を、「～ようになってか

ら」は変化・きっかけを表しています。たとえば、「前は、部屋がとても散らかっていたんですけど、掃除ロボットを使うようになってから、きれいになりました。」などのように使えます。

### 3 モデル会話の確認とシャドーイング (P178)

スクリプトを見ながら聞き、2の談話の流れを確認します。使い方について話す部分では、例を出して具体的に話している点に注目してください。また、同僚との会話なので、「で、…」「財布とか、車の鍵とか」「朝なんか」(例示)、「～ってときは、～みたいに使ってます」など、話しことばの特徴がたくさん入っています。会話例を聞いて、まずは耳を慣らしてください。

話しことばと書きことばの違いについて、次のように対比して説明してもいいでしょう。

- ・「で」(話しことば)→「それで」(書きことば)
- ・「～とか～とか」(話しことば)→「～や～など」(書きことば)
- ・「～ってときは～みたいに使ってます」(話しことば)→「～というときは、～のように使っています」(書きことば)

#### ◆ シャドーイング

「機能の説明」「自分の使い方の説明」の部分をシャドーイングします。自分で説明するつもりになってシャドーイングしてみるといいでしょう。

### 4 再話する (P178)

買った使ったりしてよかったものについて話してみる練習です。ここでは「探し物探知機」を使ってみたという設定で話してみます。メモが多いので、①の機能と説明部分と、②－④の経験談の部分の二つに分けて練習してから、全体を通して話してみるといいでしょう。この練習の目的は、情報を自分の頭の中で整理して言うことです。話しことばの特徴を取り入れることが大きな目的ではありませんから、無理して使わせる必要はありません。

メモを見て言ったあとで、2の表現が使えたかどうか振り返りますが、教師も学習者がどの程度できているか、把握するようにしてください。

### 5 自分のことを話す (P179)

#### (1) 話したい内容を整理する

友達に自分で買ったいいものについて話すという設定ですが、適当なものが思い浮かばない人は、写真の中から一つ選んで話してもいいでしょう。

179 ページの写真は上から、消せるボールペン、首枕(乗り物用)、ホッチキスの針をはずす道具五本指靴下、タブレット、折りたたみ式のコップになります。

(2) 話す

雑談なので、聞き手の方もあいつちを打ちながら聞くと思います。評価のポイントにあるように、自分にとっての使い方を具体的に話せること目標にしてください。

## PART4 読んでわかる「あなたがいちばん欲しいドラえものの道具は？」

**Can-do 39** インターネットや雑誌などのランキング記事を読んで、調査結果や回答者の声など、内容がだいたい理解できる。

このトピックでは、アンケート結果の報告記事、一種のランキングレポートを取り上げます。ネット上には、さまざまなランキング記事がありますが、ランキングのテーマは身近なものが中心で、回答者の声が直接引用されることが多く、比較的概要を理解しやすいもののひとつでしょう。このような、ちょっとしたアンケート結果についての記事は、SNS で紹介されたり、リンクが張られていたりすることがよくあるので、読めるようになると、情報が広がるでしょう。

## ● 読むまえに (P180)

夢をかなえる道具があるとしたら、どのような道具が欲しいか、なぜその道具が欲しいか話し合います。例としてタイムマシンが挙げられていますが、実際にはないけれど、あったらおもしろいもの、ユニークなものについて簡単に話します。

## 1 内容を理解する (P180-181)

記事のトピックについて背景知識がない場合、読解そのものを効果的にすすめることができませんし、内容に興味も持てないでしょう。まず、はじめに、これがウェブアンケートで、「あなたがいちばん欲しいドラえものの道具は？」という質問の結果を記事にしたものだということを確認します。次に、「ドラえもん」はマンガの主人公で、「ドラえものの道具」は、マンガに出てくる夢をかなえる「ひみつ道具」だという点も確認してください。ネット上にはドラえもんの画像があるので、クラスで見るといいでしょう。なお、教師が一方向的に説明するのではなく、「これ、どんなタイプの記事だと思う？ エッセイ？ コラム？ メール？…」「アンケートの内容は何？」「アンケートの方法は？」「ドラえもって何？」などのように、学習者に問いかけをしたり、ヒントを出したりしながら、学習者からできるだけ答えを引き出すようにするといいでしょう。

\*『ドラえもん』は、日本のマンガ、アニメです。未来からやってきた「ドラえもん」が、未来から持ってきた「ひみつ道具」を使って、何をやってもダメな小学生「のび太」を助けるという話です。権利処理の関係で、ドラえもんや、ひみつ道具のイラストを教科書に載せることはできませんでした。代わりに授業では、インターネットにある画像などを使うといいでしょう。

## (1) 1 回目の読み:全体を読み、だいたいの内容を理解する

内容をざっと読み、どこに何が書いてあるかを理解します。タスクは、どんな道具が人気だったかを読み取ることなので、記事の構成がわかれば、どこでもドア、タイムマシン、タケコプターだということがすぐにわかるでしょう。ここでは、見出し部分だけでなく、説明も読んで、それぞれどんな道具なのか理解します。どんな道具か、絵に描いてみてもおもしろいでしょう。

なお、**2** 読むためのストラテジーでは、こうした説明の部分が名詞の前にくることに注目しますが、ここで触れる必要はありません。

(2) 2 回目の読み: 道具を選んだ人の理由を理解する

1 位から 3 位までの道具について書かれている部分を読み、その道具が選ばれた理由に注目します。理由を知ることによって、それぞれの道具の特徴や違いが理解できるからです。

(3) 3 回目の読み: それぞれの道具の特徴を理解する

前の(2)でメモした内容が本当に理解できているかを確認することがねらいです。(2)で把握した情報をもとにして、それぞれの道具の特徴を確認します。タスクは、特徴を表すことばを選択肢から選ぶことです。

(4) 4 回目の読み: 6つの道具の特徴を深く理解する

ここでは、1 位-3 位以外の道具について書かれている箇所も読み、6 つの道具の特徴を確認します。①-⑥は、教科書には書かれていない希望の例です。どの道具が適しているかを考えることによって、それぞれの道具の特徴が、本当に理解できているか確認します。

道具の使い方に合っているなら、解答例以外の答えがあってもかまいません。たとえば、①の解答例は「c. どこでもドア」ですが、「a. タケコプター」があれば、海を簡単に渡れるので、島から都会に出勤することができると答える人もいるかもしれません。

## **2** 読むためのストラテジー (P181)

説明の文の位置に注目します。言語形式に注目したストラテジーであるとも言えます。

例では、a. 「どこでもドア」の説明部分に下線を引くことによって、説明部分が名詞の前に来ていることを確認します。これは、日本語の連体修飾部分は名詞の前に来るというルールによるものです。自由に場所を移動できる道具の「どこでもドア」は、「～の N」の形で、下線部＝「どこでもドア」のような関係になっています。

b-fのほかの道具の説明についても、同じようやってみます。

b. 過去や未来に自由に行ける「タイムマシン」

c. 「タケコプター」は、頭につければ空を自由に飛べる道具だ

d. 「もしも世界が～だったら」と電話に向かって言えば、その想像の世界が実現する「もしもボックス」

e. 試験のときに使えば自動的に正解を書いてくれる「コンピューターペンシル」

f. 日記に書いたことがその通り現実になる「あらかじめ日記」

c 以外は、説明部分が前にあることがわかります。cは「N は～だ」の形なので、他とは違うので当然なのですが、ここでは、言語形式の違いというよりも、アンケート結果などの簡潔な文章では、道具の説明をまえに書く場合が多いということに注目するといいたいと思います。

\*b、d、e、fの連帯修飾構造で、修飾される名詞と修飾部の関係が気になる学習者がいるかもしれませんが。日本語の連帯修飾構造では、「内の関係」(修飾される名詞と、修飾節の間に格関係がある)と「外の関係」(修飾される名詞と、修飾節の間に格関係がない。トピック 6 PART 2(P138)参照。)に二分されます。しかし、実際の用例を無理に 2 分類しようとする複雑になり、かえって混乱する場合もあるので、避けた方が賢明です。

### 3 読んだあとで (P182)

自分だったらどの道具が欲しいか、その道具を使ってどんなことをしたいかを話します。これは、道具を自分に引き付けて考え、道具の使い方や特徴の理解を深めるためです。または、ほかにどんな道具が欲しいかという話に発展させてもいいでしょう。ただし、このような空想上の話を好まない学習者が多い場合は、無理にする必要はありません。

### 4 読むのに役立つ文法・文型 (P182)

#### ① ～だろう (P182)

「～でしょう」の普通体です。コラムなどの少し固い書きことばで、筆者が自分の考えを断定的に言うことを避けるために使われます。

#### ② Nもあれば、Nも (P182)

「夢のある理由もあれば、現実的な理由もある」は、簡単にすると「夢のある理由も、現実的な理由もある」と同じ意味で、いろいろなものがあることを示します。やや改まった説明文などで使われる、書きことば的な表現です。

#### ③ ～たら～のに (P182)

「～たら」で実際はそうでないことを仮定し、「～のに」で希望や計画(実際にはできないこと)を述べて残念な気持ちを表します。ここでは、実際にどんなときに使われるのか、例文の意味を確認してください。

- ・昔の自分に会えたら、いろいろアドバイスできるのに…(＝実際は、昔の自分には会えないので、いろいろアドバイスできない)
- ・電子辞書を買うとき相談してくれたらよかったのに。(＝電子辞書を買うとき相談してくれなかったのが残念だ)

「～たらよかったのに」は、過去にすでに起こってしまったことを悔やむときに使われます。「もっと勉強したらよかったのに…」「こんなこと言わなかったらよかったのに…」などがあります。

練習の文ですが、「お金があつたら(夏休みに旅行に行けるのに、夏休みに旅行に行けたのに)」のように、「～のに」の前の形は現在形、過去形、どちらでも可能です。「行けるのに」と現在形を使う場合は、現在の希望を示すので、「今度の夏休みに」のような意味になります。それに対して、「行

けたのに」と過去形を使う場合は、過去の希望を示すので、「今年の夏休みに、お金がなかったので、旅行に行けなかった」という意味になります。

#### ④ もしも～たら (P182)

「もし～たら」に比べると、実現する可能性が低いと思われることに使われます。「もしも、アインシュタインが今生きていたら」のように、実際にはありえないこと、あるいはなさそうなことを想像して話すのに使われます。

#### 漢字のことば 漢字の整理 (P182)

コラム記事に出てきた漢字です。これらのことばが本文のどこに出てきたかを確認し、読み方、意味を確かめたあと、キーボードやスマホで入力するなどの練習をしましょう。

##### ◆ 漢字を手がかりにことばを増やしたり整理したりする

漢字の一部に「口」が入っている漢字を本文からさがして書きます。

号、記、向、のほかに、「回」、「頭」、「答」、「話」、「欲」があります。部首といった意味ではなく、漢字の形、どのような部分からできているかに注目するための活動です。

**PART5 書く「売ってください」****Can-do 40** 欲しい商品の条件や特徴を日本人コミュニティサイトの掲示板に書き込むことができる。

ここでは、日本人コミュニティサイトの掲示板に、欲しい商品について書き込む場面を設定しました。売ってほしい商品について、その条件や特徴について書くことができるようになることを目指します。海外の特に大都市では、そこに住んでいる日本人が日本語で情報を交換しているコミュニティサイトがよくあります。もし、自分の国にもそうしたコミュニティサイトがあれば、のぞいてみるといいでしょう。実際に欲しいものが手に入るかもしれません。

**1** 書く (P183)**(1) 書くまえに**

日本人コミュニティサイトの掲示板の書き込みの例を見ます。炊飯器を売ってもらうための書き込みです。売ってほしい商品の条件や特徴を、どのように書いているのか、読んで参考にします。

**(2) 掲示板に書き込む**

欲しいと思うものを考えて、その商品の条件や特徴などを書きます。たとえば、電気製品なら、どのような機能がついているものがいいのか、どのぐらいの大きさか、できるだけ新しいものがあるのか、古くてもいいのかなど、くわしく書けるといいでしょう。本や服など何でもいいですが、欲しいものの特徴を具体的にくわしく書けるようにしましょう。わざわざ日本人コミュニティの掲示板に日本語で書き込むのですから、現地ではなかなか買えない日本の品物などについて書けば、より本当にありそうなシチュエーションになるでしょう。

**2** 書いたあとで (P182)

お互いの書いたものを読み合っ、欲しいものがどんなものかわかるか、またそれを自分は持っているかどうか、考えます。どこで買えるのかなどの情報を交換してもいいでしょう。また、欲しいものがあれば、実際に日本人コミュニティサイトに書き込みをしてみるといいかもしれません。

## 教室の外へ

### わたしだけのフリース (P184)

買い物をする場面で自分の希望を伝えたり、自分に必要な機能を説明したりすることばなどがあるかもしれません。自分がこのトピックで日本語を使うとき、どんな場面でどんなことを言いたいのか、具体的な場面を想像しながら考えてみてください。

### 教室の外の活動のアイデア

#### ①

「価格コム」など、日本のインターネット通販サイトを見てください。電子辞書を調べてみて、自分が買うとしたらどれを買うか、考えてみるのもいいでしょう。電子辞書だけでなく、日本のサイトを見ながら、ほしい商品をいろいろ探してみてください。その際、海外発送の有無や送料なども調べ、実際に買えるかどうかと見比べると、「インターネットで日本の品物を取り寄せる」という教室外の活動に結びつけられるかもしれません。

#### ②

マンガ「ドラえもん」に登場する「ひみつ道具」は、これまで合計で 2000 点以上の種類が登場していると言われています。Wikipedia にも詳細な解説があるほか、テレビ朝日の「ドラえもん」のページには、「ひみつ道具カタログ」があり、さまざまなひみつ道具がイラスト入りで紹介されています。ひみつ道具については PART 4 (P180-181) でその概念を理解している(現実には存在しないが、何か夢をかなえるような便利な道具)と思いますので、自分で考えてみたり、クラスの中でアイデアを交換しあったりしてみると面白いでしょう。クラス内で「ひみつ道具アイデアコンテスト」のような形にしてもいいかもしれません。

#### ③

電気店に行って、日本製品を調べてみる活動です。日本製品にはどんなものがあり、いくらぐらいで売られているかなどを見てください。自国や他国の製品と比べて何か違いがあるか、どんな特徴や魅力があるかなどを考えてみるのもいいでしょう。

## トピック 9 伝統的な祭り

「中級 1」の最後では、祭りという世界共通の話題を取り上げ、経験を語ったり、メディアから情報を収集したり、また、日本語を使って自国の情報を提供したりできるようになることを目指します。同じ時代に生きる異国の人々の歴史や文化に興味を持ち、ことばと文化の世界の旅をこれからも続けていってほしいと願っています。

### ◎ 扉／準備

#### ● トピックについての質問 (P185)

扉には、日本の祭り(阿波踊り)だけではなく、海外の日本祭りや、それに参加している人の写真を取り上げました。写真を見ながら、自分の周りにある祭りや行事について自由に話し合ってください。祭りで何をするかや、その意味などについても思い出してみるといいでしょう。

#### 1 写真やレアリアを見る (P186)

日本は、各地に多くの祭りや行事があります。伝統的なものもあれば比較的新しいものもあり、種類もさまざまです。6枚のポスターは、祭りの多様な姿を感じられるように選びました。写真を見てどんな祭りか考えてみてください。解答例は載せてありますが、自由に解釈してみるのが大切なので、いろいろな考えが出るといいでしょう。選択肢は、その手がかりとして使ってください。下記の祭りの説明は、教師が学習者にヒントを出すためのもので、祭りの説明をするためではありません。

- ① 時代祭り: 京都の平安神宮の創建を記念して、明治時代に始まった祭りです。京都に都が置かれた約 1000 年の歴史を再現した、総勢 2000 人による豪華絢爛な時代行列が特徴です。
- ② 七夕まつり: 日本には 7 月 7 日の七夕に、願いごとを書いた短冊を笹に飾る風習があります。七夕祭りは日本各地にあります。仙台の七夕まつりは、大規模な飾りつけで特に有名です。旧暦に合わせ、毎年 8 月に行われます。
- ③ はだか祭り: ふんどし姿など、裸に近い姿で参加する祭りです。生まれたときと同じ、清浄無垢の姿で神様と接するという意味があるようです。はだか祭りは各地にあります。ポスターは千葉県の大原はだか祭りで、五穀豊穰や大漁祈願などをします。
- ④ 阿波踊り: 徳島県が発祥の盆踊りです。日本を代表する盆踊りで、「踊る阿呆に見る阿呆、同じ阿呆なら踊らにゃ損々」という囃子ことばが有名です。阿波踊りは PART 2 (P190-191) でも出てきます。
- ⑤ フードフェスティバル: 郷土料理から季節の料理、世界各国の料理など、食べ物を扱った祭りも多く行われています。伝統的なものもあれば新しい商業的イベントもありますが、これらも広

く「祭り」に入るでしょう。ちなみにポスターは「奥会津ごっつおまつり」のもので、「ごっつお」は御馳走のことです。

- ⑥ 桜まつり: 春になると、日本各地で桜祭りが開かれます。屋台などが出てにぎやかです。ほかにも、「梅祭り」「藤祭り」など、美しい花を楽しむ祭りがいろいろあります。

### 文化 文化について考える (P186)

自国の祭りや行事について、**1**の日本の祭りとは比べながら、どのような特色があるのか話します。祭りや行事の起源や由来については、自国のものであってもあまりよく知らないという場合もあるでしょう。ここでは、知識を問うことが目的ではなく、それぞれの背景について考えてみるのが目的なので、何かしら、違いや共通性があることに気づけるといいでしょう。

### 2 語彙や表現の確認 (P187)

日本人が祭りや行事について話すときによく使いそうな表現を取り上げています。「神輿をかつぐ」「山車をひく」「浴衣を着る」「盆踊りを踊る」「屋台で焼きそばやかき氷を買って食べる」などは、ことばだけわかってもあまり意味がありません。写真を見るなどして、日本事情のひとつとして知っておくといいと思います。

「エリンが挑戦！にほんごできます。」では、15 課で「祭り」を扱っています。神輿や屋台の映像や写真もありますので、参考にしてください。

観光客が来るような大きな祭りだけでなく、日本の各地域には、その地域に根ざした祭りがあります。祭りとの関係も人により違い、「毎年、地元の祭りで、仲間と神輿をかつぐ」というように祭りの担い手になっている人もいれば、「家族で、町内の夏祭りに行きます」などのように、単に参加するだけの人もいます。また、「小さい子どもたちが山車をひく」のように地域社会の中で伝統が引き継がれていくこともわかります。

### ◆ 赤字の言い方に注目しましょう

「昔の思い出について話している」のは、「(～のが)楽しかったです」「(～を見ると)、子どものころを思い出します」「よく～たものです」の 3 つです。「よく七夕祭りを見に行ったものです」の「～たものです」は、「(昔は/子どものころ/学生時代は)よく～たものです」のように、過去の出来事を回想するときに使います。「～ものです」はトピック 5 の準備 **2** (P115) で、「昨日は私たちの 10 年目の結婚記念日でした。はやいものです。」でも使われていたのですが、このトピック 9 では、動詞のタ形といっしょに使うことが特徴です。

### 3 その他の活動 (P187)

PART 1、PART 2 で祭りの衣装が話題になるので、日本の祭りの衣装を写真で紹介してあります。なるべくタイプが違うものを取り上げました。参考までに、写真は左から、エイサー(沖縄)、ねぶた祭(青森)、おわら風の盆(富山)、そして女神輿(写真は新潟県津南町の祭りのもの)です。

「衣装についてコメントをする」ときによく使うことばをヒントとしてのせてあります。ことばを覚えるというよりも、日本の祭りの衣装がどのように目に映るかということを楽しんでください。なお、祭りの衣装の写真はインターネットで画像検索をすれば他にもありますので、クラスでいろいろなものを見てもいいでしょう。

## PART1 聞いてわかる「祭りは7日まで続きます」

**Can-do 41** テレビやインターネットの行事紹介番組を見て、どんな祭り／行事かが見たい理解できる。

祭りは、トピック4の温泉同様、海外のテレビ番組やYouTubeなどの動画サイトで紹介されることが多いもののひとつと言えるでしょう。テレビ番組のレポーターの話を全部理解するのはまだ難しいでしょうが、映像があれば内容をおおまかに理解することは可能です。

祭り特有の語彙もありますが、細部にこだわらず、ここでは、日本の祭りや行事について、その内容や魅力をおおまかに理解することを目指します。また、このような番組がきっかけになり、日本について知りたいことが増えていくといいと思います。

### 場面・設定の確認

レポーターの女性が「みなさん、こんにちは！」と言っています。これから祭りの紹介番組を見ることを確認します。

#### ● 聞くまえに (P188)

トピック4の温泉紹介の場合と同じように、ここはインターネットのニュースを見ているという設定ですから、映像とナレーションを結びつけていくような聞き方が効果的です。そこで、事前活動では、これから紹介される祭りの写真(動画の一部という設定)を見てどんな祭りかを考え、わかる情報を整理しておきます。「準備」の1を思い出すと、祭りの特徴や違いが想像できるでしょう。また、疑問に思う点を出しておく、より積極的に聞くことができるでしょう。

話し合いは母語でもいいですが、キーワードとなりそうなことばは、日本語でどう言うかを考えて、ホワイトボードに日本語で書いておくと聞かときの助けになります。たとえば、「①金沢百万石まつり」は、歴史に関係がある、昔の、侍、武将、行列、などが考えられるでしょう。②-④も同様にやります。

#### 1 内容を段階的に理解する (P188)

##### (1) 1回目の聞き: 基本情報を理解する

それぞれの祭りについて、いつ、どこで行われているかという基本情報を理解します。場所は、地図を見て選択肢から選びます。「いつ」については、祭りがいつ始まって終わるかという情報がテキストの中では離れて出てくる場合があるので、注意して聞く必要があります。日付などの理解はA1レベルでできることですが、ある程度の長さのあるテキストの中で正確に情報を把握することができるかどうか試してみてください。なお、「④うらじゃ」の中に出てくる「第一日曜日」という言い方は初めて聞く学習者もいるかもしれません。これは、音が聞き取れたら文脈から推測できるかどうか、クラスと一緒にやってみてください。確認のために、2回ぐらい聞いてもかまいません。

また、だいたいどんな祭りか、「聞くまえに」で予想したことはだいたい当たっていたかなど、基本情報以外に聞き取れたことがあったら、クラスで共有しておく、次の活動につながりやすくなるでしょう。

### (2) 2・3 回目の聞き: 見どころや特徴になっているものを理解する

それぞれの祭りの見どころや特徴が何かに注目して聞きます。イラストを選ぶのはトピック 8 で行ったスマホについての聴解活動に似ていますが、話題になるものは固有名詞(知らないことが前提)のことが多いので、説明部分全体に注目するような聞き方をすることが大切です。

音声を聞くまえに、a-h のイラストを見て、それを描写するときに使いそうなことばをメモしておきます。c. 行列、パレード、たくさん、長い、侍、よろい、旗…などが考えられます。「聞くまえに」でメモしたことばも参考にします。

次に音声を聞きます。実際の動画視聴では、映像を見ながらナレーションを聞き、説明の内容と映像と照合しているわけですから、ここでも、イラストを見ながら聞いて、どれについて説明しているのか探します。たとえば、①の場合、「それにしても、すごい人ですねー。皆さん祭りのメインイベント、百万石行列を見るために集まっているんです。このパレードは、……そして当時の衣装を着た侍など、いろいろな行列が 4キロも続くんです。」というところ全体を聞いて c だということがわかります。(下線は事前にメモしたことばと関係しそうな箇所です。)

イラストが選べたら、次の段階として、そのイラストを説明していることばが選択肢ア～クのどれかを聞き取ります。「若者のグループ、化粧、ほおずき、ねぶた」などわかりやすいものもありますから、先に予測させてから聞かせるようにするといいでしょう。どれかが選べたら、ア～クの意味をクラスで確認します。

\* 前田利家公: 前田利家は、今の金沢(石川)の礎となった、「加賀藩」(江戸時代の行政区分)を築いた人です。「～公」は敬称で武将につけられます。

\* 百万石行列: 昔の金沢にあたる「加賀藩」は「石高」(土地の面積から割り出された米の収穫高。江戸時代は、藩の規模を表すのに石高を用いた。)が全国ナンバー1で約「百万石」だったので、「加賀百万石」とも呼ばれました。「百万石行列」「百万石まつり」は、それにちなんだものです。

### (3) 4 回目の聞き: 見どころや特徴を理解する

(2)で特定した話題について、どのように説明しているかに注意して聞きます。選択肢はありませんので、でわかったことをメモします。「全部で4メートル」「2500円」「幅9m、高さ5m」などのように具体的な情報を中心に聞き取るようにします。聞き取った部分でわからないことばは推測させたり、適宜、語彙表を使ったり、教師が教えたりしてください。わかる部分が少しだけであっても、肯定的に評価してください。

- ◆ それぞれの祭りについてわかったことをペアやグループ、クラスで共有します。一人ではわからなかったことでもクラスメートといっしょに考えるとわかるようになるという学習体験を大切にしてください。

## 2 聞くためのストラテジー (P189)

わからないことばの意味を文脈から推測するストラテジーの練習をします。トピック4「温泉に行こう」のストラテジーの練習(P99)に似ていますが、映像からではなく文脈から推測することがポイントです。このストラテジーの練習をするための①-④の文は、4つの祭りの説明から、1箇所ずつ取り出したものです。どれも**1**の聞き取りでは、理解の対象としなかったところです。

### (1) ことばの意味を推測する

ストラテジーを使って意味を推測してほしいことば(未知語と仮定)を●●で示してあります。音声では「ピー」という音にしてあります。①-④の文を見ながら聞き、どんな意味か考え、例のようにメモします。文脈を手がかりに推測する活動ですから、ほかの部分の意味がわからなければ効果的な推測はできません。わからないことばを確認してから練習します。なお、意味の推測が目的ですから、推測メモは母語でもかまいません。推測したら友達と比べ、何をヒントにそう考えたかシェアします。推測の手がかりが広がると推測も上手にできるようになるからです。

### (2) ことばを聞き取る

(1)で●●(「ピー」という音)になっていたところを、ナレーターの音声で聞き、何と言っていたかを聞き取ります。録画やインターネットで配信されている動画であれば、戻して同じ箇所を再生できるので、気になったことばに注目して聞き取ることがあるだろうと考え、この練習を取り入れました。聞き取った音声の意味を辞書などで調べ、(1)の推測が当たっていたか確認します。なお、長音や拗音を含むことばは聞き取りが難しく、「にゅうじょう、にゅじょう、にゆうじょ」など、いくつかの可能性がありますが、可能性のあるものをGoogleなどの検索で入力すると候補を挙げてくれるので便利です。ただし、あまり時間をかけすぎず、教師が確認するのでもかまいません。

## 3 聞いた内容についてコメントや感想を言う (P189)

4つの中で、行くとしたらどの祭りに行きたいか、何をみたいかなどを簡単に話します。ここはさつとやる程度でかまいません。時間があれば、ネット上の動画サイトなどで実際に祭りの様子を見て、一緒に感想を話してもいいでしょう。実際のナレーションでわかることばがあると達成感が得られると思います。

### ■ 聞いたことをまとめる (P189)

まとめの活動は、主に言語形式を確認することが目的ですが、このトピックの場合は、内容についてわからないところが多く残っている学習者が多いかもしれません。そこで、この要約文を空所に入ることばを考えながら読むことで、主要な点の理解を確かめるといいと思います。

やり方としては、(1)－(4)の文をわからないことばの意味を確かめながら読み、空所に入ることばを考えます。そのあとで、チェック音ではなく、**1**の音声を聞きながら空所に入ることばを確認してみるといいと思います。この段階では、わかることも増えているので、はじめて聞いたときに比べると達成感が得られるはずです。そのあとで、チェック音声を聞いて、空所のことばを確認します。

空所には、動詞を活用して入れます。「ほおずきを(⑥売る)店」「ねぶたと(⑧呼ばれる)人形型の山車」のように名詞を修飾する動詞の形はそのあとに来る名詞との関係によって変わることにご注意します。意味関係を確認すればすぐにわかるでしょう。

なお、「四万六千日(しまんろくせんにち)」は祭り特有の漢字の読み方です。

## PART2 会話する「私も踊ってきました」

**Can-do 42** 祭りや行事などの体験や感想について、ある程度くわしく話すことができる。

自分が体験したことについて、どこで何をしたか、それについてどう思ったかなど、やりとりの中である程度くわしい情報を伝えることが目標です。日本旅行の体験について話すことなどは、日本語学習者ならありそうな場面だと思います。

● 会話するまえに (P190)

実際に日本に行って祭りを見た、あるいは参加したことがある学習者はあまり多くないと思います。もしいる場合は、どの祭りか、また見ただけか、参加したかを話してもらい、感想を聞くといいと思います。参加した人がいない場合は、テレビなどで見た経験、それもなければ本やインターネットで見た経験を話すだけでもいいでしょう。いろいろな「日本の祭り」のことを思い出しながら、これから取り組む会話の準備をするのが目的です。

設定は、ブラジル人のロナウドさんが日系居酒屋で友達と飲んでいるとき、たまたま店に来た日本人の遠藤さんに会います。そこで、ロナウドさんが最近行った日本旅行のことを話します。

1 会話の内容を理解する (P190)

①は、日本料理や温泉の話もしていますが、ここではロナウドさんが阿波踊りに参加して楽しかったということ聞き取れれば十分です。気に入った理由②は、実際に参加できたこと、雰囲気がよかったことなどが挙げられればいいでしょう。

2 ことばの形式に注目する (P190)

スクリプトを見ながら聞き、はじめに(1)で、二人が丁寧体・普通体の、どちらを使っているか確認します。ここではロナウドさんは遠藤さんに丁寧体で、遠藤さんはロナウドさんに普通体で話していることがわかります。設定から、ロナウドさんよりも遠藤さんの方がかなり年上であることが、スタイルの使い分けに影響することを理解させます。なおトピック 2 のユバカーさんと高塚さんの会話(P64-65)のときのように、年上であっても年下の人に丁寧体で話しかけることもあり得るかと思えます。ここでは遠藤さんのフランクな性格や、二人が一度会った程度ではなく、居酒屋で旅行の経験を長々と話す程度には仲がよい、ということが、普通体を使う要因となっていると考えるとよいでしょう。

この会話のテーマである阿波踊りは日本の有名な祭りの一つですが、学習者に知識が全くない場合、会話の内容を想像することが難しいかもしれません。扉ページや「準備」にも写真やポスターがありますが、阿波踊りの様子はインターネットにたくさんありますので、簡単に動画を見せて紹介すると思います。ただ、祭りの詳細を説明する必要はなく、「皆で踊る祭り」なのだということがわかれば十分でしょう。

(2)では、( )の中にことばを入れて意味を考えます。①と③は、前後の文脈から予想できると思いますが。②は、「すごい祭りだと聞いた」と「祭りに行った」の時間関係を確認してください。

### 3 会話に役立つ文法・文型 (P191)

「～たところ」「～ているうちに」「～ていました」など、時間の関係を表す表現を中心に練習することによって、過去の体験をよりくわしく生き生きと語れるようにします。

#### ① V たところだ (P191-192)

この練習ではロナウドさんと遠藤さんが一緒に現地の日本祭りに行くという設定になっています。そのため、「～たところ」を使うのは日本人の場合が多くなっていますが、自分でも使えるよう、産出の練習もおきます。

ここでは「たい焼き」や「盆踊り」など、祭りのものがいろいろ出てきます。これらに対して全くなじみがないようなクラスの場合、適宜説明して補ってください。

#### ② V ていた (P192)

「～ていた」にはいくつか用法がありますが、ここではある過去の時点において、それよりさらに前にすでに終わった動作を表す用法を練習します。(1)は音声聞いて、イラストを選びます。(2)の文は、(1)で聞いた文と全く同じものですので、練習としてはあまり難しくないと思います。むしろそれぞれの文の中で、選択した動作がいつ行われたか、時間関係に注目して、文が正しく理解できているかを確認してください(例:①徳島に行った←その前にサイトを見た、など)。

#### ② V ているうちに (P192-193)

ここでは、ます形を「～ているうちに」の形に変化させてから、次に続く適当な後件を選択する練習をします。はじめに文を見て状況を想像し、選択肢のどれが入るかを考えます。選択肢を見るまえに、前件を見て後件にどんなことが続くと思うか、まず考えさせてもいいでしょう。選択肢の文は、後件としての「変化」を表す表現として、「～なりました」「～なってきました」「～てしまいました」など、さまざまであることを気づかせてください。そのあとで、絵を見ながらチェック音を聞いて、状況を理解します。最後に絵を見ながら自分のことばで言う練習をします。このときは、元の文と違う言い方をしてかまいません(例:「気分がとてもハイになってきました」→「楽しい気分になってきました」等)。

「気分がハイになる」は口語的表現ですが、あまり説明に時間を取らず、学習者の母語や共通語で訳を与えて簡単に済ませてください。

#### 4 話すためのストラテジー (P193)

程度が大きいことを表す副詞的な表現を学びます。(1)では会話本文から強調の語句を探しますが、自分でも使えるよう、練習しておくといでしょう。スクリプトの「同じような表現」には、ほかに「すごく」「ものすごく」があります。

(2)では、その他の同様の表現を集め、フォーマリティーの面から整理してあります。一般的に、学習者は「めちゃくちゃ」「超～」などの口語的な表現を学ぶと、すぐ使いたがる傾向があります。いつでも使えるわけではなく、これらの表現はどんな場面で誰と話すときに使われるのかをクラスで確認しながら、聞き手との人間関係や、場面のフォーマリティーに合わせて使うよう、注意を促してください。逆に、友人同士の会話なのに「非常に～」などのかたい表現を使う学習者についても同様です。なお、会話では、フォーマルでもインフォーマルでもない、中間の表現が使われていることに注目させてもよいでしょう。

#### 発音 発音の練習 (P193)

「話すためのストラテジー」と関連させて、強調の際の音変化を練習します。音の変化のさせ方は実はあまり自由ではなく、たとえば「すごつく」「とてんも」などは使われない形です。ここでは、学習者が強調で自由に音を変化させることができるまでは期待せず、変化のさせ方にはいろいろあること、強調したいときにこうした変化が現れることを意識する程度で結構です。

#### 5 ロールプレイ (P194)

はじめに(1)で、ロナウドさんの発話に注目します。ロナウドさんは自分の経験を語る時、ただ、したことを直線的に述べているだけではなく、他のものと比較したり、自分の感想を交えたりしながら、内容豊かに話していることに注目させます。こうした内容や構成を入れることで、B1らしい少しくわしい経験談になるので、自分で話すときにもできるだけこうした内容を交えて話す必要があることを理解させます。なお、**A**と**C**を厳密に分けることは難しいと思いますが、ここではどちらであるかを分けることはあまり重要ではありません。分けることよりも、ロナウドさんの発話の中に両方入っていることに気づかせることが重要です。

(2)の①では、はじめに阿波踊りの感想を言うロールプレイをします。もちろん実際に阿波踊りに行ったことがある人は少ないでしょうから、ここでは本文の内容を思い出しながら、想像でロールプレイを演じます。(例)に続いて、阿波踊りの「よかった経験」について話します。

②の練習では、日本祭りに行った経験を話す設定ですが、(例)の続きとして、「大変だった」経験を話します。体験談として、いいことだけではなく、大変だったこと、困ったことなどについても話せるようになるのがねらいです。たとえば混雑していた、暑かった、食べ物が高かった、酔っ払いが多かった、スリにあった、など、いろいろ考えられると思いますので、大変な祭りを想像しながら話してみてください。

最後に③で、自分が実際に行ったことがある祭りやイベントのことを思い出しながら、話す練習をします。ここでは日本関係の祭りに限らず、自国の祭りなどでも結構です。したことの順番に直線的

に述べるだけでなく、自分の考えやコメントを交えながら語れるようにしましょう。またここはスピーチではなく会話(やりとり)の練習ですので、一方的に話すのではなく、聞き手のほうからも質問したり、コメントや感想を言ったりするように促してください。

## PART3 長く話す「祭りのいちばんの見どころは・・・」

**Can-do 43** 祭りや行事について、見どころや注意することなどを簡単に説明できる。

日本語で自国の祭りや行事について紹介できるようになることを目指します。国や地域によっては、イベント会場などのスタッフとして、日本人に説明する機会もあるかもしれません。自分の得意なことであれば、自信を持って発信できるようになるといいでしょう。

● **話すまえに (P195)**

それぞれの国や地域の祭りや行事については、このトピックの「準備」のときにも考えましたが、ここでは、ぜひ、日本人に見に行行ってほしいものについて考えてみてください。誰でも知っている有名なものでも、ローカル色豊かなものであってもいいでしょう。

1 **モデル会話例を聞く (P195)**

日本とスペインの交流イベントで、日本語ができるボランティアスタッフとして、日本人の質問に答えている場面であることを確認します。

会話例では、スペインの火祭りを取り上げました。質問①②には、すぐにわかると思います。③「祭りの見どころ」の説明部分は長いですが、「ファジャという紙の人形」についてくわしく話しているということがわかればいいです。なお、実際の場面では、パンフレットの写真などを見せながら説明するのが普通ですから、次のページ(P196)の写真を見ながら聞くといいでしょう。

2 **表現の確認 (P195)**

祭りの説明を、会話例の話の順に「簡単な紹介」「見どころ」「注意すること」の3つに分けて整理してあります。中心になるのは「見どころ」の部分で、「簡単な紹介」は導入部分、「注意すること」は終結部分という位置づけになっています。

- ・「3月15日(③から)19日(④にかけて)」の「にかけて」は「まで」と同じような意味ですが、「～から～まで」に比べると、「～から～にかけて」の方がやや漠然とした感じがあります。天気予報などで、「今日の夕方から明日の朝にかけて、冷え込みが厳しくなるでしょう」のように使われます。なお、「時間をかけて考えてください」の「かけて」とは違いますので、混同しないようにしましょう。
- ・「ファジャが(⑥何百個も)並びます」の「も」は数量につけて程度が高いことを表します。会話例の「いちばん大きいファジャは30メートル以上もあるんです」でも使われています。「何+数量+助数詞+も」の形もあり、「何個も/何十個も/何百個も/何千個も…」のように使います。この強調の「も」など、話し手の気持ちを表す表現が使えるようになるには、実例にたくさん触れて使い方に慣れていくことが大切です。実は、PART 1 の聴解でも「数量+も」はたくさん使われています。
- ・「(⑨ただ)、観光客がたくさん来ますから、…早めに予約(⑩したほうが)いいですよ。」の「ただ」は、トピック5 PART 1 の聴解のストラテジーの練習で、「ただね…」の後を予測するときに出てきたものと同じです。これまで述べた事柄に対して、どちらかというと逆接的に、条件や例外などを示

すときに使われます。この場合のように、最後に注意することなどを加えるときに使えると便利な表現です。

### 3 モデル会話の確認とシャドーイング (P196)

その場で初めて会った人への説明なのであまりくだけた表現は使われていませんが、「ファジャって言うんですけど」、「政治家とかスポーツ選手とかの」、「春が来るって言われています」などの話しことば特有の表現に注意しましょう。

#### ◆ シャドーイング

火祭りの説明の初めの部分をシャドーイングしてみます。なるべく、ポーズが入っているところなどで意味のまとまりを考えながら、言ってみるようにするといいでしょう。トピック1から続けてきた人は上達したことが実感できるのではないのでしょうか。

今後は、★の部分だけでなくスクリプト全体をシャドーイングしたり、PART 1 の聴解テキストやPART 2 の会話テキストなどでもシャドーイングしたりすると、話しことばのいい練習になります。

### 4 再話する (P196)

自国の祭りや行事について紹介するための練習です。ここでは、日本語を話すスタッフになったつもりで、スペインの「火祭り」の紹介をしてみます。中心になる「②見どころ」は情報が多いので、ペアやグループで何回か練習してみるといいでしょう。無理して会話例の通りに言おうとする必要はありません。「祭りのいちばんの見どころは、3月19日のサン・ホセの夜です。この日、ファジャに火をつけると、街中が真っ赤になって、本当に感動的です。」「祭りのいちばんの見どころは3月19日、サン・ホセの日の夜です。この日の夜、ファジャに火をつけるんですが、街が真っ赤になります。…」などの言い方もあります。情報をつなげて、説明することに次第に慣れてくるとと思います。

### 5 自分のことを話す (P197)

#### (1) 話したい内容を整理する

自国の祭りや行事を紹介します。内容としては、祭りのどんなところがいいのか、何を見てほしいのか「②見どころ」のメモが中心になります。クラスで同じ祭りを選ぶ学習者がいても、②についてはある程度情報が異なると考えられます。

なお、「中級 1」の最後のトピックになるので、できるだけメモは簡潔に、キーワードだけを書くようにさせてください。「①簡単な紹介」「③注意すること」は短く簡単でいいでしょう。

#### (2) 話す

パンフレットや写真(ネット上の画像でもよい)などを用いて話すといいでしょう。日本人のボランティアの方などにクラスに参加してもらえれば、より実践的な活動ができるでしょう。振り返りも忘れずに行ってください。

## PART4 読んでわかる「はじめてのクリスマス」

**Can-do 44** 祭りや行事についてのブログを読んで、体験や感想が理解できる。

ブログはトピック 3 でも取り上げましたが、身の回りの日常を綴った個人のブログは比較的読みやすく、目にする機会も多いと思われます。経験と感想が軽いタッチでまとめられており、話しことば的な表現が多く使われることが特徴です。ここでは、祭りや行事について書かれた個人的なブログを読んで、体験や感想が理解できるようになることを目指します。

このトピックで取り上げるブログは、アメリカ人と結婚したある日本人女性が、夫の実家のクリスマスを初めて経験して感じたことを書いたという設定です。現地の人と結婚し、その国に長く住んでいる日本人が、異文化体験などのおもしろい情報を自分のブログで積極的に発信していることもよくあります。これをきっかけに、そうしたブログをさがして、読んでみるといいでしょう。

● **読むまえに (P198)**

ほかの国や地域の行事などに参加して、驚いたことや感心したことなどについて話します。自分の国の行事でもかまいません。クラスで、いろいろな体験について情報交換できるといいでしょう。

**1** **内容を理解する (P198-199)**

(1) 1 回目の読み: タイトルと初めの段落を読んで、内容を予測する

タイトルの「はじめてのクリスマス！」や第1段落についている感嘆符に注目すると、何か驚くようなことが起こったということが予想できます。また、「伝統的なクリスマス」「博物館レベルだった！」から、古くて伝統的な経験をすることも予想できるでしょう。そして、勘がいい学習者なら、何か事件が起こったんだろうと予測するかもしれません。

1 段落目の内容はだいたい理解できると思いますが、知らない漢字語彙(巨大、以前、実家)などもあるでしょうが、「どこでクリスマスを迎えますか？ 誰のうちですか？ どんなクリスマスツリーですか？」などと質問することで、学習者の理解を助けてください。

(2) 2 回目の読み: 全体を読んで、大まかな内容を理解する

ブログ全体を読んで、このブログを書いた人が、「ダーリン」の実家のクリスマスにどんな印象を持ったかを読み取ります。クリスマスと聞くと一見とても楽しそうですが、実際に参加してみたら、戸惑ってしまったり大変だったりが読み取れればいいでしょう。

解答例は「とても大変」としか書かれていませんが、クラスでは、「何が大変だったのか？」のように質問して、わかったことを引き出し、次の段階につなげるといいでしょう。

## (3) (4) 3 回目の読み: ポイントを絞って詳細に読む

主に2段落目以降を読んで、ポイントとなる事柄が理解できているかを確認します。注意するポイントは以下の二つだけですが、ほかにも学習者の様子を見ながら、補足的な質問を加えてください。ただし、3段落目については、ストラテジーで扱うので、ここでは、くわしく触れる必要はありません。

- このブログのテーマでもあり、筆者の驚きの中心となっているのが、クリスマスプレゼントの交換の方法です。それにどのようなルールがあったのかを理解します。
- 「9×10で90個！」が意味するもの、どちらが人の数で、どちらがプレゼントなのかを考えさせて、プレゼント交換の場面が具体的に理解できているかどうか確認します。

## (4) 4 回目の読み: 筆者の心情を理解する

最後の段落に「プレゼント交換マラソン」ということばが使われています。「 」がついていることからわかるように、筆者の特別な気持ちが込められています。その意味がわかれば、このブログが理解できたことになるでしょう。単に答えを言わせるだけでなく、どの部分からわかるかなど、ブログの内容を関連づけて理解できているか確認してください。

**2** 読むためのストラテジー (P199)

セリフの中の「役割語」と呼ばれる部分に注目します。マンガ、ドラマ、小説などの中では、登場人物の役割やキャラクターをわかりやすくしたり、強調したりするために、実際には使われない特別な表現が使われることがあります。これが「役割語」です。たとえば、乱暴な男性のセリフなら「おれは～だぜ」、お嬢様なら「わたくしは～ですわ」、老人なら「わしは～じゃ」などというようになります。

このブログの会話部分にも、「あら、すてき」「～わ」「君」「～んだ」のような役割語が使われていますが、舞台はアメリカであり、実際の会話は英語で行われています。つまり、このブログの表現は、書き手が会話を日本語に訳すときに、それぞれの人の役割やキャラクターを強調するために使っているものであって、現実の世界で使われているというわけではありません。

◆では、セリフからキャラクターイメージを考えます。ここで挙げられている3つの文のキャラクターは、順に、少し乱暴な若い男、おじいさん、お金持ちのお嬢さんのイメージです。教師が声色をつけて発話するとおもしろいかもしれません。ここでは、役割語がいろいろあるということに注目するきっかけを作りになると思います。規則的なことをくわしく説明する必要はありません。

\*「アニメマンガの日本語」のサイト(<http://anime-manga.jp/>)に役割語の練習があります。

\*「役割語」については、『国際交流基金日本語教育通信』の「日本語・日本語教育を研究する」の第41回: 金水敏「「役割語」とは何か」の記事などを参考にしてください。

<https://www.jpf.go.jp/j/project/japanese/teach/tsushin/reserch/201302.html>

### 3 読んだあとで (P199)

今までにもらったプレゼントを思い出して体験を話します。クリスマスプレゼントでなくて、贈り物の思い出でもかまいません。もちろん、ブログに書かれたような異文化体験について話してもいいのですが、「読むまえに」と重なるので、ここでは取り上げませんでした。

### 4 読むのに役立つ文法・文型 (P200)

文章の中で話を関係づけたり、まとめたりするときに使われる表現を中心に取り上げます。①②④は、一度見ただけではすぐに使い方がわからないかもしれませんが、この段階で使えるようになる必要はなく、これから何回が出てくる中でわかってくれば十分です。

#### ① ~わけだ (P200)

前件の当然の結果として、後件が起こったことを表す「~わけだ」の用法を取り上げています。例文では、「昔、パレードを見るために、3時間も待ったことがある」ことの結果として、「結局、お祭りが嫌いになった」ということを述べています。ブログの中の文は、「(どんなプレゼントをもらっても、何か言わなくてはならず)、これがずっと続くので」結果として、「なかなか終わらない」ということを表しています。

#### ② というわけで、~ (P200)

「~わけだ」と同じで、「というわけで~」に続く文で結果を表します。接続詞のような使われ方をするのが特徴です。このブログで使われているように、「というわけで~」の前には、いろいろなことが起こったことが前提になっています。

例文では、「花火大会に子どもを連れて行っただが、子どもが花火の音をこわがって、ずっと泣いていた」、さらに、ここでは「……」として省略していますが、たとえば「人が多くて大変だった」、「雨が降ってきてしまった」など、いろいろなことがあり、その結果として、「花火大会はぜんぜん楽しめずに終わった」ということがわかればいいです。「……」の部分の内容をクラスで一緒に考えると、使い方がわかりやすいでしょう。

#### ③ ~たとしたら (P200)

仮定を表すときに使います。「~たら」とほぼ同じですが、「~たとしたら」のほうが仮定している感じが強まります。ブログの「親戚が 10 人集まって、みんながそれぞれにプレゼントとしたとしたら…」の文では、実際には親戚が 10 人いたわけではないけれど、もしいたらどうなるかという意味合いがあるので、この表現が使われています。

#### ④ ~のでした (P200)

長い話の最後に、どうなったのかをまとめるときに使われます。また、このブログのように、「というわけで~のでした」とセットで使われる例も多いです。

例文では、前提になる長い話の部分が「……。」で省略されているので、クラスではそこを補うようにしてください。たとえば、とても混んでいたりと、見たいものが見られなかったり、たくさん歩かなければならなかったり、祭りに行っているいろいろなことがあったという話があり、それを「というわけで、二人は祭りから疲れて帰ってきたのです。」とまとめています。

### 漢字のことば 漢字の整理 (P200)

ブログの中に出てきた漢字です。これらのことばが本文のどこに出てきたかを確認し、読み方、意味を確かめたあと、キーボードやスマホで入力するなどの練習をしましょう。

#### ◆ 漢字を手がかりにことばを増やしたり整理したりする

「～州」や「～湖」のように、場所の名前を表すことばに注目します。「～山」「～川」「～湾」などの自然、「～県」「～市」「～区」「～町」など行政区分で使われるもの、「～通り」「～広場」など街の中の場所を示すものなど、いろいろ挙げる事ができるでしょう。

**PART5 書く「祭りの体験」**

**Can-do 45** 祭りや行事に参加した体験と感想を、ソーシャルネットワークで簡単に紹介することができる。

ここでは、祭りや行事に参加した体験や感想を SNS に書く場面を設定しました。簡単でいいので、体験だけでなく感想も含めて、どのような祭りや行事だったのか書くことができるようになることを目指します。実際に、日本語で SNS に書き込み、発信してみると、日本人にフォローしてもらえらることもあり、面白いかもしれません。

**1 書く (P201)****(1) 書くまえに**

ロナウドさんが日本にいる間に体験した祭りについて SNS に書いたという設定です。どのような体験だったのか、どんな感想を持ったのか、読んで参考にします。SNS なので、「楽しかった〜」「いつかまた行きたいな〜」など、話しことば的な表現が多いことに注意しましょう。

**(2) SNS に書く**

どんなものでもかまわないので、自分自身が参加した祭りや行事についての体験や感想を書きます。祭りの説明文を書くことが目的ではない点に注意し、どのような体験だったのか、どう感じたのかなど、読み手に興味を持ってもらえるよう、少しくわしく書くようにしましょう。

なお、どうしてもそうした体験がない場合は、想像したり、人に聞いたりしたことを思い出して書いてもかまいません。

**2 書いたあとで (P201)**

書いたものをクラスの中で読み合います。できれば、クラスのグループページなどを作って、写真などと一緒に実際に書き込み、Web 上で自由にコメントをし合えば、より本物らしい活動になります。もちろん、すでに SNS にアカウントがある人が、日本語でこうしたことを発信するのも有意義です。

## 教室の外へ

### わたしだけのフリース (P202)

「もし自分が日本に行って、お祭りを見たら」「現地の日本祭りに行って日本人と話すとしたら」など、具体的な場面を想像して、自分が使いそうな日本語をメモしてください。自国の祭りを説明するときの用語などもあるかもしれません。

### 教室の外の活動のアイデア

#### ①

本文で扱った祭りの映像を見てみることで、理解をより深めます。YouTubeなどで検索すれば、全ての祭りの映像が見つかります。特に「阿波踊り」や「うらじゃ」は、実際に踊りを映像で見ると、また印象が違ってくると思います。

#### ②

自分の国の祭りについて、日本語で読んだり聞いたりしてみる活動です。自国の祭りであっても、有名な祭りであれば、日本語で書かれた参加者のブログがいくつか見つかると思います。書き手の日本人がどう思ったか、それについて自分はどう思うかなどを考えてみたり、これらをクラスで話し合ってみたりするのもいいでしょう。身近に日本人がいて、自国の祭りに参加したことがあれば、その感想を直接聞いてみるのもいいでしょう。「面白かった」のような簡単な印象だけでなく、意外だったことや、ネガティブな面の感想なども、できるだけくわしく聞いてみるようにしましょう。機会があれば、日本人をゲストにしたビジターセッションなどで話してみるのもいいでしょう。

#### ③

いくつかの国では、その土地の日本人団体などが主催する「日本祭り」が行われている場合があります。デュッセルドルフやサンパウロ、クアラルンプールなどは非常に規模が大きく、盆踊りや花火、コスプレ大会などの催しや、日本食の屋台、武道や音楽のデモなどがあり、一日中楽しめると思います。比較的小規模な日本祭りであっても、日本食が食べられたり日本文化のデモなどが行われていたりしますので、このような機会があれば、ぜひ積極的に参加を促してください。文化体験だけでなく、祭りに来ている日本人と知り合ったり、教室で勉強した日本語を使ったりすれば、教室を超えた、日本語でのコミュニケーションにつなげる非常にいい機会となるでしょう。